NEC

MultiWriter 4050M

レーザープリンター

ユーザーズマニュアル [2/2]

プリンターソフトウエアの使い方

808-878352-502-A
第2版

商標について

MultiWriter、PrintAgent、MOPYING、NMPSは日本電気株式会社の登録商標です。
Microsoft、Windows、Windows NT、MS-DOSは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
NetWareは米国Novell, Inc.の登録商標です。
Macintosh、Mac OS、QuickDraw、LocalTalk、TrueType、漢字Talkは米国Apple Computer, Inc.の米国およびその他の国における登録商標です。
IBM、PS/V、ATは米国International Business Machines Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
UNIXはThe Open Groupの米国ならびに他の国における登録商標です。
DocuWorksは富士ゼロックス株式会社の商標です。

その他記載の会社名および商品名は各社の商標または登録商標です。

Windows 98はMicrosoft Windows 98 operating systemの略です。Windows 98 Second EditionはMicrosoft Windows 98 Second Edition operating systemの略です。Windows 95はMicrosoft Windows 95 operating systemの略です。Windows 2000はMicrosoft Windows 2000 Proffesional operating systemおよびMicrosoft Windows 2000 Server operating systemの略です。Windows 2000 Advanced ServerはMicrosoft Windows 2000 Advanced Server operating systemの略です。Windows 2000 Datacenter ServerはMicrosoft Windows 2000 Datacenter Server operating systemの略です。Windows NT 4.0はMicrosoft Windows NT Workstation operating system Version 4.0およびMicrosoft Windows NT Server network operating system Version 4.0の略です。Windows NT Server 4.0, Terminal Serve EditionはMicrosoft Windows NT Server network operating system Version 4.0, Terminal Serve Editionの略です。Windows NT Server, Enterprise Edition 4.0はMicrosoft Windows NT Server, Enterprise Edition network operating system Version 4.0の略です。Windows NT 3.51はMicrosoft Windows NT Workstation operating system Version 3.51およびMicrosoft Windows NT Server network operating system Version 3.51の略です。Windows NT 3.5はMicrosoft Windows NT Workstation operating system Version 3.5およびMicrosoft Windows NT Server network operating system Version 3.5の略です。Windows 3.1はMicrosoft Windows operating system Version 3.1の略です。

ご注意

1. 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
2. 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
3. NECの許可なく複製・改変などを行うことはできません。
4. 本書は内容について万全を期して作成致しましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。
5. プリンターの機能の一部は使用する環境あるいはソフトウエアによってはサポートされない場合があります。
6. 運用した結果の影響については4項および5項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
7. 本製品を第三者に売却・譲渡する際は必ず本書も添えてください。

はじめに

このたびはNECのプリンターをお買い求めいただき、まことにありがとうございます。

MultiWriter 4050Mは高性能CPUを搭載し、より高速な印刷を可能にしたプリンターです。
また、Windows環境でより簡単に、より快適に使用するためのPrintAgentソフトウエアを採用しています。このソフトウエアの機能により、プリンターの状態や印刷の進行状況を確認したり、各種設定をコンピューター側から行ったりすることができます。

マニュアルの種類

MultiWriter 4050Mには以下のような2種類のマニュアルが添付されています。本書は「MultiWriter 4050Mユーザーズマニュアル[2/2]」です。

MultiWriter 4050M　ユーザーズマニュアル[1/2]
～プリンターの取り扱い～

プリンターを箱から取り出して設置し、印刷できるようにプリンターを準備するまでの手順を説明しています。さらにメニューモードについての詳しい説明、プリンターの機能を高めるためのオプションや日常の保守、正しく動作しない場合の対処方法、印刷範囲などの技術情報について説明しています。

MultiWriter 4050M　ユーザーズマニュアル[2/2]
～プリンターソフトウエアの使い方～

本書です。プリンターソフトウエアのインストール方法を各OS別に説明し、さらにそのプリンタードライバーの設定内容やPrintAgentについて説明しています。

マニュアルの読み方

本マニュアルの概要と読み方を次に示します。プリンター管理者と一般ユーザーとでは読んでいただきたい項目が異なりますので、それぞれ次に示すような順番で本マニュアルを読み進めてください。

プリンター管理者

プリンター管理者の方は「プリンターソフトウエアについて」に目を通した後、「プリンターソフトウエアのインストール（プリンター管理者）」に従ってインストールを行ってください。その後、「プリンタードライバー〜印刷の手順とダイアログボックス〜」と「プリンタードライバー〜設定の詳細〜」および「PrintAgent」全体に目を通してください。「PrintAgent」では、PrintAgentを構成するソフトウエアの概要と、それらソフトウエアを使って実現する便利なプリンター管理機能を説明しています。

プリンター管理者以外（一般ユーザー）

ユーザーの方はまず「プリンターソフトウエアについて」に目を通してください。ここでは、プリンターソフトウエアCD-ROMについて、また印刷統合管理ソフトPrintAgentや管理者ユーティリティでできることについて簡単に説明しています。
その次にプリンターソフトウエア（あるいはプリンタードライバーのみ）のインストールを行います。本マニュアルでは、OS別にインストールの手順の説明をしていますので、各OSに従って、標準的なソフトウエアのインストールを行ってください。
インストールが終わったら、「プリンタードライバー〜印刷の手順とダイアログボックス〜」のそれぞれ該当するOSの箇所をお読みください。ここでは一般的な印刷の手順、印刷のプロパティダイアログボックスの概要について説明しています。さらにプリンタードライバーを使いこなしたい方は「プリンタードライバー〜設定の詳細〜」に目を通してください。ここではプリンタードライバーの設定を使って実現する便利な印刷機能を説明しています。「PrintAgentについて」は必要に応じて参照してください。

本マニュアルの章タイトル	管理者	ユーザー
プリンターソフトウエアについて	↓	↓
プリンターソフトウエアのインストール　（Windows 98 日本語版） プリンターソフトウエアのインストール　（Windows 95 日本語版） プリンターソフトウエアのインストール　（Windows 2000 日本語版） プリンターソフトウエアのインストール　（Windows NT 4.0 日本語版） プリンタードライバーのインストール　（Windows NT 3.51 日本語版） プリンタードライバーのインストール　（Windows3.1 日本語版） Windows NT 3.5 日本語版／MS-DOS環境をお使いの場合	－ － － － － － －	↓
プリンターソフトウエアのインストール　（プリンター管理者）	↓	－
プリンタードライバー　〜印刷の手順とダイアログボックス〜	↓	↓
プリンタードライバー　〜設定の詳細〜	↓	⇩
PrintAgent	↓	⇩

↓：必ずお読みください。　⇩：必要に応じて参照してください。

本文中で使用の記号の意味

このユーザーズマニュアル[2/2]では、本文中で次の3種類の記号を使っています。それぞれ次のように定義されています。

記　号	内　　容
重要	マニュアルに記載されている注意事項および指示を守らないと、プリンター本体が損傷するおそれがあることを示しています。
チェック	プリンターを使用する際に守っていただきたいこと、およびプリンターを正しく動作させるための注意事項や補足説明を記載しています。
ヒント	プリンターを使用する際に知っておくと便利なことや参考になることを記載しています。

目次

プリンタードライバー～印刷の手順とダイアログボックス～....... 151

プリンタードライバー～設定の詳細～ 197

PrintAgent 221

プリンターソフトウエアについて

ここでは、プリンターソフトウエアCD-ROMについて、また印刷統合管理ソフトPrintAgentや管理者ユーティリティでできることについて簡単に説明します。

CD-ROMのファイル構成

本プリンターに添付されているプリンターソフトウエアCD-ROMのファイル構成を次に示します。詳細は各フォルダー内にあるReadmeをご覧ください。

ルート

- Readme .... このCD-ROMについて知っておいていただきたいことが記されています。
- Mwsetup .... メニュープログラムです。
- Mw4050M................ MultiWriter 4050M用のプリンターソフトウエアです。MultiWriter 4050Mで印刷するために必要なファイルが入っています。画面上のダイアログボックスに従うことにより個々の環境に合わせた必要なファイルが自動的にインストールされます。
  - Disk1: Windows 98/95 日本語版、Windows NT 4.0 日本語版インストールプログラム
  - Disk2: Windws 98/95 日本語版　プリンタードライバー
  - Disk3: Windws NT4.0 日本語版　プリンタードライバー
  - Disk4: Windws 2000 日本語版　プリンタードライバー
  - Disk5: Windws NT3.51 日本語版　プリンタードライバー
  - Disk6～10: PrintAgentソフトウエア
  - Disk11: Windws 2000 日本語版インストールプログラム
  - Win31: Windws 3.1 日本語版　プリンタードライバー
- Barcode .... NEC TrueTypeバーコードフォントとNEC TrueTypeバーコードフォントユーティリティです。このソフトウエアをインストールすることによりWindows環境でプリンターにバーコードフォント(5種類)の印刷をさせることができます。
  1. Industrial 2 of 5(モジュール比2.2、3.0)
  2. NW-7(モジュール比2.2、3.0)
  3. CODE39(モジュール比2.2、3.0)
  4. JAN(13桁、8桁)
  5. カスタマバーコード(新郵便番号)

  詳細については本ディレクトリー内のReadmeをご覧ください。
- Fonts .... NEC Font Avenue TrueType フォント3書体が入っています。詳細については本ディレクトリー内のReadmeをご覧ください。
- Formprn .... フォーム作成ツール、帳票エディタ「帳楽」お試し版Ver2.2とフォーム印刷の環境の更新ツールが入っています。詳細については本ディレクトリー内のReadmeをご覧ください。
- Dwentry .... 「DocuWorks Ver.3.0E」。詳細については本ディレクトリー内のReadmeをご覧ください。

インストールに必要なハードディスク容量

プリンターソフトウエアをインストールするのに必要なハードディスク容量は次のとおりです。(ただしリプリント用のプライベートスプール領域は含みません。)

- Windows 98　日本語版
  PrintAgentを含む標準でインストールをする場合 最大約4.5MB
  PrintAgentを含む管理者でインストールをする場合 最大約6.6MB
  プリンタードライバーのみインストールする場合 約1.1MB

- Windows 95　日本語版
  PrintAgentを含む標準でインストールをする場合 最大約4.5MB
  PrintAgentを含む管理者でインストールをする場合 最大約6.6MB
  プリンタードライバーのみインストールする場合 約1.1MB
- Windows NT 2000　日本語版
  PrintAgentを含む標準でインストールをする場合 最大約4.5MB
  PrintAgentを含む管理者でインストールをする場合 最大約6.6MB
  プリンタードライバーのみインストールする場合 約1.1MB
- Windows NT 4.0　日本語版
  PrintAgentを含む標準でインストールをする場合 最大約4.5MB
  PrintAgentを含む管理者でインストールをする場合 最大約6.6MB
  プリンタードライバーのみインストールする場合 約1.1MB
- Windows NT 3.51　日本語版
  プリンタードライバーのインストール 約1.1MB
- Windows 3.1　日本語版
  プリンタードライバーのインストール 約0.6MB

重要

PrintAgentをインストールするときに指定するPrintAgentソフトウエアのディレクトリー名はインストール終了後に変更しないでください。Windows 3.1やDOS上でディレクトリーの移動などを行うと、ディレクトリーの名前が「PRINTA~1」などに変わってしまい、正常に印刷できない場合があります。

チェック

ネットワーク環境で共有プリンターをお使いになるためには、OSに合わせてコンピューターにあらかじめ次のネットワーク用ソフトウエアを組み込んでおく必要があります。

- Windows 98/95の場合　「Microsoftネットワーク共有サービス」
- Windows 2000の場合　「Microsoftネットワーク用ファイルとプリンタ共有」
- Windows NT 4.0の場合　「サーバー」などのソフトウエア

詳しくは各OSのマニュアルをご覧ください。

プリンターソフトウエアの動作環境

MultiWriter 4050Mのプリンターソフトウエアが対応しているOSは以下のとおりです。

プリンターソフトウエア	対応OS				
	Windows 98/95 日本語版	Windows 2000 日本語版	Windows NT 4.0 日本語版	Windows NT 3.51 日本語版	Windows 3.1 日本語版
プリンタードライバー	○	○	○	○	○
PrintAgent	○	○	○	X	X

PrintAgentの動作環境について

PrintAgentはWindows 2000 Advanced Server、Windows 2000 Datacenter Server、Windows NT Server,Enterprise Edition 4.0のクラスタ機能を使ったクラスタリングシステム、あるいはWindows NT Server 4.0,Terminal Server Edition、Windows 2000のTerminal Serviceを実装したシステムには対応していません。これらのシステムでは、PrintAgentは正常に動作しない場合がありますので、PrintAgentをインストールしないでご利用ください。

- ネットワーク環境で共有プリンターをお使いになるためには、コンピューターにあらかじめ以下のソフトウエアをインストールしておく必要があります。詳しくは各OSのマニュアルをご覧ください。

  –Windows 98/95の場合：　「Microsoft ネットワーク共有サービス」

  –Windows 2000の場合：　「Microsoft ネットワーク用ファイルとプリンタ共有」

  –Windows NT 4.0/3.51の場合：「サーバー」

- ネットワーク環境でLANプリンターとしてお使いになるためには、あらかじめコンピューターのネットワーク設定にTCP/IPプロトコルをインストールしておく必要があります。詳しくは各OSのマニュアルをご覧ください。

CD-ROMドライブをご自身でお持ちでない場合

CD-ROMドライブをご自身でお持ちでない場合は、お持ちの方に借りるなどして、CD-ROMに入っているプリンターソフトウエアをフロッピーディスクにコピーしてください。(「インストール媒体を作成する」(140ページ)参照)このフロッピーディスクを使えばCD-ROMと同じようにプリンターソフトウエアをインストールすることができます。(ただし、Windows NT 3.51とWindows 3.1ではインストール媒体の作成はできません。)

フロッピーディスクへのコピーができない場合は、あらかじめ以下の必要事項をお調べいただき、もよりのPCクリーンスポットまでご連絡ください。PCクリーンスポットの連絡先は、添付の「NECサービス網一覧」をご覧ください。ご希望のフロッピィディスクをお送りします。

必要事項

- プリンター品名 .... 「MultiWriter 4050M」です。
- プリンターの製造番号.................. 保証書をご覧ください。9桁の英数字です。
- フロッピーディスクタイプ .... 3.5インチ型の1.44MBタイプ*1、または1.2MBタイプ*2をお書きください。
- ご住所
- ご氏名
- ご連絡先... 昼間ご連絡がとれる電話番号をお知らせください。また自宅か勤務先かも明記ください。

*1　PC98-NXシリーズ用を含むIBM PC/AT 100%互換機(DOS/V対応機)に対応

*2　PC-9800シリーズ用に対応

PrintAgentについて

印刷統合管理ソフト「PrintAgent（プリントエージェント）」はネットワークプリンターに印刷される方のために豊富なサービスを提供するソフトウエアです。

PrintAgentでは、たとえば、プリンターの混み具合いやセットされている用紙サイズなどを手元のパソコンを通じて知らせてくれたり、ユーザーごとに印刷を仕分けてくれたりなど、ネットワーク印刷を快適にするための機能を満載しています。PrintAgentはMultiWriter 4050MではWindows 98/95/2000/NT 4.0環境に対応しています。

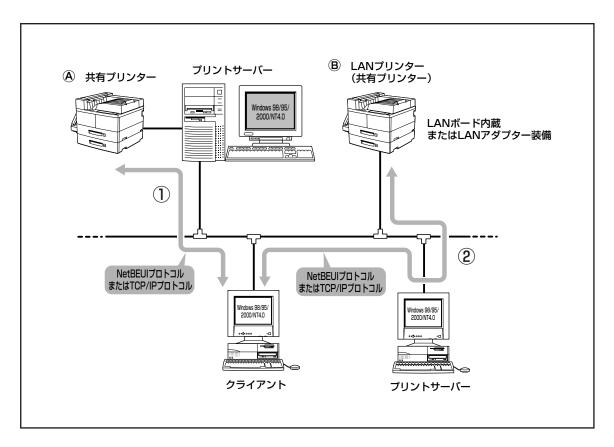
PrintAgentが利用できるネットワーク環境

PrintAgentはネットワーク環境で、プリンターを次の形態でお使いの時に利用できます。

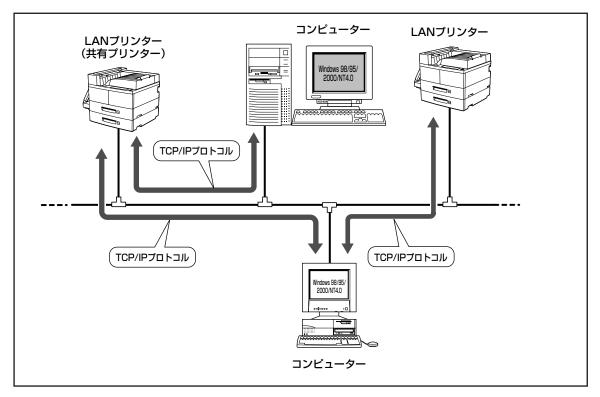
クライアント・サーバー接続の場合

プリンター専用のコンピューター（プリントサーバー）がプリンターを管理し、接続を許されたコンピューター（クライアント）がそのプリンターを利用できるようにしたものです。たとえば、下図①～②などの場合が考えられます。これらは中・大規模のネットワーク形態として一般的な接続方法です。

①… Windows 98/95/2000/NT 4.0が動作しているプリントサーバー*が提供する共有プリンターⒶを、Windows 98/95/2000/NT 4.0が動作しているクライアントから利用する。この場合、プリントサーバー、クライアントともにTCP/IPプロトコルが組み込まれている必要があります。

（* Windows NT 3.51が動作しているプリントサーバーではPrintAgentは利用できません。）

②… Windows 98/95/2000/NT 4.0が動作しているプリントサーバーが共有プリンターとして提供しているLANプリンターⒷを、Windows 98/95/2000/NT 4.0が動作しているクライアントから利用する。この場合、プリントサーバー、クライアントともにTCP/IPプロトコルが組み込まれている必要があります。

ピア・ツー・ピア接続の場合

ピア・ツー・ピア接続は専用のサーバーコンピューターを使用せず、コンピューターどうし、コンピューターとプリンター間で対等に通信するものです。比較的小規模のネットワークに適した接続形態です。この接続の場合、プリンターを使用するコンピューターにTCP/IPプロトコルが組み込まれていることが必要です。

重要

コンピューター本体とプリンターの接続で、NEC指定以外のプリンターケーブルやプリンターインタフェース変換アダプターを使用している環境、またはプリンターバッファー、プリンター切り替え器、プリンターセレクター、コピープロテクターなどを使用している環境では、PrintAgentはご使用になれません。既にPrintAgentをインストールされている場合は、次の設定を行ってください。

- Windows 98/95の場合 .... 「プリンタスプールの設定」で「このプリンタの双方向通信機能をサポートしない」にする。
- Windows 2000/NT 4.0の場合 .... プリンタプロパティの[ポート]シートで「双方向サポートを有効にする」のチェックを外す。

PrintAgentは、ネットワーク上でWindows 98/95/2000/NTで共有されているPrintAgent対応プリンターや、LANボード(LANアダプター)を装着しネットワークに直接接続されたPrintAgent対応プリンターに対してもご利用いただけます。ネットワークを介してPrintAgent対応プリンターをご利用になる場合には、お使いのコンピューターのWindowsで利用できるTCP/IPプロトコルに対応したネットワークアダプターボード／カードなどの他、ネットワークケーブルも必要になります。

ネットワークにLANボード(LANアダプター)により直接接続されたプリンターと双方向通信するためには、NEC TCP/IP Printing System(Windows 98/95)またはNEC Network Port(Windows 2000/NT)が印刷ポートとして指定されている必要があります。印刷ポートとしてこれら以外のポート(DLC、LPRなど)をお使いになる場合には双方向通信ができないため、PrintAgentをアンインストールしてご利用ください。

PrintAgentで利用できる便利な機能

PrintAgentで利用できる便利な機能を以下に紹介します。

プリンタステータスウィンドウ(PSW)

印刷開始や終了、用紙切れなどプリンターの状態をユーザーのパソコンに画面表示するとともに、音声ガイドで通知します。

リプリント機能

プリンタステータスウィンドウ(PSW)を操作することにより、一度印刷した文書を短時間で再出力できるようにする機能です。追加印刷する場合に便利です。

グループプリンター(プリンターの自動切り替え)

ネットワーク内にある任意の複数のMultiWriter 4050Mをグループプリンターとして設定し、ネットワークのユーザーに共有プリンターとして利用できるようにします。これにより、印刷は自動的に空いているプリンターで行われますので、プリンターの負荷が分散されます。(Windows 98/95では、プリンターのグループ設定ができるのはMultiWriter 4050Mのみ2台までです。)

プリンターの一覧

プリンター管理ユーティリティではコンピューターにインストールしてあるプリンターを一覧形式で表示し、プリンターの状態が参照できます。また、印刷前に各プリンターのPSWで詳細な現在の状態を確認した上で、使用するプリンターを簡単に切り替えることができます。

リモートパネル

コンピューターに直接つながっているプリンターやネットワーク上にあるプリンターの設定を管理者のパソコン上の画面で参照・設定変更するものです。

電子メールによるアラーム通知

接続されているプリンターに“トナーがない”、“ステープルの針がない”、“交換部品の寿命”などのアラームが発生すると、自動的に電子メールでプリンター管理者に通知する機能です。保守担当部門など別の通知先を設定することができるのでスムーズな保守・管理が期待できます。

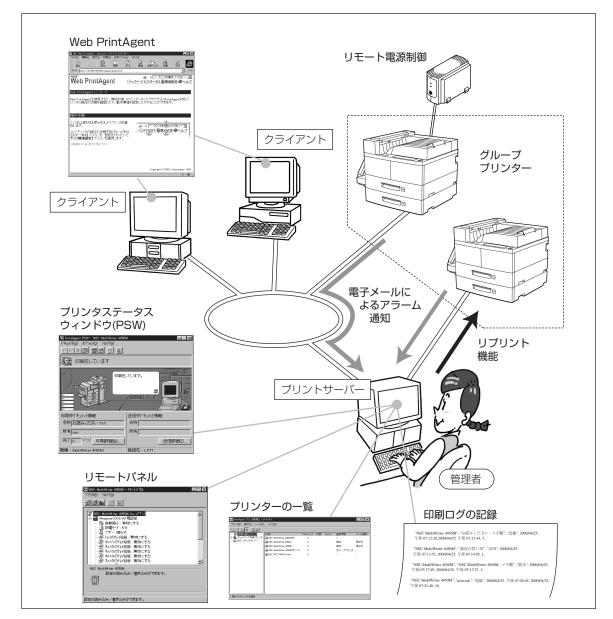
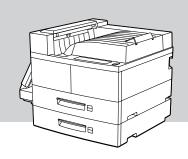
リモート電源制御

管理者のコンピューター上の操作でネットワークに接続されているプリンターの電源をON/OFFできる機能です。（オプションのLANアダプター（TCP/IP）（型番 PR-NP-03TR2）を使って接続されているプリンターにのみ有効な機能です。）

印刷ログの記録

誰がどれだけ印刷したかをプリントサーバー上のフォルダーに記録するものです。このログを参考に正確な消耗品コストを算出・管理することができます。（Windows 2000/NT 4.0でのプリントサーバーにのみ有効です。）

Web PrintAgent

ネットワーク内のクライアントは、汎用のブラウザーを使ってプリンターの状態や設定を参照できます。管理者はプリンターの設定変更も行えます。この機能を利用するにはWebサーバーがインストールされているプリントサーバーにWeb PrintAgentをインストールする必要があります。（Windows 98/95/2000/NT 4.0でのプリントサーバーのみ有効です。）

プリンターソフトウエアのインストール（Windows 98 日本語版）

プリンターソフトウエアをインストールする

ここでは、Windows 98 日本語版にプリンターソフトウエアをインストールして、印刷の準備ができるまでを説明します。

プリンターソフトウエアのインストール方法はMultiWriter 4050Mの接続されている環境により異なります。次ページのフローチャートに従って環境に合ったインストール方法を選択してください。

フロッピーディスクでインストールする方へ

本書ではCD-ROMを使った手順で説明しています。プリンターソフトウエアCD-ROMから作成したプリンターソフトウエアディスクを使用してインストールをする場合は、「setup.exe」を実行してください。また、インストールの途中でフロッピーディスクの交換を求める画面が表示されることがあります。その場合は画面の指示に従ってフロッピーディスクの入れ替えを行ってください。

始め

プリンターを
ネットワークで
印刷しますか？

はい

いいえ

プリンターは
LANボード／LANアダプターで
接続していますか？

いいえ

はい

CD-ROMから
インストーラーを
起動する

プリンターソフトウェアの
インストール方法

「プラグ・アンド・
プレイ」機能を利用
してインストールする

インストール方法①
「プリンター ソフトウェアCD-ROM
からインストーラーを起動する」
17ページ

インストール方法①
「「プラグ・アンド・プレイ」機能を
利用してインストールする」
12ページ

インストール方法③
28ページ

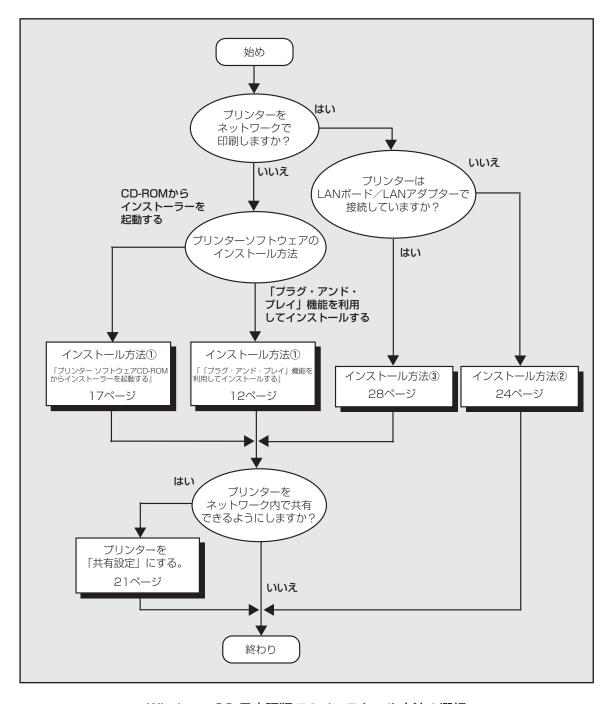
インストール方法②
24ページ

はい

プリンターを
ネットワーク内で共有
できるようにしますか？

プリンターを
「共有設定」にする。
21ページ

いいえ

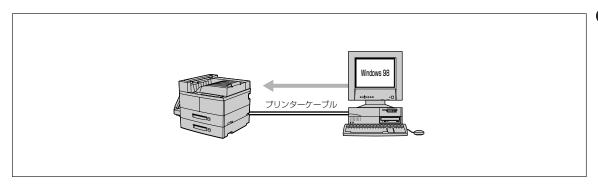
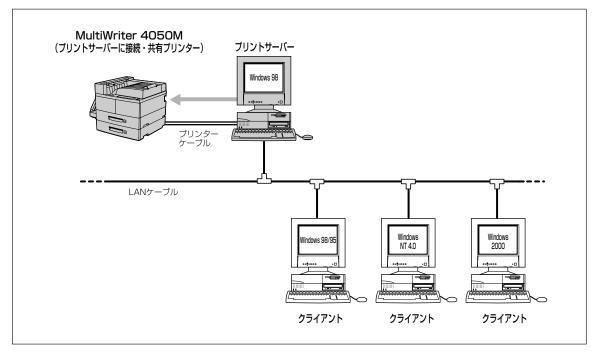
終わり

Windows 98 日本語版でのインストール方法の選択

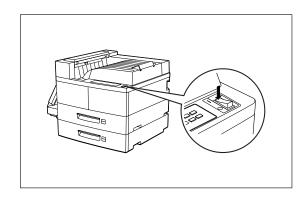
「プラグ・アンド・プレイ」機能について

Windows 98がインストールされているコンピューターに新しい周辺機器などを接続すると、コンピューターが起動時にその周辺機器を検出し、自動的にセットアップを案内する画面が表示されます。これが「プラグ・アンド・プレイ」機能です。接続する周辺機器が「プラグ・アンド・プレイ」に対応していれば、セットアップププログラムなどを使ってインストーラーを起動する必要がありません。（MultiWriter 4050Mは「プラグ・アンド・プレイ」に対応しています。）

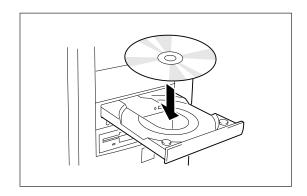
一方、本プリンターソフトウエアCD-ROMは、CD-ROMをドライブに挿入するだけで自動的にメニュープログラムを起動させる機能を持っています。どちらの方法で行ってもインストールの結果は同じです。

インストール方法 ①（コンピューターとプリンターが1対1で接続されているとき）

コンピューターがプリンターと1対1で接続されているとき（下図・上）、あるいはネットワーク接続でコンピューターがプリントサーバーとしてプリンターに接続しているとき（下図・下）は次の方法でインストールします。

「プラグ・アンド・プレイ」機能を利用してインストールする

1. MultiWriter 4050Mの電源をONにする。

2. Windows 98 日本語版を起動する。[新しいハードウエアの追加ウィザード]ダイアログボックスが表示されたら、[次へ]ボタンをクリックする。

このダイアログボックスが表示されなかったら、17ページからの「プリンターソフトウエアCD-ROMからインストーラーを起動する」を行ってください。

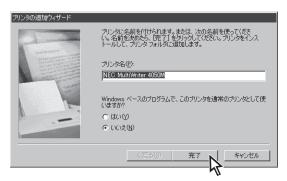
3. プリンターソフトウエアCD-ROMをCD-ROMドライブにセットする。

4. [使用中のデバイスに最適なドライバを検索する]をチェックして、[次へ]ボタンをクリックする。

5. ［CD-ROMドライブ］をチェックし、［次へ］ボタンをクリックする。

6. ［次へ］ボタンをクリックする。

7. プリンターの名前を確認し、［完了］ボタンをクリックする。

MultiWriter 4050Mを通常使用するプリンターとする場合は、［はい］を選んでから［完了］ボタンをクリックします。

プリンタードライバーがインストールされます。

8. ［完了］ボタンをクリックする。

9. 引き続きPrintAgentのインストールをするか、しないかを選択する。

▶PrintAgentをインストールする場合

[OK]ボタンをクリックする。

次の手順に進んでください。

▶PrintAgentをインストールしない場合

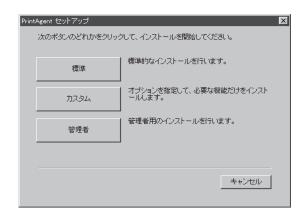
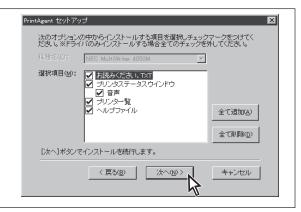
[キャンセル]ボタンをクリックする。

手順13に進んでください。

10. 使用目的に応じてインストール方法を選ぶ。

[標準]　最も標準的なソフトウエアをインストールします。主に印刷を使用目的とする場合に選びます。

[カスタム]　機能を選択してインストールする場合に選びます。

[管理者]　PrintAgentの機能をすべてインストールすることができます。プリンターを管理する方がインストールする場合に選びます。「プリンターソフトウエアのインストール(プリンター管理者用)」(133ページ)参照。

[カスタム]ボタンをクリックすると標準的なソフトウエアの項目が表示されます。インストールする項目にチェックを付けて([全て追加]ボタンをクリックするとすべてチェックされます)、[次へ]ボタンをクリックしてください。

11. PrintAgentとスプールファイルの作成先を指定し、[次へ]ボタンをクリックする。

ここでPrintAgentのインストール先およびプライベートスプールファイルを作成するためのフォルダーを作成します。あらかじめフォルダーが指定されていますので、変更がなければ、そのまま[次へ]ボタンをクリックします。

フォルダーを変更したいときは[参照]ボタンをクリックするか直接フォルダーのパスを入力してから、[次へ]ボタンをクリックしてください。インストール先のディスク空き容量が少ない場合は警告メッセージが出ます。その場合はフォルダーを変更してください。

12. [OK]ボタンをクリックする。

インストール終了後、再起動を促すダイアログボックスが表示されることがあります。表示された場合は画面の表示に従ってコンピューターを再起動してください。

13. 次のことをチェックして、プリンターソフトウエアが正常にインストールされたことを確認する。

☐ [プリンタ]フォルダー内に、[NEC MultiWriter 4050M]アイコンが登録されている。

□　タスクバーのトレイに、[PrintAgentシステム]アイコンが登録されている。(PrintAgentをインストールした場合のみ登録されます。)

□　スタートメニューの[プログラム]に[PrintAgent管理ツール]というフォルダーが追加され、その下に[プリンター覧]が登録されている。(PrintAgentをインストールし、さらにプリンター覧またはプリンタ管理ユーティリティをインストールした場合のみ追加、登録されます。)

□　スタートメニューの[プログラム]に[MultiWriter 4050M]というフォルダーが追加され、その下にPrintAgent関連のアイコンが登録されている。(PrintAgentをインストールした場合のみ登録されます。また、登録されるPrintAgentのアイコンは選択した内容によって変わります。)

プリンターソフトウエアCD-ROMからインストーラーを起動する

1. Windows 98 日本語版を起動する。

2. **プリンターソフトウエアCD-ROMをCD-ROMドライブにセットする。**

プリンターソフトウエアCD-ROMのメニューダイアログボックスが起動します。
もしメニューダイアログボックスが表示されなかった場合は、プリンターソフトウエアCD-ROMの中の「mwsetup.exe」をダブルクリックしてください。

3. **[プリンタソフトウエアのインストール]ボタンをクリックする。**

4. **「MultiWriter 4050M」を選んで[インストール]ボタンをクリックする。**

5. 使用目的に応じてインストール方法を選ぶ。

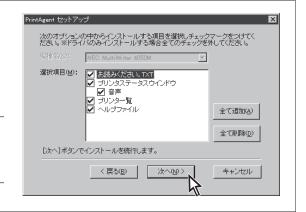
［標準］ 最も標準的なソフトウエアをインストールします。主に印刷を使用目的とする場合に選びます。

［カスタム］ 機能を選択してインストールする場合に選びます。

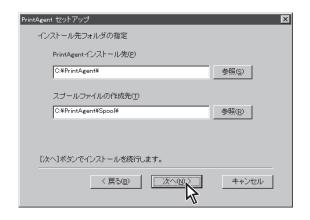
［管理者］ PrintAgentの機能をすべてインストールすることができます。プリンターを管理する方がインストールする場合に選びます。「プリンターソフトウエアのインストール（プリンター管理者用）」（133ページ）参照。

［カスタム］ボタンをクリックすると標準的なソフトウエアの項目が表示されます。インストールする項目にチェックを付けて（［全て追加］ボタンをクリックするとすべてチェックされます）、［次へ］ボタンをクリックしてください。

ヒント

プリンタードライバーのみインストールするときはチェックマークをすべて外し、このあと手順7に進んでください。

6. PrintAgentとスプールファイルの作成先を指定し、［次へ］ボタンをクリックする。

ここでPrintAgentのインストール先およびプライベートスプールファイルを作成するためのフォルダーを作成します。あらかじめフォルダーが指定されていますので、変更がなければ、そのまま［次へ］ボタンをクリックします。

フォルダーを変更したいときは［参照］ボタンをクリックするか直接フォルダーのパスを入力してから、［次へ］ボタンをクリックしてください。インストール先のディスク空き容量が少ない場合は警告メッセージが出ます。その場合はフォルダーを変更してください。

7. [ローカルプリンタ]を選ぶ。

接続先として[ローカルプリンタ]を選び、[次へ]ボタンをクリックします。

8. 使用するポートを選ぶ。

プリンターで使用するポートを選び、[次へ]ボタンをクリックします。

インストールが開始されます。

9. [OK]ボタンをクリックする。

セットアップ完了

セットアップ プログラムが完了しました。

OK

ヒント

インストール終了後、再起動を促すダイアログボックスが表示されることがあります。表示された場合は画面の表示に従ってコンピューターを再起動してください。

10. 次のことをチェックして、プリンターソフトウエアが正常にインストールされたことを確認する。

□ [プリンタ]フォルダー内に、[NEC MultiWriter 4050M]アイコンが登録されている。

□　タスクバーのトレイに、[PrintAgentシステム]アイコンが登録されている。(PrintAgentをインストールした場合のみ登録されます。)

□　スタートメニューの[プログラム]に[PrintAgent管理ツール]というフォルダーが追加され、その下に[プリンター一覧]が登録されている。(PrintAgentをインストールし、さらにプリンター一覧またはプリンタ管理ユーティリティをインストールした場合のみ追加、登録されます。)

□　スタートメニューの[プログラム]に[MultiWriter 4050M]というフォルダーが追加され、その下にPrintAgent関連のアイコンが登録されている。(PrintAgentをインストールした場合のみ登録されます。また、登録されるPrintAgentのアイコンは選択した内容によって変わります。)

MultiWriter 4050Mを共有プリンターに設定する

1. **[コントロールパネル]を開く。**

2. **[ネットワーク]アイコンをダブルクリックする。**

[ネットワーク]が開きます。

3. **[ファイルとプリンタの共有]ボタンをクリックする。**

[ファイルとプリンタの共有]ダイアログボックスが開きます。

ネットワーク構成にNetBEUIプロトコルもしくはTCP/IPプロトコル、Microsoftネットワーク共有サービスが必要です。

4. **[プリンタを共有できるようにする]をチェックし、[OK]ボタンをクリックする。**

5. **[OK]ボタンをクリックする。**

6. **[プリンタ]フォルダー内の[NEC MultiWriter 4050M]アイコンをクリックする。**

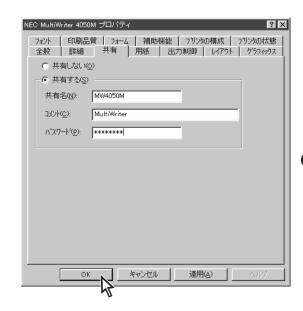
[プリンタ]フォルダーを開くには[スタート]ボタンから[設定]をポイントして、[プリンタ]をクリックします。

7. **[ファイル]メニューの[共有]をクリックする。**

[NEC MultiWriter 4050Mのプロパティ]ダイアログが表示されます。

8. [共有]タブをクリックする。

9. [共有]シートの設定をし、[OK]ボタンをクリックする。

[共有する]を選び、そのプリンターに対して共有名を設定します。（コメント、パスワードは必要に応じて設定します。）
[OK]または[適用]ボタンをクリックすれば共有の設定は終了です。

インストール方法 ② （プリンターソフトウエアをインストールするコンピューターがクライアントであるとき）

ネットワーク環境で、クライアントからプリントサーバー経由で共有プリンターへ印刷したいときは、次の方法でインストールします。

1. Windows 98 日本語版を起動する。

2. プリンターソフトウエアCD-ROMをCD-ROMドライブにセットする。

ソフトウエアインストールのメニュー画面が表示されます。

3. ［プリンタソフトウエアのインストール］をクリックする。

4. ［MultiWriter 4050M］を選んで［インストール］ボタンをクリックする。

5. 使用目的に応じてインストール方法を選ぶ。

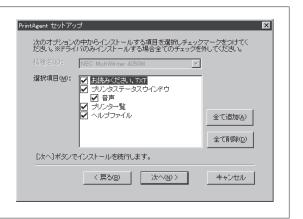
［標準］　最も標準的なソフトウエアをインストールします。主に印刷を使用目的とする場合に選びます。

［カスタム］機能を選択してインストールする場合に選びます。

［管理者］PrintAgentの機能をすべてインストールすることができます。プリンターを管理する方がインストールする場合に選びます。「プリンターソフトウエアのインストール（プリンター管理者用）」（133ページ）参照。

［カスタム］ボタンをクリックすると標準的なソフトウエアの項目が表示されます。インストールする項目にチェックを付けて（［全て追加］ボタンをクリックするとすべてチェックされます）、［次へ］ボタンをクリックしてください。

ヒント

プリンタードライバーのみインストールするときはチェックマークをすべて外し、このあと手順7へ進んでください。

6. PrintAgentとスプールファイルの作成先を指定し、[次へ]ボタンをクリックする。

ここでPrintAgentのインストール先およびプライベートスプールファイルを作成するためのフォルダーを作成します。あらかじめフォルダーが指定されていますので、変更がなければ、そのまま[次へ]ボタンをクリックします。

フォルダーを変更したいときは[参照]ボタンをクリックするか直接フォルダーのパスを入力してから、[次へ]ボタンをクリックしてください。インストール先のディスク空き容量が少ないと警告メッセージが出ます。その場合はフォルダーを変更してください。

7. [ネットワークプリンタ]をチェックし、[次へ]ボタンをクリックする。

8. プリンターの接続先を指定する。

プリンターの接続先を[ネットワークパス名]テキストボックスに入力するか[参照]ボタンをクリックして表示される一覧から指定し、[次へ]ボタンをクリックします。

ソフトウエアのインストールが開始されます。

9. [OK]ボタンをクリックする。

10. 次のことをチェックして、プリンターソフトウエアが正常にインストールされたことを確認する。

□ [プリンタ]フォルダー内に、[NEC MultiWriter 4050M]アイコンが登録されている。

□ タスクバーのトレイに、[PrintAgentシステム]アイコンが登録されている。(PrintAgentをインストールした場合のみ登録されます。)

□ スタートメニューの[プログラム]に[PrintAgent管理ツール]というフォルダーが追加され、その下に[プリンター覧]が登録されている。(PrintAgentをインストールし、さらにプリンター覧またはプリンタ管理ユーティリティをインストールした場合のみ追加、登録されます。)

□ スタートメニューの[プログラム]に[MultiWriter 4050M]というフォルダーが追加され、その下にPrintAgent関連のアイコンが登録されている。(PrintAgentをインストールした場合のみ登録されます。また、登録されるPrintAgentのアイコンは選択した内容によって変わります。)

インストール方法 ③（LANプリンターへ直接印刷するとき）

ネットワーク内のコンピューターから直接LANプリンターへ印刷したいときは、次の方法でインストールします。

✔チェック

MultiWriter 4050MをLANプリンターとしてご使用になる前に、次のことを確認してください。

- LANボードまたはLANアダプターが確実に取り付けられていることを、コンフィグレーションページの印刷を行って確認してください。（詳細はそれぞれの取扱説明書を参照してください。）
- LANボードまたはLANアダプターに添付されている取扱説明書に従って、LANボードまたはLANアダプターに割り付けてあるIPアドレスを設定してください。
- インストールするとき、また印刷先をLANプリンターに設定するときは、LANプリンターの電源が入っていることを確認してください。
- クライアントのコンピューターは現在のネットワーク構成としてTCP/IPプロトコルが設定されている必要があります。詳しくはWindows 98 日本語版のヘルプをご覧ください。

1. Windows 98 日本語版を起動する。

2. プリンターソフトウエアCD-ROMをCD-ROMドライブにセットする。

ソフトウエアインストールのメニュー画面が表示されます。

3. ［プリンタソフトウエアのインストール］をクリックする。

4. ［MultiWriter 4050M］を選んで［インストール］ボタンをクリックする。

5. 使用目的に応じてインストール方法を選ぶ。

［標準］　最も標準的なソフトウエアをインストールします。主に印刷を使用目的とする場合に選びます。

［カスタム］機能を選択してインストールする場合に選びます。

［管理者］PrintAgentの機能をすべてインストールすることができます。プリンターを管理する方がインストールする場合に選びます。「プリンターソフトウエアのインストール（プリンター管理者用）」（133ページ）参照。

［カスタム］ボタンをクリックすると標準的なソフトウエアの項目が表示されます。インストールする項目にチェックを付けて（［全て追加］ボタンをクリックするとすべてチェックされます）、［次へ］ボタンをクリックしてください。

プリンタードライバーのみインストールするときはチェックマークをすべて外してください。

6. PrintAgentとスプールファイルの作成先を指定し、［次へ］ボタンをクリックする。

ここでPrintAgentのインストール先およびプライベートスプールファイルを作成するためのフォルダーを作成します。あらかじめフォルダーが指定されていますので、変更がなければ、そのまま［次へ］ボタンをクリックします。

フォルダーを変更したいときは［参照］ボタンをクリックするか直接フォルダーのパスを入力してから、［次へ］ボタンをクリックしてください。インストール先のディスク空き容量が少ない場合は警告メッセージが出ます。その場合はフォルダーを変更してください。

7. ［ローカルプリンタ］をチェックし、［次へ］ボタンをクリックする。

8. 任意のポートを選ぶ。

任意のポートを選び、[次へ]ボタンをクリックします。

ソフトウエアのインストールが開始されます。

ここでのポート設定は仮のものです。手順11以降で再設定しますので任意のポートを選んでください。

9. [OK]ボタンをクリックする。

10. 次のことをチェックして、プリンターソフトウエアが正常にインストールされたことを確認する。

□ [プリンタ]フォルダー内に、[NEC MultiWriter 4050M]アイコンが登録されている。

□ タスクバーのトレイに、[PrintAgentシステム]アイコンが登録されている。(PrintAgentをインストールした場合のみ登録されます。)

□　スタートメニューの[プログラム]に[PrintAgent管理ツール]というフォルダーが追加され、その下に[プリンター一覧]が登録されている。(PrintAgentをインストールし、さらにプリンター一覧またはプリンタ管理ユーティリティをインストールした場合のみ追加、登録されます。)

□　スタートメニューの[プログラム]に[MultiWriter 4050M]というフォルダーが追加され、その下にPrintAgent関連のアイコンが登録されている。(PrintAgentをインストールした場合のみ登録されます。また、登録されるPrintAgentのアイコンは選択した内容によって変わります。)

続いてポートの追加を行います。

11. [プリンタ]フォルダーの「NEC MultiWriter 4050M」アイコンを右クリックし、[プロパティ]をクリックする。

[MultiWriter 4050Mのプロパティ]のダイアログボックスが表示されます。

12. **［詳細］タブをクリックする。**

［詳細］プロパティシートが開きます。

13. **［ポートの追加］ボタンをクリックする。**

14. **［その他］の［NEC TCP/IP Printing System］を選んで、［OK］ボタンをクリックする。**

15. **LANボードのIPアドレスを入力し、［OK］ボタンをクリックする。**

IPアドレス設定の確認は、LANボードまたはLANアダプターの取扱説明書をご覧ください。

NEC TCP/IP Printing System

インターネットアドレス入力(E):

123.123.123.123

OK

キャンセル

バージョン情報

16. **印刷先のポートを確認し、［OK］ボタンをクリックする。**

これで「ポートの追加」は終了です。

プリンターソフトウエアを削除する

MultiWriter 4050Mプリンターソフトウエアを再インストールする場合は、すでにインストールされているMultiWriter 4050Mのプリンターソフトウエアを削除してから行います。ここではこれら削除の方法を説明します。

重要

- PrintAgentのインストール時に指定したPrintAgentモジュールのフォルダー名をインストールした後に変更している場合、ソフトウエアの削除は正常に行えません。変更されているフォルダー名をインストール時のフォルダー名に戻してからソフトウエアの削除を行ってください。
- PrintAgent対応プリンターのプロパティダイアログボックスを表示しているとソフトウエアの削除を行えません。ダイアログボックスを閉じてから行ってください。
- MultiWriter 4050Mが印刷している間はソフトウエアの削除は行えません。印刷が終了してから行ってください。

プリンタードライバーの削除

1. [プリンタ]フォルダーを開く。

インストール済みのプリンターアイコンが表示されます。

2. [NEC MultiWriter 4050M]アイコンをクリックする。

3. [ファイル]メニューの[削除]をクリックする。

4. [はい]ボタンをクリックする。

MultiWriter 4050Mのプリンタードライバーが削除されます。

PrintAgentの削除

1. コントロールパネルを開く。

2. [アプリケーションの追加と削除]アイコンをダブルクリックする。

[アプリケーションの追加と削除のプロパティ]が表示されます。

3. [セットアップと削除]タブをクリックする。

4. リストから[NEC PrintAgent]を選んで、[追加と削除]ボタンをクリックする。

PrintAgentセットアップの画面が表示されます。

5. **すべてのチェックマークを外して[次へ]ボタンをクリックする。**

PrintAgentが削除されます。([全て削除]ボタンをクリックするとすべてのチェックが外れます。)

6. **[OK]ボタンをクリックする。**

7. **[OK]ボタンをクリックする。**

8. **[OK]ボタンをクリックする。**

プリンターソフトウエアのインストール（Windows 95 日本語版）

プリンターソフトウエアをインストールする

ここでは、Windows 95 日本語版にプリンターソフトウエアをインストールして、印刷の準備ができるまでを説明します。

プリンターソフトウエアのインストール方法はMultiWriter 4050Mが接続されている環境により異なります。次ページのフローチャートに従って環境に合ったインストール方法を選択してください。

フロッピーディスクでインストールする方へ

本書ではCD-ROMを使った手順で説明しています。プリンターソフトウエアCD-ROMから作成したプリンターソフトウエアディスクを使用してインストールをする場合は、「setup.exe」を実行してください。また、インストールの途中でフロッピーディスクの交換を求める画面が表示されることがあります。その場合は画面の指示に従ってフロッピーディスクの入れ替えを行ってください。

始め

プリンターを
ネットワークで
印刷しますか？

はい

いいえ

プリンターは
LANボード／LANアダプターで
接続していますか？

いいえ

はい

CD-ROMから
インストーラーを
起動する

プリンターソフトウェアの
インストール方法

「プラグ・アンド・
プレイ」機能を利用
してインストールする

インストール方法①
「プリンター ソフトウェアCD-ROM
からインストーラーを起動する」
45ページ

インストール方法①
「「プラグ・アンド・プレイ」機能を
利用してインストールする」
40ページ

インストール方法③
56ページ

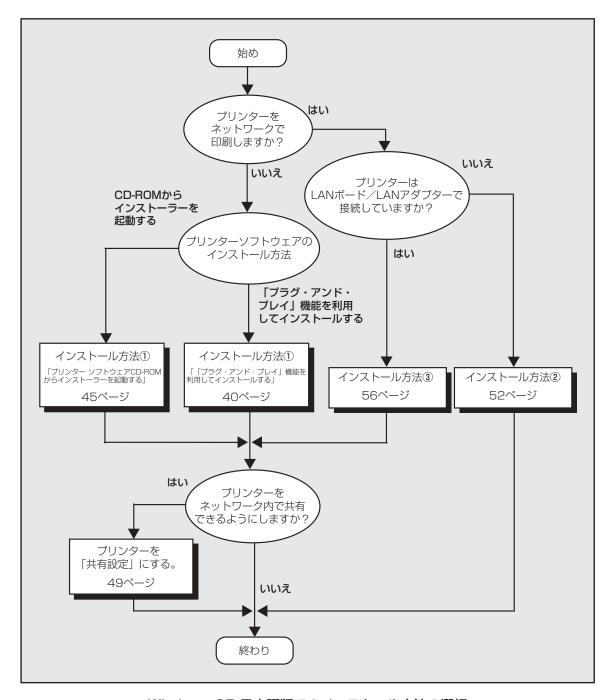
インストール方法②
52ページ

はい

プリンターを
ネットワーク内で共有
できるようにしますか？

プリンターを
「共有設定」にする。
49ページ

いいえ

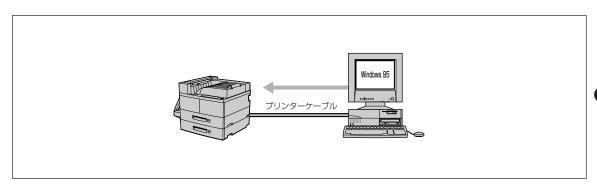
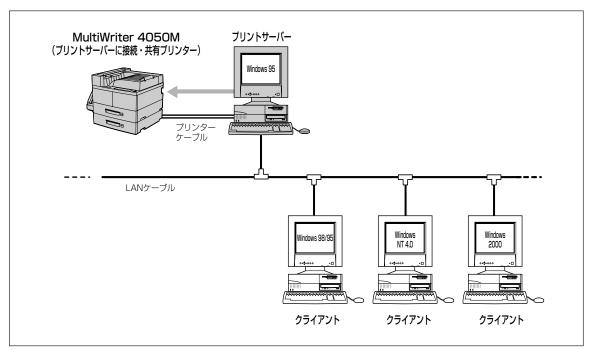
終わり

Windows 95 日本語版でのインストール方法の選択

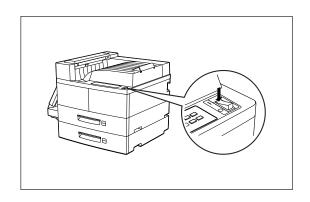
「プラグ・アンド・プレイ」機能について

Windows 95がインストールされているコンピューターに新しい周辺機器などを接続すると、コンピューターが起動時にその周辺機器を検出し、自動的にセットアップを案内する画面が表示されます。これが「プラグ・アンド・プレイ」機能です。接続する周辺機器が「プラグ・アンド・プレイ」に対応していれば、セットアッププログラムなどを使ってインストーラーを起動する必要がありません。（MultiWriter 4050Mは「プラグ・アンド・プレイ」に対応しています。）

一方、本プリンターソフトウエアCD-ROMは、CD-ROMをドライブに挿入するだけで自動的にメニュープログラムを起動させる機能を持っています。どちらの方法で行ってもインストールの結果は同じです。

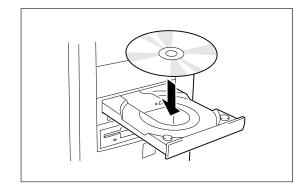
インストール方法 ①（コンピューターとプリンターが1対1で接続されているとき）

コンピューターがプリンターと1対1で接続されているとき(下図・上)、あるいはネットワーク接続でコンピューターがプリントサーバーとしてプリンターに接続しているとき(下図・下)は次の方法でインストールします。

「プラグ・アンド・プレイ」機能を利用してインストールする

1. MultiWriter 4050Mの電源をONにする。

2. Windows 95 日本語版を起動し、表示される指示に従って操作する。

▶ [デバイスドライバウィザード]ダイアログボックスが表示される。

プリンターソフトウエアCD-ROMをCD-ROMドライブにセットし、[次へ]ボタンをクリックする。

手順3に進んでください。

▶［新しいハードウェア］ダイアログボックスが表示される。

［ハードウェアの製造元が提供するドライバ］を選び、［OK］ボタンをクリックする。

手順5に進んでください。

▶何も表示されない。

45ページからの「プリンターソフトウエアCD-ROMからインストーラーを起動する」を行ってください。

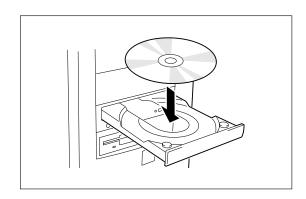
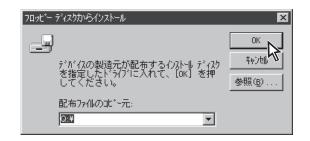
3. ［完了］ボタンをクリックする。

4. プリンターの名前を確認し、［完了］ボタンをクリックする。

MultiWriter 4050Mを通常使用するプリンターとする場合は、［はい］を選んで［完了］ボタンをクリックします。

プリンタードライバーがインストールされます。

手順8に進んでください。

5. プリンターソフトウエアCD-ROMをCD-ROMドライブにセットする。

6. ［配付ファイルのコピー元］ボックスにCD-ROMドライブ名、コロン（：）、円記号（¥）を入力し、［OK］ボタンをクリックする。

7. プリンターの名前を確認し、［完了］ボタンをクリックする。

MultiWriter 4050Mを通常使用するプリンターとする場合は、［はい］を選んで［完了］ボタンをクリックします。

プリンタードライバーがインストールされます。

8. PrintAgentのインストール手順に入ります。

▶引き続きPrintAgentをインストールする場合

［OK］ボタンをクリックする。

次の手順に進んでください。

▶PrintAgentをインストールしない場合

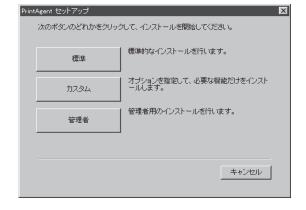
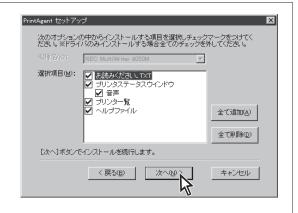
［キャンセル］ボタンをクリックする。

手順12に進んでください。

9. 使用目的に応じてインストール方法を選ぶ。

［標準］　最も標準的なソフトウエアをインストールします。主に印刷を使用目的とする場合に選びます。

［カスタム］　機能を選択してインストールする場合に選びます。

［管理者］　PrintAgentの機能をすべてインストールすることができます。プリンターを管理する方がインストールする場合に選びます。「プリンターソフトウエアのインストール（プリンター管理者用）」（133ページ）参照。

［カスタム］ボタンをクリックすると標準的なソフトウエアの項目が表示されます。インストールする項目にチェックを付けて（［全て追加］ボタンをクリックするとすべてチェックされます）、［次へ］ボタンをクリックしてください。

10. PrintAgentとスプールファイルの作成先を指定し、［次へ］ボタンをクリックする。

ここでPrintAgentのインストール先およびプライベートスプールファイルを作成するためのフォルダーを作成します。あらかじめフォルダーが指定されていますので、変更がなければ、そのまま［次へ］ボタンをクリックします。

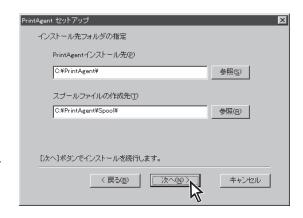
チェック

フォルダーを変更したいときは［参照］ボタンをクリックするか直接フォルダーのパスを入力してから、［次へ］ボタンをクリックしてください。インストール先のディスク空き容量が少ない場合は警告メッセージが出ます。その場合はフォルダーを変更してください。

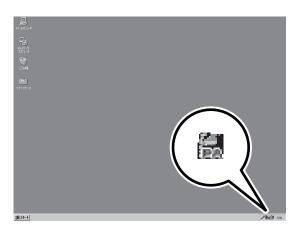
インストールが開始されます。

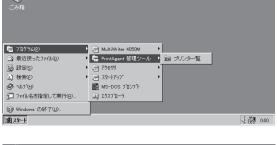
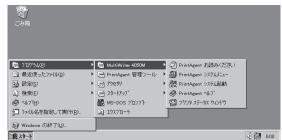
11. ［OK］ボタンをクリックする。

インストール終了後、再起動を促すダイアログボックスが表示されることがあります。表示された場合は画面の表示に従ってコンピューターを再起動してください。

［プリンターソフトウエアCD-ROMメニュー］が開いている場合は、［終了］ボタンをクリックしてください。

12. 次のことをチェックして、プリンターソフトウエアが正常にインストールされたことを確認する。

□　[プリンタ]フォルダー内に、[NEC MultiWriter 4050M]アイコンが登録されている。

□　タスクバーのトレイに、[PrintAgentシステム]アイコンが登録されている。(PrintAgentをインストールした場合のみ登録されます。)

□　スタートメニューの[プログラム]に[PrintAgent管理ツール]というフォルダーが追加され、その下に[プリンター覧]が登録されている。(PrintAgentをインストールし、さらにプリンター覧またはプリンタ管理ユーティリティをインストールした場合のみ追加、登録されます。)

□　スタートメニューの[プログラム]に[MultiWriter 4050M]というフォルダーが追加され、その下にPrintAgent関連のアイコンが登録されている。(PrintAgentをインストールした場合のみ登録されます。また、登録されるPrintAgentのアイコンは選択した内容によって変わります。)

プリンターソフトウエアCD-ROMからインストーラーを起動する

1. Windows 95 日本語版を起動する。

2. プリンターソフトウエアCD-ROMをCD-ROMドライブにセットする。

プリンターソフトウエアCD-ROMのメニューダイアログボックスが起動します。

3. [プリンタソフトウエアのインストール]ボタンをクリックする。

4. [MultiWriter 4050M]を選んで[インストール]ボタンをクリックする。

5. 使用目的に応じてインストール方法を選ぶ。

［標準］ 最も標準的なソフトウエアをインストールします。主に印刷を使用目的とする場合に選びます。

［カスタム］ 機能を選択してインストールする場合に選びます。

［管理者］ PrintAgentの機能をすべてインストールすることができます。プリンターを管理する方がインストールする場合に選びます。「プリンターソフトウエアのインストール（プリンター管理者用）」（133ページ）参照。

［カスタム］ボタンをクリックすると標準的なソフトウエアの項目が表示されます。インストールする項目にチェックを付けて（［全て追加］ボタンをクリックするとすべてチェックされます）、［次へ］ボタンをクリックしてください。

プリンタードライバーのみインストールするときはチェックマークをすべて外し、手順7に進んでください。

6. PrintAgentとスプールファイルの作成先を指定し、［次へ］ボタンをクリックする。

ここでPrintAgentのインストール先およびプライベートスプールファイルを作成するためのフォルダーを作成します。あらかじめフォルダーが指定されていますので、変更がなければ、そのまま［次へ］ボタンをクリックします。

フォルダーを変更したいときは［参照］ボタンをクリックするか直接フォルダーのパスを入力してから、［次へ］ボタンをクリックしてください。インストール先のディスク空き容量が少ない場合は警告メッセージが出ます。その場合はフォルダーを変更してください。

7. [ローカルプリンタ]をチェックし、[次へ]ボタンをクリックする。

8. プリンターで使用するポートを選び、[次へ]ボタンをクリックする。

インストールが開始されます。

9. [OK]ボタンをクリックする。

インストール終了後、再起動を促すダイアログボックスが表示されることがあります。表示された場合は画面の表示に従ってコンピューターを再起動してください。

10. 次のことをチェックして、プリンターソフトウエアが正常にインストールされたことを確認する。

□ [プリンタ]フォルダー内に、[NEC MultiWriter 4050M]アイコンが登録されている。

□　タスクバーのトレイに、[PrintAgentシステム]アイコンが登録されている。(PrintAgentをインストールした場合のみ登録されます。)

□　スタートメニューの[プログラム]に[PrintAgent管理ツール]というフォルダーが追加され、その下に[プリンター覧]が登録されている。(PrintAgentをインストールし、さらにプリンター覧またはプリンタ管理ユーティリティをインストールした場合のみ追加、登録されます。)

□　スタートメニューの[プログラム]に[MultiWriter 4050M]というフォルダーが追加され、その下にPrintAgent関連のアイコンが登録されている。(PrintAgentをインストールした場合のみ登録されます。また、登録されるPrintAgentのアイコンは選択した内容によって変わります。)

MultiWriter 4050Mを共有プリンターに設定する

1. [コントロールパネル]を開く。

2. [ネットワーク]アイコンをダブルクリックする。

[ネットワーク]が開きます。

3. [ファイルとプリンタの共有]ボタンをクリックする。

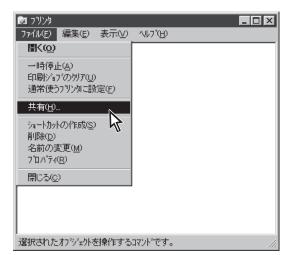
[ファイルとプリンタの共有]ダイアログボックスが開きます。

ネットワーク構成にNetBEUIプロトコルもしくはTCP/IPプロトコル、Microsoftネットワーク共有サービスが必要です。

4. ［プリンタを共有できるようにする］をチェックし、［OK］ボタンをクリックする。

5. ［OK］ボタンをクリックする。

6. ［プリンタ］フォルダー内の［NEC MultiWriter 4050M］アイコンをクリックする。

7. ［ファイル］メニューの［共有］をクリックする。

［NEC MultiWriter 4050Mのプロパティ］ダイアログが表示されます。

8. **［共有］タブをクリックする。**

9. **［共有］シートの設定をし、［OK］ボタンをクリックする。**

［共有する］を選び、そのプリンターに対して共有名を設定します。（コメント、パスワードは必要に応じて設定します。）
［OK］または［適用］ボタンをクリックすれば共有の設定は終了です。

インストール方法 ② (プリンターソフトウエアをインストールするコンピューターがクライアントであるとき)

ネットワーク環境で、クライアントからプリントサーバーを経由して共有プリンターへ印刷したいときは、次の方法でインストールします。

1. Windows 95 日本語版を起動する。

2. プリンターソフトウエアCD-ROMをCD-ROMドライブにセットする。

ソフトウエアインストールのメニュー画面が表示されます。

3. [プリンタソフトウエアのインストール]をクリックする。

4. [MultiWriter 4050M]を選んで[インストール]ボタンをクリックする。

5. 使用目的に応じてインストール方法を選ぶ。

[標準]　最も標準的なソフトウエアをインストールします。主に印刷を使用目的とする場合に選びます。

[カスタム]　機能を選択してインストールする場合に選びます。

[管理者]　PrintAgentの機能をすべてインストールすることができます。プリンターを管理する方がインストールする場合に選びます。「プリンターソフトウエアのインストール(プリンター管理者用)」(133ページ)参照。

[カスタム]ボタンをクリックすると標準的なソフトウエアの項目が表示されます。インストールする項目にチェックを付けて([全て追加]ボタンをクリックするとすべてチェックされます)、[次へ]ボタンをクリックしてください。

ヒント

プリンタードライバーのみインストールするときはチェックマークをすべて外し、手順7に進んでください。

6. PrintAgentとスプールファイルの作成先を指定し、[次へ]ボタンをクリックする。

ここでPrintAgentのインストール先およびプライベートスプールファイルを作成するためのフォルダーを作成します。あらかじめフォルダーが指定されていますので、変更がなければ、そのまま[次へ]ボタンをクリックします。

フォルダーを変更したいときは[参照]ボタンをクリックするか直接フォルダーのパスを入力してから、[次へ]ボタンをクリックしてください。インストール先のディスク空き容量が少ないと警告メッセージが出ます。その場合はフォルダーを変更してください。

7. [ネットワークプリンタ]をチェックし、[次へ]ボタンをクリックする。

8. プリンターの接続先を指定し、[次へ]ボタンをクリックする。

プリンターの接続先を[ネットワークパス名]ボックスに入力するか[参照]ボタンをクリックして表示される一覧から指定し、[次へ]ボタンをクリックします。

ソフトウエアのインストールが開始されます。

9. [OK]ボタンをクリックする。

10. 次のことをチェックして、プリンターソフトウエアが正常にインストールされたことを確認する。

□ [プリンタ]フォルダー内に、[NEC MultiWriter 4050M]アイコンが登録されている。

□ タスクバーのトレイに、[PrintAgentシステム]アイコンが登録されている。（PrintAgentをインストールした場合のみ登録されます。）

□ スタートメニューの[プログラム]に[PrintAgent管理ツール]というフォルダーが追加され、その下に[プリンター覧]が登録されている。（PrintAgentをインストールし、さらにプリンター覧またはプリンタ管理ユーティリティをインストールした場合のみ追加、登録されます。）

□ スタートメニューの[プログラム]に[MultiWriter 4050M]というフォルダーが追加され、その下にPrintAgent関連のアイコンが登録されている。（PrintAgentをインストールした場合のみ登録されます。また、登録されるPrintAgentのアイコンは選択した内容によって変わります。）

インストール方法 ③（LANプリンターへ直接印刷するとき）

ネットワーク内のコンピューターから直接LANプリンターへ印刷したいときは、次の方法でインストールします。

MultiWriter 4050M
（プリントサーバーに接続・共有プリンター）

プリントサーバー

Windows
NT 4.0

MultiWriter 4050M
（LANボード/LANアダプター装備・LANプリンター）

プリンター
ケーブル

LANケーブル

MultiWriter 4050M
（クライアントに接続・ローカルプリンター）

Windows
NT 4.0

Windows 95

クライアント

クライアント

MultiWriter 4050MをLANプリンターとしてご使用になる前に、次のことを確認してください。

- LANボードまたはLANアダプターが確実に取り付けられていることを、コンフィグレーションページの印刷を行って確認してください。（詳細はLANボードの取扱説明書を参照してください。）
- LANボードまたはLANアダプターに添付されている取扱説明書に従って、LANボードまたはLANアダプターに割り付けてあるIPアドレスを設定してください。
- インストールするとき、また印刷先をLANプリンターに設定するときは、LANプリンターの電源が入っていることを確認してください。
- クライアントのコンピューターは現在のネットワーク構成としてTCP/IPプロトコルが設定されている必要があります。詳しくはWindows 95 日本語版のヘルプをご覧ください。

1. Windows 95 日本語版を起動する。

2. プリンターソフトウエアCD-ROMをCD-ROMドライブにセットする。

ソフトウエアインストールのメニュー画面が表示されます。

3. [プリンタソフトウエアのインストール]をクリックする。

4. [MultiWriter 4050M]を選んで[インストール]ボタンをクリックする。

5. 使用目的に応じてインストール方法を選ぶ。

［標準］　最も標準的なソフトウエアをインストールします。主に印刷を使用目的とする場合に選びます。

［カスタム］　機能を選択してインストールする場合に選びます。

［管理者］　PrintAgentの機能をすべてインストールすることができます。プリンターを管理する方がインストールする場合に選びます。「プリンターソフトウエアのインストール（プリンター管理者用）」（133ページ）参照。

［カスタム］ボタンをクリックすると標準的なソフトウエアの項目が表示されます。インストールする項目にチェックを付けて（［全て追加］ボタンをクリックするとすべてチェックされます）、［次へ］ボタンをクリックしてください。

ヒント

プリンタードライバーのみインストールするときはチェックマークをすべて外し、手順7に進んでください。

6. PrintAgentとスプールファイルの作成先を指定し、［次へ］ボタンをクリックする。

ここでPrintAgentのインストール先およびプライベートスプールファイルを作成するためのフォルダーを作成します。あらかじめフォルダーが指定されていますので、変更がなければ、そのまま［次へ］ボタンをクリックします。

ヒント

フォルダーを変更したいときは［参照］ボタンをクリックするか直接フォルダーのパスを入力してから、［次へ］ボタンをクリックしてください。インストール先のディスク空き容量が少ない場合は警告メッセージが出ます。その場合はフォルダーを変更してください。

7. [ローカルプリンタ]をチェックし、[次へ]ボタンをクリックする。

8. 任意のポートを選ぶ。

任意のポートを選び、[次へ]ボタンをクリックします。

ソフトウエアのインストールが開始されます。

ここでのポート設定は仮のものです。手順11以降で再設定しますので任意のポートを選んでください。

9. [OK]ボタンをクリックする。

10. 次のことをチェックして、プリンターソフトウエアが正常にインストールされたことを確認する。

□ [プリンタ]フォルダー内に、[NEC MultiWriter 4050M]アイコンが登録されている。

□ タスクバーのトレイに、[PrintAgentシステム]アイコンが登録されている。(PrintAgentをインストールした場合のみ登録されます。)

□ スタートメニューの[プログラム]に[PrintAgent管理ツール]というフォルダーが追加され、その下に[プリンター覧]が登録されている。(PrintAgentをインストールし、さらにプリンター覧またはプリンタ管理ユーティリティをインストールした場合のみ追加、登録されます。)

□ スタートメニューの[プログラム]に[MultiWriter 4050M]というフォルダーが追加され、その下にPrintAgent関連のアイコンが登録されている。(PrintAgentをインストールした場合のみ登録されます。また、登録されるPrintAgentのアイコンは選択した内容によって変わります。)

続いて「ポートの追加」を行います。

11. **[プリンタ]フォルダーの「NEC MultiWriter 4050M」アイコンを右クリックし、[プロパティ]をクリックする。**

[MultiWriter 4050Mのプロパティ]のダイアログボックスが表示されます。

12. **[詳細]タブをクリックする。**

[詳細]プロパティシートが開きます。

13. ［ポートの追加］ボタンをクリックする。

14. ［その他］の［NEC TCP/IP Printing System］を選んで、［OK］ボタンをクリックする。

15. LANボードのIPアドレスを入力し、［OK］ボタンをクリックする。

IPアドレス設定の確認は、LANボードまたはLANアダプターの取扱説明書をご覧ください。

16. ［印刷先のポート］を確認して、［OK］ボタンをクリックする。

これで「ポートの追加」は終了です。

プリンターソフトウエアを削除する

MultiWriter 4050Mプリンターソフトウエアを再インストールする場合は、すでにインストールされているMultiWriter 4050Mのプリンターソフトウエアを削除してから行います。ここではこれら削除の方法を説明します。

重要

- PrintAgentのインストール時に指定したPrintAgentモジュールのフォルダー名をインストールした後に変更している場合、ソフトウエアの削除は正常に行えません。変更されているフォルダー名をインストール時のフォルダー名に戻してからソフトウエアの削除を行ってください。
- PrintAgent対応プリンターのプロパティダイアログボックスを表示しているとソフトウエアの削除を行えません。ダイアログボックスを閉じてから行ってください。
- MultiWriter 4050Mが印刷している間はソフトウエアの削除は行えません。印刷が終了してから行ってください。

プリンタードライバーの削除

1. **[プリンタ]フォルダーを開く。**

インストール済みのプリンターアイコンが表示されます。

2. **[NEC MultiWriter 4050M]アイコンをクリックする。**

3. **[ファイル]メニューの[削除]をクリックする。**

4. **[はい]ボタンをクリックする。**

MultiWriter 4050Mのプリンタードライバーが削除されます。

PrintAgentの削除

1. **［コントロールパネル］を開く。**

2. **［アプリケーションの追加と削除］アイコンをダブルクリックする。**

［アプリケーションの追加と削除］が表示されます。

3. **［セットアップと削除］タブをクリックする。**

4. **リストから［NEC PrintAgent］を選んで、［追加と削除］ボタンをクリックする。**

PrintAgentセットアップの画面が表示されます。

5. すべてのチェックマークを外して[次へ]ボタンをクリックする。

PrintAgentが削除されます。（[全て削除]ボタンをクリックするとすべてのチェックが外れます。）

6. [OK]ボタンをクリックする。

7. [OK]ボタンをクリックする。

8. [OK]ボタンをクリックする。

プリンターソフトウエアのインストール（Windows 2000 日本語版）

プリンターソフトウエアをインストールする

ここでは、Windows 2000 日本語版にプリンターソフトウエアをインストールして、印刷の準備ができるまでを説明します。

プリンターソフトウエアのインストール方法はMultiWriter 4050Mの接続されている環境により異なります。次ページのフローチャートに従って環境に合ったインストール方法を選択してください。

重要

PrintAgentをインストールする場合は、実施者が「Administrators」または「DomainAdmins」グループのメンバーである必要があります。どちらのメンバーでもない場合は、インストールを行うことはできません。

ヒント

フロッピーディスクでインストールする方へ

本書ではCD-ROMを使った手順で説明しています。プリンターソフトウエアCD-ROMから作成したプリンターソフトウエアディスクを使用してインストールをする場合は、「setup.exe」を実行してください。また、インストールの途中でフロッピーディスクの交換を求める画面が表示されることがあります。その場合は画面の指示に従ってフロッピーディスクの入れ替えを行ってください。

始め

プリンターを
ネットワークで
印刷しますか？

はい

いいえ

プリンターは
LANボード／LANアダプターで
接続していますか？

いいえ

はい

CD-ROMから
インストーラーを
起動する

プリンターソフトウェアの
インストール方法

「プラグ・アンド・
プレイ」機能を利用
してインストールする

インストール方法①
「プリンター ソフトウェアCD-ROM
からインストーラーを起動する」
71ページ

インストール方法①
「「プラグ・アンド・プレイ」機能を
利用してインストールする」
68ページ

インストール方法③
84ページ

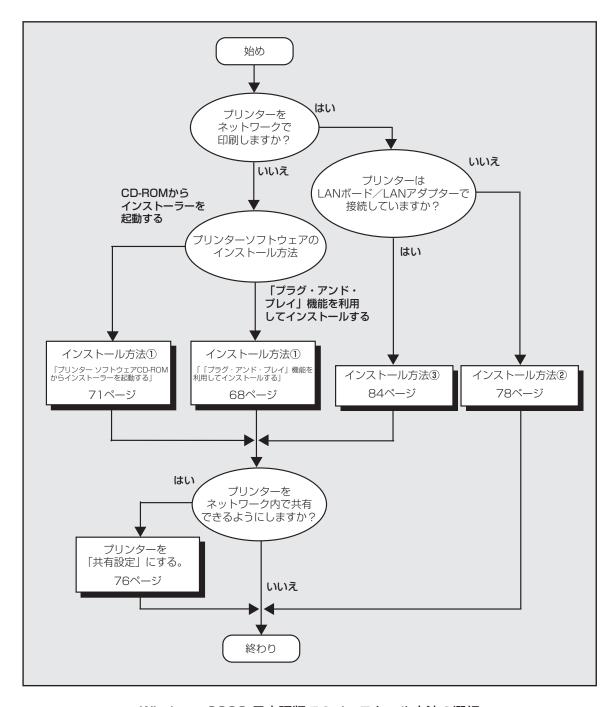
インストール方法②
78ページ

はい

プリンターを
ネットワーク内で共有
できるようにしますか？

プリンターを
「共有設定」にする。
76ページ

いいえ

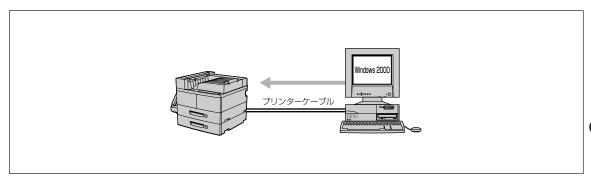
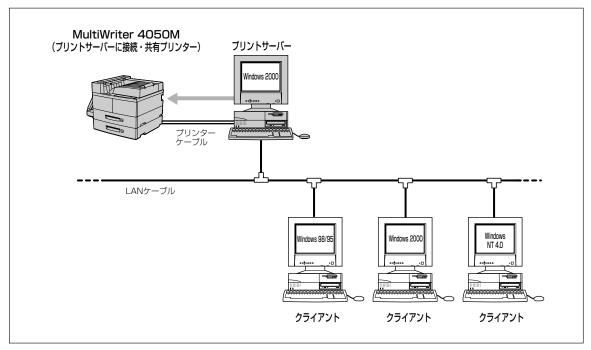
終わり

Windows 2000 日本語版でのインストール方法の選択

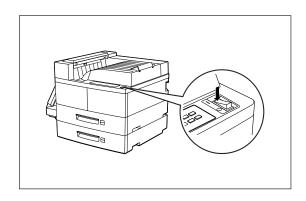
「プラグ・アンド・プレイ」機能について

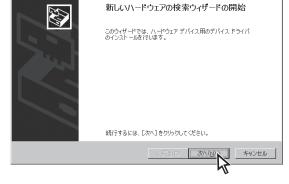
Windows 2000がインストールされているコンピューターに新しい周辺機器などを接続すると、コンピューターが起動時にその周辺機器を検出し、自動的にセットアップを案内する画面が表示されます。これが「プラグ・アンド・プレイ」機能です。接続する周辺機器が「プラグ・アンド・プレイ」に対応していれば、セットアッププログラムなどを使ってインストーラーを起動する必要がありません。（MultiWriter 4050Mは「プラグ・アンド・プレイ」に対応しています。）

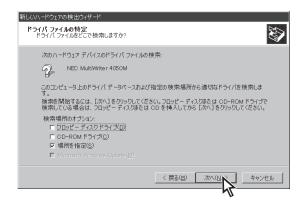
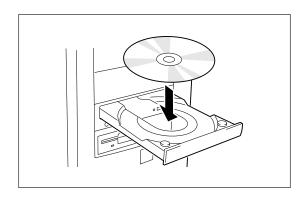
一方、本プリンターソフトウエアCD-ROMは、CD-ROMをドライブに挿入するだけで自動的にメニュープログラムを起動させる機能を持っています。どちらの方法で行ってもインストールの結果は同じです。

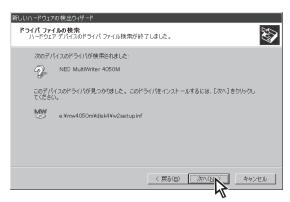
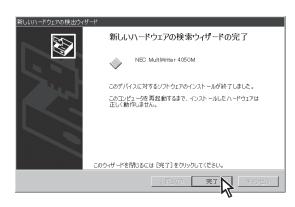
インストール方法 ①（コンピューターとプリンターが1対1で接続されているとき）

コンピューターがプリンターと1対1で接続されているとき（下図・上）、あるいはネットワーク接続でコンピューターがプリントサーバーとしてプリンターに接続しているとき（下図・下）は次の方法でインストールします。

「プラグ・アンド・プレイ」機能を利用してインストールする

1. MultiWriter 4050Mの電源をONにする。

2. Windows 2000 日本語版を起動する。[新しいハードウエアの追加ウィザード]ダイアログボックスが表示されたら、[次へ]ボタンをクリックする。

このダイアログボックスが表示されなかったら、71ページからの「プリンターソフトウエアCD-ROMからインストーラーを起動する」を行ってください。

3. [デバイスに最適なドライバを検索する(推奨)]を選び、[次へ]ボタンをクリックする。

4. [場所を指定]を選び、[次へ]ボタンをクリックする。

5. プリンターソフトウエアCD-ROMをCD-ROMドライブにセットする。

6. ［製造元のファイルのコピー元］に、CD-ROMドライブ名、コロン（:）、円記号（¥）に続けて「MW4050M¥DISK4」と直接入力し、［OK］ボタンをクリックする。

7. ［次へ］ボタンをクリックする。

8. ［完了］ボタンをクリックする。

[デジタル署名が見つかりませんでした]とメッセージダイアログボックスが表示される場合があります。MultiWriter 4050Mに添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されているMultiWriter 4050Mのプリンターソフトウエアは、弊社により動作を確認しております。

[はい]ボタンをクリックし、インストールを続行します。

[いいえ]ボタンをクリックした場合は、インストールが中止されます。

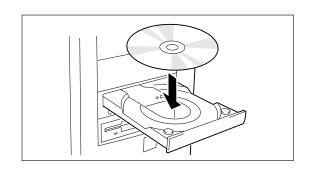
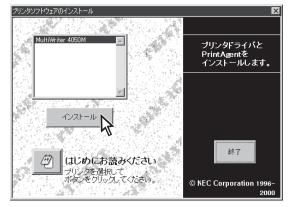
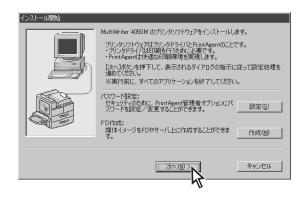
これでプリンタードライバーのインストールは完了です。次にPrintAgentをインストールする場合は、「CD-ROMからのインストール」の手順2に進んでください。

プリンターソフトウエアCD-ROMからインストーラーを起動する

1. **Windows 2000 日本語版を起動する。**

2. **プリンターソフトウエアCD-ROMをCD-ROMドライブにセットする。**

プリンターソフトウエアCD-ROMのメニューダイアログボックスが起動します。
もしメニューダイアログボックスが表示されなかった場合は、プリンターソフトウエアCD-ROMの中の「mwsetup.exe」をダブルクリックしてください。

3. **[プリンタソフトウエアのインストール]ボタンをクリックする。**

4. **「MultiWriter 4050M」を選んで[インストール]ボタンをクリックする。**

5. **[次へ]ボタンをクリックする。**

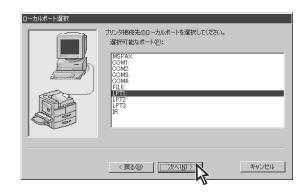
6. [プリンタドライバをインストールする]を選び、[次へ]ボタンをクリックする。

[プリンタドライバをインストールしない]を選んだときは手順10へ進んでください。

7. [ローカルポート]を選び、[次へ]ボタンをクリックする。

ネットワーク接続されていない場合はこのダイアログボックスは表示されません。手順8へ進んでください。

- ローカルポートを選ぶのは、プリンターがコンピューターとプリンターケーブルで接続されているときです。
- [ネットワーク共有プリンタ]を選ぶのは、プリンターがネットワーク上で共有プリンターとして接続されているときです。
- [NEC TCP/IP Port]を選ぶのは、プリンターがLANボードまたはLANアダプターによりネットワーク上に接続されているときです。

8. 希望するポートを選び[次へ]ボタンをクリックする。

9. [次へ]ボタンをクリックする。

ヒント

- [共有プリンタとして利用する]をチェックし共有プリンター名を設定することでこのプリンターをネットワークユーザーが利用できるようになります。
- [代替ドライバをインストールする]をチェックしリストからOS名を選択することで、代替ドライバーのインストールができます。すでに代替ドライバーがインストールされている場合はリストに表示されません。

チェック

Windows NT4.0日本語版の代替ドライバーがインストールできない場合があります。このときは、媒体作成機能で媒体イメージを作成し、その媒体イメージを使用してネットワークインストールを行ってください。

10. [PrintAgentをインストールする]を選び[次へ]ボタンをクリックする。

[PrintAgentをインストールしない]を選んだときは手順13へ進んでください。

11. 使用目的に応じてインストール方法を選び、[次へ]ボタンをクリックする。

[標準インストール]
標準構成でインストールします。

[一般ユーザ向けカスタムインストール]
一般のユーザー用のインストールを行います。

[管理者向けカスタムインストール]
管理者用のインストールを行います。詳細は137ページをご覧ください。

[一般ユーザ向けカスタムインストール]を選ぶと標準的なソフトウエアの項目が表示されます。インストールする項目にチェックを付けて[次へ]ボタンをクリックしてください。[全追加]ボタンをクリックするとすべてチェックが付きます。[全削除]ボタンをクリックするとすべてチェックが外れます。

12. PrintAgentのインストール先とスプールファイルの作成先を指定して[次へ]ボタンをクリックする。

すでにPrintAgentフォルダーが作成されているときはこのダイアログボックスは表示されません。手順13へ進んでください。

作成先フォルダーを変更したいときは直接パスを入力するか[参照]ボタンをクリックしてください。

インストール先のディスク空き容量が少なくなっているときは警告メッセージが表示されます。
フォルダーを変更してください。

13. 設定した内容を確認し[完了]ボタンをクリックする。

[インストール開始]ダイアログボックスが表示されます。

14. [OK]ボタンをクリックする。

15. インストールが終了したら[OK]ボタンをクリックする。

環境によりコンピューターの再起動を促すダイアログボックスが表示される場合がありますので、このときは、[はい]ボタンをクリックし、コンピューターを再起動してください。

16. プリンターソフトウエアが正常にインストールされたことを確認する。

□ [プリンタ]フォルダー内に、[NEC MultiWriter 4050M]アイコンが登録されている。

□ タスクバーのトレイに、[PrintAgentシステム]アイコンが登録されている。
PrintAgentをインストールした場合のみ表示されます。

□ スタートメニューの[プログラム]に[PrintAgent管理ツール]というフォルダーが追加され、関連ファイルが登録されている。
[プリンター覧]、[プリンタ管理ユーティリティ]を選択した場合に登録されます。

□ スタートメニューの[プログラム]に[MultiWriter 4050M]というフォルダーが追加され、その下のPrintAgent関連のファイルが登録されている。
PrintAgentをインストールした場合に表示されます。また、選択した内容によって変わります。

MultiWriter 4050Mを共有プリンターに設定する

1. [プリンタ]フォルダーを開く。

2. [NEC MultiWriter 4050M]アイコンをクリックする。

3. [ファイル]メニューの[共有]をクリックする。

[MultiWriter 4050Mのプロパティ]ダイアログボックスが開きます。

4. [共有]タブをクリックする。

5. [共有する]を選んで、共有名を入力し、[ＯＫ]ボタンをクリックする。

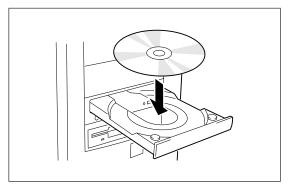
ネットワーク環境で共有プリンターをお使いになるためには、コンピューターにあらかじめ「Microsoft ネットワーク用ファイルとプリンタ共有」などのクライアントソフトウエアを組み込んでおく必要があります。詳しくはOSの取扱説明書をご覧ください。

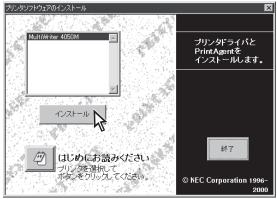
インストール方法 ② （プリンターソフトウエアをインストールするコンピューターがクライアントであるとき）

ネットワーク環境で、クライアントからプリントサーバー経由で共有プリンターへ印刷したいときは、次の方法でインストールします。

1. **Windows 2000 日本語版を起動する。**

2. **プリンターソフトウエアCD-ROMをCD-ROMドライブにセットする。**

プリンターソフトウエアCD-ROMのメニューダイアログボックスが起動します。
もしメニューダイアログボックスが表示されなかった場合は、プリンターソフトウエアCD-ROMの中の「mwsetup.exe」をダブルクリックしてください。

3. [プリンタソフトウエアのインストール]ボタンをクリックする。

4. 「MultiWriter 4050M]を選んで[インストール]ボタンをクリックする。

5. [次へ]ボタンをクリックする。

6. [プリンタドライバをインストールする]を選び、[次へ]ボタンをクリックする。

[プリンタドライバをインストールしない]を選んだときは手順10へ進んでください。

7. ［ネットワーク共有プリンタ］を選び、［次へ］ボタンをクリックする。

ネットワーク接続されていない場合はこのダイアログボックスは表示されません。手順8へ進んでください。

- ローカルポートを選ぶのは、プリンターがコンピューターとプリンターケーブルで接続されているときです。
- ［ネットワーク共有プリンタ］を選ぶのは、プリンターがネットワーク上で共有プリンターとして接続されているときです。
- ［NEC TCP/IP Port］を選ぶのは、プリンターがLANボードまたはLANアダプターによりネットワーク上に接続されているときです。

8. プリンターの接続先を指定し、［次へ］ボタンをクリックする。

プリンターの接続先を［ネットワークパス名］に直接入力するか、［参照ボタン］をクリックして現れる一覧から指定してください。

9. ［次へ］ボタンをクリックする。

ヒント

- ［共有プリンタとして利用する］をチェックし共有プリンター名を設定することでこのプリンターをネットワークユーザーが利用できるようになります。
- ［代替ドライバをインストールする］をチェックしリストからOS名を選択することで、代替ドライバーのインストールができます。すでに代替ドライバーがインストールされている場合はリストに表示されません。

Windows NT4.0日本語版の代替ドライバーがインストールできない場合があります。このときは、媒体作成機能で媒体イメージを作成し、その媒体イメージを使用してネットワークインストールを行ってください。

10. [PrintAgentをインストールする]を選び[次へ]ボタンをクリックする。

[PrintAgentをインストールしない]を選んだときは手順13へ進んでください。

11. 使用目的に応じてインストール方法を選び、[次へ]ボタンをクリックする。

[標準インストール]

標準構成でインストールします。

[一般ユーザ向けカスタムインストール]

一般のユーザー用のインストールを行います。

[管理者向けカスタムインストール]

管理者用のインストールを行います。詳細は137ページをご覧ください。

[一般ユーザ向けカスタムインストール]を選択すると標準的なソフトウエアの項目が表示されます。インストールする項目にチェックを付けて[次へ]ボタンをクリックしてください。[全追加]ボタンをクリックするとすべてチェックが付きます。[全削除]ボタンをクリックするとすべてチェックが外れます。

12. PrintAgentのインストール先とスプールファイルの作成先を指定して[次へ]ボタンをクリックする。

すでにPrintAgentフォルダーが作成されているときはこのダイアログボックスは表示されません。手順13へ進んでください。

作成先フォルダーを変更したいときは直接パスを入力するか[参照]ボタンをクリックしてください。

インストール先のディスク空き容量が少なくなっているときは警告メッセージが表示されます。
フォルダーを変更してください。

13. 設定した内容を確認し[完了]ボタンをクリックする。

[インストール開始]ダイアログボックスが表示されます。

14. [OK]ボタンをクリックする。

15. インストールが終了したら[OK]ボタンをクリックする。

環境によりコンピューターの再起動を促すダイアログボックスが表示される場合がありますので、このときは、[はい]ボタンをクリックし、コンピューターを再起動してください。

16. プリンターソフトウエアが正常にインストールされたことを確認する。

□ [プリンタ]フォルダー内に、[NEC MultiWriter 4050M]アイコンが登録されている。

□ タスクバーのトレイに、[PrintAgentシステム]アイコンが登録されている。
PrintAgentをインストールした場合のみ表示されます。

□ スタートメニューの[プログラム]に[PrintAgent管理ツール]というフォルダーが追加され、関連ファイルが登録されている。
[プリンター覧]、[プリンタ管理ユーティリティ]を選択した場合に登録されます。

□ スタートメニューの[プログラム]に[MultiWriter 4050M]というフォルダーが追加され、その下のPrintAgent関連のファイルが登録されている。
PrintAgentをインストールした場合に表示されます。また、選択した内容によって変わります。

インストール方法 ③（LANプリンターへ直接印刷するとき）

ネットワーク内のコンピューターから直接LANプリンターへ印刷したいときは、次の方法でインストールします。

✔チェック

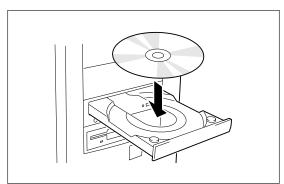
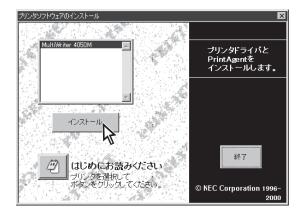
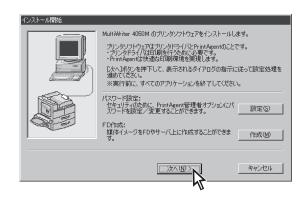
MultiWriter 4050MをLANプリンターとしてご使用になる前に、次のことを確認してください。

- LANボードまたはLANアダプターが確実に取り付けられていることを、コンフィグレーションページの印刷を行って確認してください。（詳細はそれぞれの取扱説明書を参照してください。）
- LANボードまたはLANアダプターに添付されている取扱説明書に従って、LANボードまたはLANアダプターに割り付けてあるIPアドレスを設定してください。
- インストールするとき、また印刷先をLANプリンターに設定するときは、LANプリンターの電源が入っていることを確認してください。
- クライアントのコンピューターは現在のネットワーク構成としてTCP/IPプロトコルが設定されている必要があります。詳しくはWindows 2000 日本語版のヘルプをご覧ください。

1. Windows 2000 日本語版を起動する。

2. プリンターソフトウエアCD-ROMをCD-ROMドライブにセットする。

プリンターソフトウエアCD-ROMのメニューダイアログボックスが起動します。
もしメニューダイアログボックスが表示されなかった場合は、プリンターソフトウエアCD-ROMの中の「mwsetup.exe」をダブルクリックしてください。

3. [プリンタソフトウエアのインストール]ボタンをクリックする。

4. 「MultiWriter 4050M」を選んで[インストール]ボタンをクリックする。

5. [次へ]ボタンをクリックする。

6. [プリンタドライバをインストールする]を選び、[次へ]ボタンをクリックする。

[プリンタドライバをインストールしない]を選んだときは手順10へ進んでください。

7. [NEC TCP/IP Port]のいずれかを選び、[次へ]ボタンをクリックする。

ネットワーク接続されていない場合はこのダイアログボックスは表示されません。手順8へ進んでください。

- ローカルポートを選ぶのは、プリンターがコンピューターとプリンターケーブルで接続されているときです。
- [ネットワーク共有プリンタ]を選ぶのは、プリンターがネットワーク上で共有プリンターとして接続されているときです。
- [NEC TCP/IP Port]を選ぶのは、プリンターがLANボードまたはLANアダプターによりネットワーク上に接続されているときです。

8. 接続先を設定する。

LANボードまたはLANアダプターのIPアドレス、あるいはホスト名を設定して[次へ]ボタンをクリックする。

9. [次へ]ボタンをクリックする。

ヒント

- [共有プリンタとして利用する]をチェックし共有プリンター名を設定することでこのプリンターをネットワークユーザーが利用できるようになります。
- [代替ドライバをインストールする]をチェックしリストからOS名を選択することで、代替ドライバーのインストールができます。すでに代替ドライバーがインストールされている場合はリストに表示されません。

チェック

Windows NT4.0日本語版の代替ドライバーがインストールできない場合があります。このときは、媒体作成機能で媒体イメージを作成し、その媒体イメージを使用してネットワークインストールを行ってください。

10. [PrintAgentをインストールする]を選び[次へ]ボタンをクリックする。

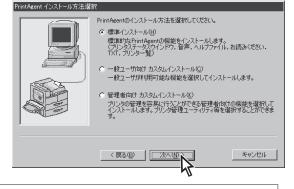
[PrintAgentをインストールしない]を選んだときは手順13へ進んでください。

11. 使用目的に応じてインストール方法を選び、[次へ]ボタンをクリックする。

[標準インストール]
標準構成でインストールします。

[一般ユーザ向けカスタムインストール]
一般のユーザー用のインストールを行います。

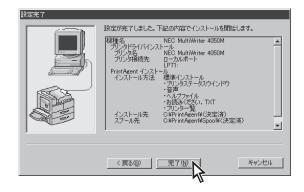
[管理者向けカスタムインストール]
管理者用のインストールを行います。詳細は137ページをご覧ください。

[一般ユーザ向けカスタムインストール]を選択すると標準的なソフトウエアの項目が表示されます。インストールする項目にチェックを付けて[次へ]ボタンをクリックしてください。[全追加]ボタンをクリックするとすべててチェックが付きます。[全削除]ボタンをクリックするとすべてチェックが外れます。

12. PrintAgentのインストール先とスプールファイルの作成先を指定して[次へ]ボタンをクリックする。

すでにPrintAgentフォルダーが作成されているときはこのダイアログボックスは表示されません。手順13へ進んでください。

作成先フォルダーを変更したいときは直接パスを入力するか[参照]ボタンをクリックしてください。

インストール先のディスク空き容量が少なくなっているときは警告メッセージが表示されますので、フォルダーを変更してください。

13. 設定した内容を確認し[完了]ボタンをクリックする。

[インストール開始]ダイアログボックスが表示されます。

14. [OK]ボタンをクリックする。

15. インストールが終了したら[OK]ボタンをクリックする。

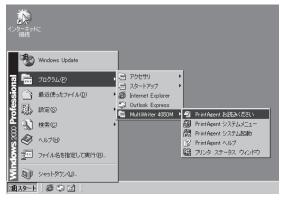
環境によりコンピューターの再起動を促すダイアログボックスが表示される場合がありますので、このときは、[はい]ボタンをクリックし、コンピューターを再起動してください。

16. プリンターソフトウエアが正常にインストールされたことを確認する。

□ [プリンタ]フォルダー内に、[NEC MultiWriter 4050M]アイコンが登録されている。

□ タスクバーのトレイに、[PrintAgentシステム]アイコンが登録されている。
PrintAgentをインストールした場合のみ表示されます。

□ スタートメニューの[プログラム]に[PrintAgent管理ツール]というフォルダーが追加され、関連ファイルが登録されている。
[プリンター覧]、[プリンタ管理ユーティリティ]を選択した場合に登録されます。

□ スタートメニューの[プログラム]に[MultiWriter 4050M]というフォルダーが追加され、その下のPrintAgent関連のファイルが登録されている。
PrintAgentをインストールした場合に表示されます。また、選択した内容によって変わります。

続いてポートの追加を行います。

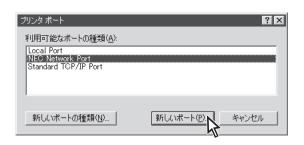
17. **[プリンタ]フォルダーの「NEC MultiWriter 4050M」アイコンを右クリックし、[プロパティ]をクリックする。**

[MultiWriter 4050Mのプロパティ]のダイアログボックスが表示されます。

18. **[ポート]タブをクリックする。**

[ポート]プロパティシートが開きます。

19. **[ポートの追加]ボタンをクリックする。**

20. **[NEC Network Port]を選んで、[新しいポート]ボタンをクリックする。**

21. **LANボード、またはLANアダプターの「インターネットアドレス」を入力し、[OK]ボタンをクリックする。**

IPアドレス設定の確認は、LANボードまたはLANアダプターの取扱説明書をご覧ください。

22. **印刷先のポートを確認し、[閉じる]ボタンをクリックする。**

これで「ポートの追加」は終了です。

プリンターソフトウエアを削除する

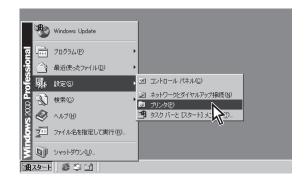
MultiWriter 4050Mプリンターソフトウエアを再インストールする場合は、すでにインストールされているMultiWriter 4050Mのプリンターソフトウエアを削除してから行います。ここではこれら削除の方法を説明します。

重要

- PrintAgentのインストール時に指定したPrintAgentモジュールのフォルダー名をインストールした後に変更している場合、ソフトウエアの削除は正常に行えません。変更されているフォルダー名をインストール時のフォルダー名に戻してからソフトウエアの削除を行ってください。
- PrintAgent対応プリンターのプロパティダイアログボックスを表示しているとソフトウエアの削除を行えません。ダイアログボックスを閉じてから行ってください。
- MultiWriter 4050Mが印刷している間はソフトウエアの削除は行えません。印刷が終了してから行ってください。

プリンタードライバーの削除

1. **[プリンタ]フォルダーを開く。**

インストール済みのプリンターアイコンが表示されます。

2. **[NEC MultiWriter 4050M]アイコンをクリックする。**

3. **[ファイル]メニューの[削除]をクリックする。**

4. **[はい]ボタンをクリックする。**

5. **［ファイル］メニューの［サーバーのプロパティ］をクリックする。**

［プリントサーバーのプロパティ］が開きます。

6. **［ドライバ］タブをクリックする。**

7. **［インストールされたプリンタ ドライバ］から［MultiWriter 4050M］をクリックする。**

8. **［削除］ボタンをクリックする。**

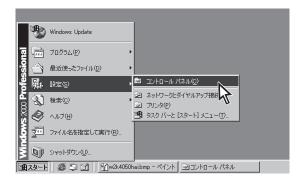
9. **［はい］ボタンをクリックする。**

次のダイアログボックスが表示された場合は、Windows 2000の再起動後、手順5からやり直してドライバーを削除してください。

10. ［インストールされたプリンタ ドライバ］から［NEC MultiWriter 4050M］が削除されたことを確認し、［閉じる］ボタンをクリックする。

MultiWriter 4050Mのプリンタードライバーが削除されます。

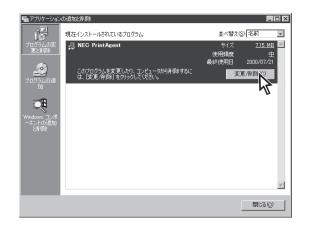
PrintAgentの削除

1. コントロールパネルを開く。

2. ［アプリケーションの追加と削除］アイコンをダブルクリックする。

［アプリケーションの追加と削除のプロパティ］が表示されます。

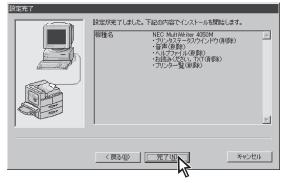
3. 左側の[機能選択]バーから[プログラムの変更と削除]をクリックする。

4. リストから[NEC PrintAgent]を選んで、[変更/削除]ボタンをクリックする。

PrintAgentセットアップの画面が表示されます。

5. 対応機種を選択してからすべてのチェックマークを外して[次へ]ボタンをクリックする。

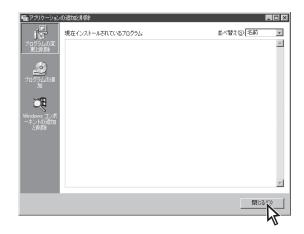
PrintAgentが削除されます。([全削除]ボタンをクリックするとすべてのチェックが外れます。)

6. 変更する項目を確認して、[完了]ボタンをクリックする。

パスワードが設定されている場合に管理者向けのオプションを削除するには、あらかじめ設定したパスワードの入力が必要です。

7. [OK]ボタンをクリックする。

8. 削除が終了したら[OK]ボタンをクリックする。

再起動を促すダイアログボックスが表示された場合は、画面の指示に従ってコンピューターを再起動してください。

9. すべてのオプションを削除した場合は、[現在インストールされているプログラム]から[NEC PrintAgent]が削除されたことを確認し、[閉じる]をクリックする。

プリンターソフトウエアのインストール（Windows NT 4.0 日本語版）

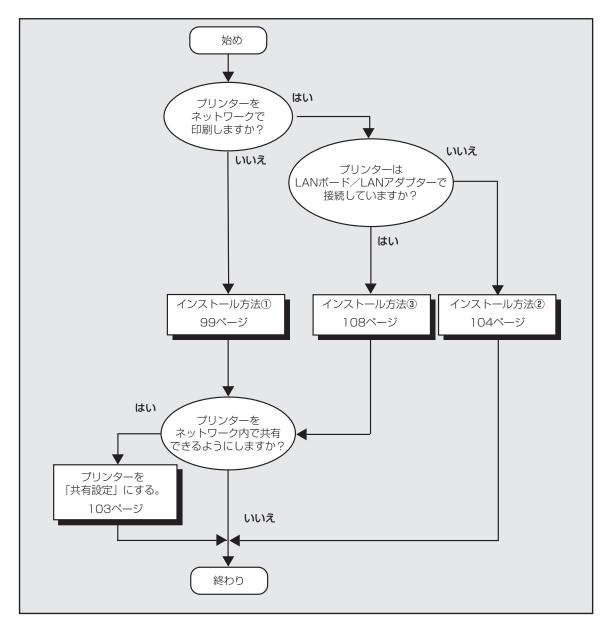
プリンターソフトウエアをインストールする

ここでは、Windows NT 4.0 日本語版にプリンターソフトウエアをインストールして、印刷の準備ができるまでを説明します。

プリンターソフトウエアのインストール方法はMultiWriter 4050Mが接続されている環境により異なります。次ページのフローチャートに従って環境に合ったインストール方法を選択してください。

PrintAgentをインストールする場合は、実施者が「Administrators」または「DomainAdmins」グループのメンバーである必要があります。どちらのメンバーでもない場合は、インストールを行うことはできません。

フロッピーディスクでインストールする方へ

本書ではCD-ROMを使った手順で説明しています。プリンターソフトウエアCD-ROMから作成したプリンターソフトウエアディスクを使用してインストールをする場合は、「setup.exe」を実行してください。また、インストールの途中でフロッピーディスクの交換を求める画面が表示されることがあります。その場合は画面の指示に従ってフロッピーディスクの入れ替えを行ってください。

Windows NT 4.0 日本語版でのインストール方法の選択

インストール方法 ①（コンピューターとプリンターが1対1で接続されているとき）

コンピューターがプリンターと1対1で接続されているとき（下図・上）、あるいはネットワーク接続でコンピューターがプリントサーバーとしてプリンターに接続しているとき（下図・下）は次の方法でインストールします。

1. Windows NT 4.0 日本語版を起動する。

2. **プリンターソフトウエアCD-ROMをCD-ROMドライブにセットする。**

ソフトウエアインストールのメニュー画面が表示されます。

3. **[プリンタソフトウエアのインストール]ボタンをクリックする。**

4. **[MultiWriter 4050M]を選んで[インストール]ボタンをクリックする。**

5. **使用目的に応じてインストール方法を選ぶ。**

[標準]　最も標準的なソフトウエアをインストールします。主に印刷を使用目的とする場合に選びます。

[カスタム]　機能を選択してインストールする場合に選びます。

[管理者]　PrintAgentの機能をすべてインストールします。プリンターを管理する方がインストールする場合に選びます。
「プリンターソフトウエアのインストール(プリンター管理者用)」(133ページ)参照。

[カスタム]ボタンをクリックすると標準的なソフトウエアの項目が表示されます。インストールする項目にチェックを付けて([全て追加]ボタンをクリックするとすべてチェックされます)、[次へ]ボタンをクリックしてください。

ヒント

プリンタードライバーのみインストールするときはチェックマークをすべて外し、手順7に進んでください。

6. PrintAgentとスプールファイルの作成先を指定し、[次へ]ボタンをクリックする。

ここでPrintAgentのインストール先およびプライベートスプールファイルを作成するためのフォルダーを作成します。あらかじめフォルダーが指定されていますので、変更がなければ、そのまま[次へ]ボタンをクリックします。

フォルダーを変更したいときは[参照]ボタンをクリックするか直接フォルダーのパスを入力してから、[次へ]ボタンをクリックしてください。インストール先のディスク空き容量が少ない場合は警告メッセージが出ます。その場合はフォルダーを変更してください。

7. [ローカルプリンタ]をチェックし、[次へ]ボタンをクリックする。

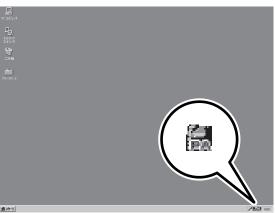
8. 使用するポートを選んで、[次へ]ボタンをクリックする。

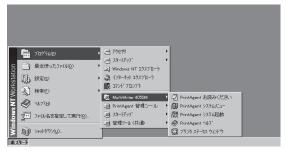
インストールが開始されます。

9. [OK]ボタンをクリックする。

10. 次のことをチェックして、プリンターソフトウエアが正常にインストールされたことを確認する。

□ [プリンタ]フォルダー内に、[NEC MultiWriter 4050M]アイコンが登録されている。

□ タスクバーのトレイに、[PrintAgentシステム]アイコンが登録されている。(PrintAgentをインストールした場合のみ登録されます。)

□ スタートメニューの[プログラム]に[PrintAgent管理ツール]というフォルダーが追加され、その下に[プリンター覧]が登録されている。(PrintAgentをインストールし、さらにプリンター覧またはプリンタ管理ユーティリティをインストールした場合のみ追加、登録されます。)

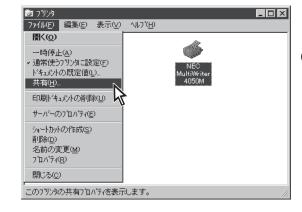
□ スタートメニューの[プログラム]に[MultiWriter 4050M]というフォルダーが追加され、その下にPrintAgent関連のアイコンが登録されている。(PrintAgentをインストールした場合のみ登録されます。また、登録されるPrintAgentのアイコンは選択した内容によって変わります。)

MultiWriter 4050Mを共有プリンターに設定する

1. **[プリンタ]フォルダーを開く。**

インストール済みのプリンタアイコンが表示されます。

2. **[NEC MultiWriter 4050M]アイコンをクリックする。**

3. **[ファイル]メニューの[共有]をクリックする。**

[NEC MultiWriter 4050Mのプロパティ]が表示されます。

4. **[共有]タブをクリックする。**

5. **[共有する]を選んで共有名を入力し、[OK]ボタンをクリックする。**

これで共有の設定は終了です。

インストール方法 ②（プリンターソフトウエアをインストールするコンピューターがクライアントであるとき）

ネットワーク環境で、クライアントからプリントサーバーを経由して共有プリンターへ印刷したいときは、次の方法でインストールします。

1. Windows NT 4.0 日本語版を起動する。

2. プリンターソフトウエアCD-ROMをCD-ROMドライブにセットする。

   ソフトウエアインストールのメニュー画面が表示されます。

3. [プリンタソフトウエアのインストール]をクリックする。

4. [MultiWriter 4050M]を選んで[インストール]ボタンをクリックする。

5. 使用目的に応じてインストール方法を選ぶ。

[標準]　最も標準的なソフトウエアをインストールします。主に印刷を使用目的とする場合に選びます。

[カスタム]　機能を選択してインストールする場合に選びます。

[管理者]　PrintAgentの機能をすべてインストールします。プリンターを管理する方がインストールする場合に選びます。
「プリンターソフトウエアのインストール(プリンター管理者用)」(133ページ)参照。

[カスタム]ボタンをクリックすると標準的なソフトウエアの項目が表示されます。インストールする項目にチェックを付けて([全て追加]ボタンをクリックするとすべてチェックされます)、[次へ]ボタンをクリックしてください。

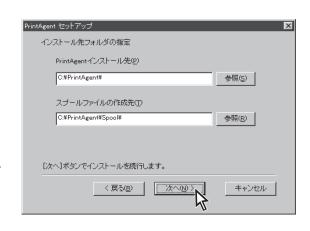
ヒント

プリンタードライバーのみインストールするときはチェックマークをすべて外し、手順7に進んでください。

6. PrintAgentとスプールファイルの作成先を指定し、[次へ]ボタンをクリックする。

ここでPrintAgentのインストール先およびプライベートスプールファイルを作成するためのフォルダーを作成します。あらかじめフォルダーが指定されていますので、変更がなければ、そのまま[次へ]ボタンをクリックします。

フォルダーを変更したいときは[参照]ボタンをクリックするか直接フォルダーのパスを入力してから、[次へ]ボタンをクリックしてください。インストール先のディスク空き容量が少ない場合は警告メッセージが出ます。その場合はフォルダーを変更してください。

7. [ネットワークプリンタ]を選び、[次へ]ボタンをクリックする。

8. プリンターの接続先を指定し、[OK]ボタンをクリックする。

ソフトウエアのインストールが開始されます。

9. [OK]ボタンをクリックする。

10. 次のことをチェックして、プリンターソフトウエアが正常にインストールされたことを確認する。

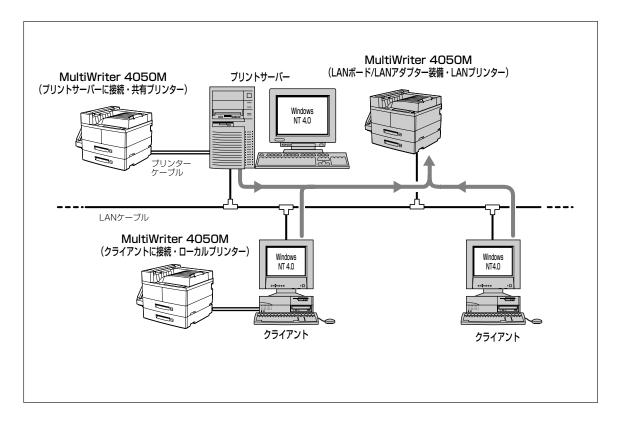
□ [プリンタ]フォルダー内に、[NEC MultiWriter 4050M]アイコンが登録されている。

□ タスクバーのトレイに、[PrintAgentシステム]アイコンが登録されている。(PrintAgentをインストールした場合のみ登録されます。)

□ スタートメニューの[プログラム]に[PrintAgent管理ツール]というフォルダーが追加され、その下に[プリンター覧]が登録されている。(PrintAgentをインストールし、さらにプリンター覧またはプリンタ管理ユーティリティをインストールした場合のみ追加、登録されます。)

□ スタートメニューの[プログラム]に[MultiWriter 4050M]というフォルダーが追加され、その下にPrintAgent関連のアイコンが登録されている。(PrintAgentをインストールした場合のみ登録されます。また、登録されるPrintAgentのアイコンは選択した内容によって変わります。)

インストール方法 ③（LANプリンターへ直接印刷するとき）

ネットワーク内のコンピューターから直接LANプリンターへ印刷したいときは、次の方法でインストールします。

✔チェック

LANプリンターとしてご使用になる前に、次のことを確認してください。

- LANボードまたはLANアダプターが確実に取り付けられていることを、コンフィグュレーションページの印刷を行って確認してください(詳細はLANボードまたはLANアダプターの取扱説明書を参照してください)。
- LANボードまたはLANアダプターに添付されている取扱説明書に従って、LANボードまたはLANアダプターに割り付けてあるIPアドレスを設定してください。
- インストールするとき、また印刷先をLANプリンターに設定するときは、LANプリンターの電源が入っていることを確認してください。
- クライアントのコンピューターは現在のネットワーク構成としてTCP/IPプロトコルが設定されている必要があります。詳しくはWindows NT 4.0のヘルプをご覧ください。

1. Windows NT 4.0 日本語版を起動する。

2. プリンターソフトウエアCD-ROMをCD-ROMドライブにセットする。

ソフトウエアインストールのメニュー画面が表示されます。

3. [プリンタソフトウエアのインストール]をクリックする。

4. [MultiWriter 4050M]を選んで[インストール]ボタンをクリックする。

5. 使用目的に応じてインストール方法を選ぶ。

［標準］　最も標準的なソフトウエアをインストールします。主に印刷を使用目的とする場合に選びます。

［カスタム］　機能を選択してインストールする場合に選びます。

［管理者］　PrintAgentの機能をすべてインストールします。プリンターを管理する方がインストールする場合に選びます。
「プリンターソフトウエアのインストール（プリンター管理者用）」（133ページ）参照。

［カスタム］ボタンをクリックすると標準的なソフトウエアの項目が表示されます。インストールする項目にチェックを付けて（［全て追加］ボタンをクリックするとすべてチェックされます）、［次へ］ボタンをクリックしてください。

ヒント

プリンタードライバーのみインストールするときはチェックマークをすべて外し、手順7に進んでください。

6. PrintAgentとスプールファイルの作成先を指定し、［次へ］ボタンをクリックする。

ここでPrintAgentのインストール先およびプライベートスプールファイルを作成するためのフォルダーを作成します。あらかじめフォルダーが指定されていますので、変更がなければ、そのまま［次へ］ボタンをクリックします。

ヒント

フォルダーを変更したいときは［参照］ボタンをクリックするか直接フォルダーのパスを入力してから、［次へ］ボタンをクリックしてください。インストール先のディスク空き容量が少ない場合は警告メッセージが出ます。その場合はフォルダーを変更してください。

7. [ローカルプリンタ]を選び、[次へ]ボタンをクリックする。

8. 任意のポートを選び、[次へ]ボタンをクリックする。

ソフトウエアのインストールが開始されます。

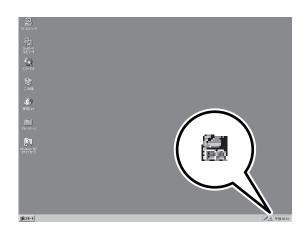
ここでのポート設定は仮のものです。手順11以降で再設定しますので任意のポートを選んでください。

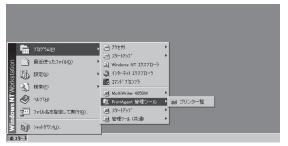
PrintAgent セットアップ
プリンタで使用できるポートを選択してください。
ポート名(L):
LPT1:
LPT2:
LPT3:
COM1:
COM2:
COM3:
COM4:
FILE:
[次へ]ボタンでインストールを続行します。
< 戻る(B)　次へ(N) >　キャンセル

9. [OK]ボタンをクリックする。

10. 次のことをチェックして、プリンターソフトウエアが正常にインストールされたことを確認する。

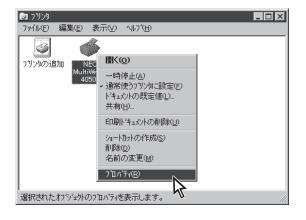
□　[プリンタ]フォルダー内に、[NEC MultiWriter 4050M]アイコンが登録されている。

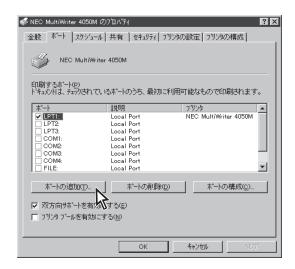
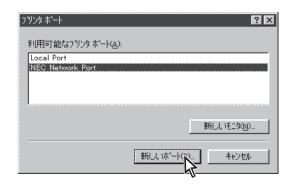
□　タスクバーのトレイに、[PrintAgentシステム]アイコンが登録されている。（PrintAgentをインストールした場合のみ登録されます。）

□　スタートメニューの[プログラム]に[PrintAgent管理ツール]というフォルダーが追加され、その下に[プリンター覧]が登録されている。（PrintAgentをインストールし、さらにプリンター覧またはプリンタ管理ユーティリティをインストールした場合のみ追加、登録されます。）

□　スタートメニューの[プログラム]に[MultiWriter 4050M]というフォルダーが追加され、その下にPrintAgent関連のアイコンが登録されている。（PrintAgentをインストールした場合のみ登録されます。また、登録されるPrintAgentのアイコンは選択した内容によって変わります。）

続いて、ポートの追加を行います。

11. [MultiWriter 4050Mのプロパティ]のダイアログボックスを表示させる。

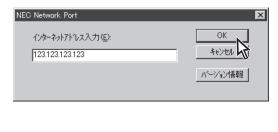
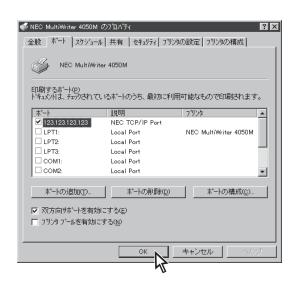
[プリンタ]フォルダーの[MultiWriter 4050M]アイコンを右クリックし、[プロパティ]をクリックします。

12. [ポート]タブをクリックする。

[ポート]プロパティシートが開きます。

13. [ポートの追加]ボタンをクリックする。

14. [NEC Network Port]を選んで、[新しいポート]ボタンをクリックする。

15. LANボードまたはLANアダプターのIPアドレスを入力し、[OK]ボタンをクリックする。

IPアドレス設定の確認は、LANボードまたはLANアダプターの取扱説明書をご覧ください。

これで「ポートの追加」は終了です。

16. [OK]ボタンをクリックする。

プリンターソフトウエアを削除する

MultiWriter 4050Mプリンターソフトウエアを再インストールする場合は、すでにインストールされているMultiWriter 4050Mのプリンターソフトウエアを削除してから行います。ここではこれら削除の方法を説明します。

重要

- PrintAgentを削除する場合は、実施者が「Administrators」または「Domain Admins」グループのメンバーである必要があります。どちらのメンバーでもない場合は、削除できません。
- PrintAgentを削除するときに指定した、PrintAgentモジュールのフォルダー名をインストールした後に変更していると正常に削除が行えません。変更されているフォルダー名をインストール時のフォルダー名に戻してからソフトウエアの削除を行ってください。
- PrintAgent対応プリンターのプロパティダイアログボックスを表示しているとソフトウエアの削除を行えません。ダイアログボックスを閉じてから行ってください。
- MultiWriter 4050Mで印刷中はソフトウエアの削除を行えません。印刷が終了してから行ってください。

プリンタードライバーの削除

1. [プリンタ]フォルダーを開く。

   インストール済みのプリンタアイコンが表示されます。

2. [NEC MultiWriter 4050M]アイコンをクリックする。

3. [ファイル]メニューの[削除]をクリックする。

4. [はい]ボタンをクリックする。

   MultiWriter 4050Mプリンタードライバーが削除されます。

PrintAgentの削除

1. コントロールパネルを開く。

2. ［アプリケーションの追加と削除］アイコンをダブルクリックする。

［アプリケーションの追加と削除］が表示されます。

3. ［セットアップと削除］タブをクリックする。

4. リストから［NEC PrintAgent］を選んで、［追加と削除］ボタンをクリックする。

PrintAgentセットアップの画面が表示されます。

5. すべてのチェックマークを外して[次へ]ボタンをクリックする。

PrintAgentが削除されます。([全て削除]ボタンをクリックするとすべてのチェックが外れます。)

6. [OK]ボタンをクリックする。

7. [OK]ボタンをクリックする。

8. [OK]ボタンをクリックする。

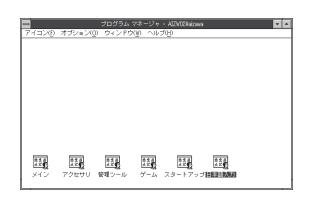
プリンターソフトウエアのインストール（Windows NT 3.51 日本語版）

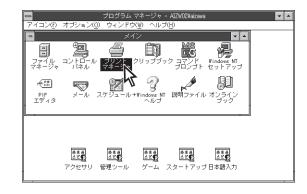
プリンタードライバーをインストールする

ここでは、Windows NT 3.51 日本語版にプリンタードライバーをインストールして、印刷の準備ができるまでを説明します。

重要

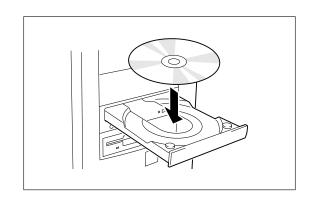
- Windows NT 3.51ではPrintAgentを使用することはできません。
- プリンタードライバーをインストールする場合は、実施者が「Administrators」または「DomainAdmins」グループのメンバーである必要があります。どちらのメンバーでもない場合は、インストールを行うことはできません。

1. **Windows NT 3.51 日本語版を起動する。**

2. **[プログラムマネージャ]の[メイン]の[プリントマネージャ]アイコンをダブルクリックする。**

[プリントマネージャ]が表示されます。

3. **[プリンタ]メニューの[プリンタの作成]をクリックする。**

[プリンタの作成]が表示されます。

4. **ドライバ一覧から[その他…]を選ぶ。**

5. プリンターソフトウエアCD-ROMをCD-ROMドライブにセットする。

6. テキストボックスにCD-ROMを挿入したドライブ名、コロン(:)に続けて「¥MW4050M¥DISK5」と入力し、[OK]ボタンをクリックする。

7. [ドライバの選択]一覧から「NEC MultiWriter 4050M」を選択し、[OK]ボタンをクリックする。

8. ドライバに「NEC MultiWriter 4050M」が表示されていることを確認する。

9. プリンター名を設定し、[OK]ボタンをクリックする。

[MultiWriter 4050M]のプロパティシートが表示されます。

10. [プリンタの設定]シートおよび[プリンタの構成]シートの各設定を行い、[OK]ボタンをクリックする。

特に変更する必要がなければこのまま使用します。

増設メモリーを実装している場合は、[メモリ]を48MBに変更してください。[オプション装置]は取り付けられているオプション装置をチェックしてください。

11. プリントマネージャにインストールしたプリンターが表示されていることを確認する。

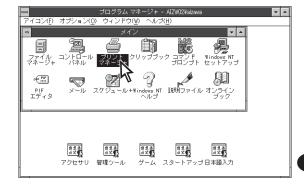
プリンタードライバーを削除する

プリンタードライバーを再インストールするには、一度既存のプリンタードライバーを削除してから行います。ここではその削除方法を説明します。

重要

MultiWriter 4050Mが通常使うプリンターに設定されている場合は、すべてのアプリケーションを終了してから削除を行ってください。

1. [プログラムマネージャ]の[メイン]グループの[プリントマネージャ]をダブルクリックする。

[プリントマネージャ]ウィンドウが表示されます。

2. [MultiWriter 4050M]アイコンをダブルクリックする。

[MultiWriter 4050M]ウィンドウが表示されます。

3. [プリンタ]メニューの[プリンタの削除]をクリックする。

4. [はい]ボタンをクリックする。

MultiWriter 4050Mプリンタードライバーが削除されます。

プリンターソフトウエアのインストール（Windows 3.1 日本語版）

プリンタードライバーをインストールする

ここでは、Windows 3.1 日本語版にプリンタードライバーをインストールして、印刷の準備ができるまでを説明します。

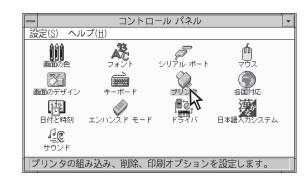
重要
Windows 3.1ではPrintAgentは使用できません。

1. Windows 3.1 日本語版を起動する。

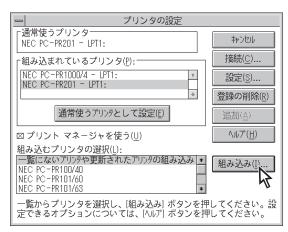
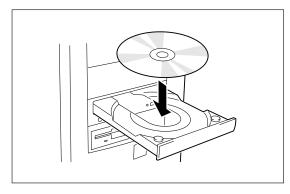
2. プログラムマネージャ中の[メイン]グループ内の[コントロールパネル]をダブルクリックする。

[コントロールパネル]ダイアログが開きます。

3. **[プリンタ]アイコンをダブルクリックする。**

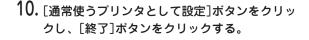
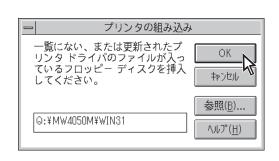
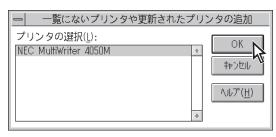
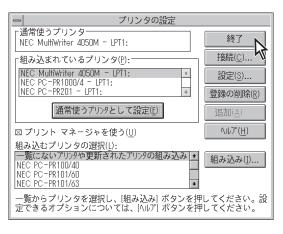
[プリンタの設定]ダイアログボックスが表示されます。

4. **[追加]ボタンをクリックする。**

5. **[組み込むプリンタの選択]一覧から「一覧にないプリンタや更新されたプリンタの組み込み」を選択し、[組み込み]ボタンをクリックする。**

[プリンタの組み込み]ダイアログボックスが表示されます。

6. **プリンターソフトウエアCD-ROMをCD-ROMドライブにセットする。**

7. **テキストボックスにCD-ROMを挿入したドライブ名、コロン(:)に続けて「¥MW4050M¥WIN31」と入力し、[OK]ボタンをクリックする。**

または[参照]ボタンをクリックしてCD-ROMを挿入したドライブを指定し、[ディレクトリ]の中から「MW4050M」の下にある「WIN31」を指定し、[OK]ボタンをクリックします。

8. **[プリンタの選択]一覧から「NEC MultiWriter 4050M」を選択し、[OK]ボタンをクリックする。**

9. **[組み込まれているプリンタ]に「NEC MultiWriter 4050M」が表示されていることを確認する。**

10. **[通常使うプリンタとして設定]ボタンをクリックし、[終了]ボタンをクリックする。**

プリンタードライバーを削除する

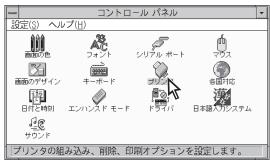
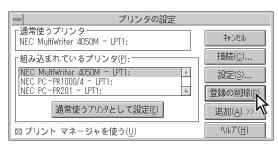
プリンタードライバーを再インストールするには、一度既存のプリンタードライバーを削除してから行います。ここではその削除方法を説明します。

MultiWriter 4050Mが通常使うプリンタに設定されている場合は、すべてのアプリケーションを終了してから削除を行ってください。

1. [プログラムマネージャ]の[メイン]ウィンドウ内の[コントロールパネル]アイコンをダブルクリックする。

[コントロールパネル]が開きます。

2. [コントロールパネル]内の[プリンタ]アイコンをダブルクリックする。

[プリンタの設定]ダイアログボックスが表示されます。

3. [組み込まれているプリンタ]ボックス内の[NEC MultiWriter 4050M]を選んで、[登録の削除]ボタンをクリックする。

4. [はい]ボタンをクリックする。

MultiWriter 4050Mプリンタードライバーが削除されます。

IBM DOS J5.0/Vでの設定

IBM社製のDOSでWindows 3.1を使用する場合、正常に印刷されないことがあります。その場合、以下の手順でDOS上のプリンター設定を「なし」にしてください。(PC DOSでの設定のしかたについては、コンピューターの取扱説明書を参照してください。ただし、WindowsのDOSプロンプトモードからの設定は操作が複雑となりますのでお勧めできません。)

1. **コンピューターの電源を入れる。**

2. **PC DOSを起動する。**

3. **次のコマンドを入力して[Enter]キーを押し、セットアッププログラムを立ち上げる。**

```
>setupv
```

4. **「プリンター」を選択し、[Enter]キーを押す。**

```
フォント
表示
キーボード
入力
プリンター
```

5. **「プリンター1(LPT1)」を選択し、[Enter]キーを押す。**

プリンター
プリンター１（ＬＰＴ１） プリンター２（ＬＰＴ２） プリンター３（ＬＰＴ３）

6. **「プリンタードライバー」を選択し、[Enter]キーを押す。**

ここで、現在の設定が「なし」になっている場合は、設定を変える必要はありません。[F3]キーを押して、操作を終了してください。

プリンター１（ＬＰＴ１）	現在の設定
プリンタードライバー ドライバー状況 ・ ・	××× ×××

7. **「なし」を選択し、[Enter]キーを押す。**

プリンター
なし ＩＢＭ　ＰＳ／５５プリンター 日本語ＥＳＣ／Ｐプリンター 英語プリンター ・ ・

8. **プリンタードライバーが「なし」になっていることを確認し、[F10]キーを押す。**

プリンター１（ＬＰＴ１）	現在の設定
プリンタードライバー	なし

9. **[Enter]キーを押して、変更を保存する。**

```
変更を保存して終了します。
よろしいですか？
  Ｅｎｔｅｒ（改行）：実行
  ＥＳＣ　　　　　　：取消
```

10. **[Y]キーを押して、システムを再始動させる。**

```
システムを再起動しますか？
  Ｙ：再起動する
  Ｎ：プロンプトに戻る
```

Windows NT 3.5 日本語版／MS-DOSをお使いの場合

ここではWindows NT 3.5 日本語版またはMS-DOS環境から印刷をするために必要なプリンタの設定内容を説明します。

プリンターを選択する

本プリンターをWindows NT 3.5環境で使用する場合は、OSに添付されているドライバを次の表に示す優先順位で指定してください。

本プリンターをMS-DOS環境で使用する場合は、使用しているアプリケーション上で印刷するときに、本プリンターの名称「NEC MultiWriter 4050M」を指定します。この名称が指定できない場合は、次の表に示す優先順位で指定してください。（ただしアプリケーションによっては本プリンターの機能の一部が使用できないことがあります。）

優先順位	プリンター名称	動作モード*4
1	MultiWriter 2200X*1	ページプリンター
2	MultiWriter 2000X*1	
3	MultiWriter 2000FW*1	
4	PC-PR2000/6W	
5	MultiWriter 1000EW	
6	PC-PR1000E/4W、PC-PR1000/4R、PC-PR1000E/4、PC-PR1000/4、PC-PR2200NW、PC-PR2000/2、PC-PR2000/4あるいはNPDL Level 2	
7	PC-PR1000、PC-PR1000/2	
8	PC-PR2000あるいはNPDL Level 2	
9*2,*3	PC-PR602R、PC-PR602、PC-PR601	
10*5	PC-PR201/47、PC-PR201/45L、PC-PR201/60 、PC-PR201/80A、PC-PR201/65A、PC-PR201/60A、PC-PR101/60あるいは201PL、PC-PR201X、PC-PR201J、PC-PR201GS、PC-PR201/45、PC-PR101GS	201PLエミュレーション
11*3,*5	PC-PR201G、PC-PR201V、PC-PR201V2、PC-PR201H3、PC-PR101G、PC-PR101G2	
12*5	上記以外のPC-PR201系、PC-PR101系プリンター	

*1　400dpi（15.7ドット/mm）は指定しないでください。
*2　A4ポートレート桁数が80桁のとき、用紙の左側の余白量が異なるときは、アプリケーション上で余白量を変更してください。
*3　文字を縮小したときの印刷結果が異なるときは、プリンター設定を優先順位の10または12の機種を指定してください。
*4　ほとんどのアプリケーションでは、プリンターの動作モードを自動的に切り替えています。したがって、 MultiWriter 4050Mの動作モードは201PLエミュレーションモード（お買い上げ時の設定）のままご使用になれます。
*5　機種によっては印刷結果が元となるプリンターと異なる場合があります。その場合には他の機種に変更してみてください。

プリンターを設定する

MS-DOS環境でコンピューターをお使いの場合、プリンターの各設定はメニューモードを使って行います。メニューモードについてはユーザーズマニュアル[1/2]を参照してください。

チェック

PC-PR201系、101系プリンターを選択した場合

プリンターの指定でPC-PR201系あるいは101系プリンターを選択した場合は、アプリケーションとMultiWriter 4050Mを次のような設定にするのが標準的です。

- ソフトウエア：シートフィーダー付き、単票(カット紙)、連続送り
- プリンター　：201PLエミュレーションモード、136桁モード有効、用紙位置中央

両面印刷の設定

MS-DOSアプリケーションを使って両面印刷する場合、次の表に示す設定変更が必要です。

メニューモード設定項目	備　考
印字位置設定メニュー ● 表面微調整 ● 裏面微調整	表面、裏面ともに TM: +3.9　～　-3.9ミリ LM: +3.9　～　-3.9ミリ
両面印刷メニュー ● 初期設定ON ● 初期設定OFF	有効のこと。
両面印刷メニュー ● とじしろロング1 ● とじしろショート1 ● とじしろロング2 ● とじしろショート2	「両面印刷」を参照のこと。
両面印刷メニュー：余白	0　～　20ミリ
クリップ ● ON ● OFF	余白を多くとりすぎた場合、印刷からはみ出たデータを次ページに印刷する（ON）か、消去する（OFF）かを設定する。

プリンターソフトウエアのインストール（プリンター管理者用）

ここではプリンター管理者としてプリンターソフトウエアをインストールする場合の手順と、管理者のみが行える設定について説明します。プリンター管理者用のプリンターソフトウエアは、Windows 98/95、Windows 2000、Windows NT 4.0でインストールすることができます。

プリンターソフトウエアをインストールする

MultiWriter 4050Mのプリンターソフトウエアの管理者インストーラーでは、プリンターソフトウエアを機能ごとにインストールしたり、追加・削除したりできます。これによって使用目的に合わせたプリンターソフトウエアのインストールが行えます。

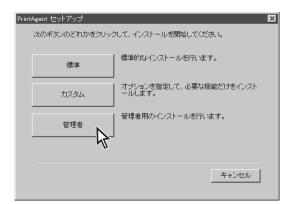
ここでは管理者用インストールの手順を次のOSごとに説明します。

Windows 98/95/NT 4.0 .... 134ページ
Windows 2000 .... 137ページ

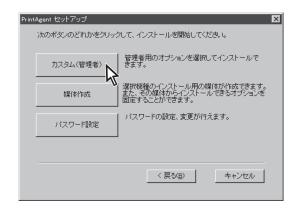
＜Windows 98/95/NT 4.0の場合＞

1. プリンターソフトウエアCD-ROMをドライブにセットし、メニュープログラム立ち上げる。

メニュープログラムを立ち上げる手順はお使いになるコンピューターの環境によって異なります。各OSのインストール方法を参照してください。

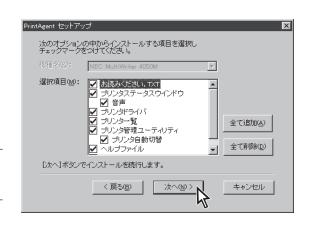
2. [MultiWriter 4050M]を選んで[インストール]ボタンをクリックする。

3. [管理者]ボタンをクリックする。

4. [カスタム(管理者)]ボタンをクリックする。

すでに管理者としてソフトウエアがインストールしてある場合は機能の追加・削除として動作するダイアログボックスが表示されますので、[追加]あるいは[削除]を選択し、[OK]ボタンをクリックします。

5. 任意の機能を選んで、[OK]をクリックする。

任意のオプションにチェックマークをつけて、[次へ]ボタンをクリックすると、インストール(追加・削除)が行われます。

オプションは以下の機能が選択可能です。

[全て追加]ボタンをクリックするとすべてのオプションがチェックされます。

□Web PrintAgent *1 ……「Web PrintAgent」(149ページ参照)に関するファイルを選びます。
□お読みください.TXT ……PrintAgentについての注意事項が書かれたテキストファイルを選びます。
□プリンタステータスウィンドウ ……「プリンタステータスウィンドウ」(229ページ参照)に関するファイルを選びます。
　□音声 ……プリンタステータスウィンドウの音声ファイルを選びます。
□プリンタドライバ ……各OSに応じて「プリンタドライバ」のファイルを選びます。
　□代替ドライバ(Windows 98/95) *2 ……Windows NT 4.0でプリンターを共有するときに選びます。
　□代替ドライバ(Windows NT3.51) *2 ……Windows NT 4.0でプリンターを共有するときに選びます。
□プリンター覧 ……PrintAgentの「プリンター覧」のファイルを選びます。
□プリンタ管理ユーティリティ ……PrintAgentの「プリンタ管理ユーティリティ」(244ページ参照)のファイルを選びます。
　□プリンタ自動切替 ……PrintAgentの「プリンタ自動切り替え」(248ページ参照)のファイルを選びます。
　□メール通知 ……PrintAgentの「保守情報のメール通知」(255ページ参照)のファイルを選びます。
□ヘルプファイル ……ヘルプファイルを選びます。
□リモートパネル ……「リモートパネル」(238ページ参照)のファイルを選びます。
□印刷ログ *2 ……PrintAgentの「印刷ログ」(258ページ参照)のファイルを選びます。

*1 プリントサーバーに事前にMicrosoft Internet Information ServerなどWebサーバーがインストールされていないとこの機能は表示されません。詳細は「Web PrintAgentの動作環境について」(149ページ)を参照してください。
*2 Windows NT 4.0環境でのみ表示されます。

6. [OK]ボタンをクリックする。

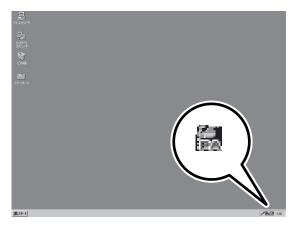
7. 次の4つのことを確認して、プリンターソフトウエアが正常にインストールされたことを確認する。

□ [プリンタ]フォルダー内に、[NEC MultiWriter 4050M]アイコンが登録されている。

□ タスクバーのトレイに、[PrintAgentシステム]アイコンが登録されている。(PrintAgentをインストールした場合のみ登録されます。)

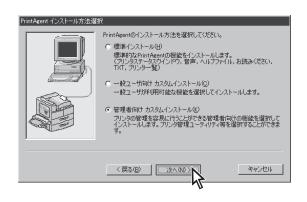
□ スタートメニューの[プログラム]に[PrintAgent管理ツール]というフォルダーが追加され、その下に[プリンタ管理ユーティリティ]と[プリンター覧]が登録されている。(PrintAgentをインストールし、さらにプリンター覧またはプリンタ管理ユーティリティをインストールした場合のみ追加、登録されます。)

□ スタートメニューの[プログラム]に[MultiWriter 4050M]というフォルダーが追加され、その下にPrintAgent関連のアイコンが登録されている。(PrintAgentをインストールした場合のみ登録されます。また、登録されるPrintAgentのアイコンは選択した内容によって変わります。)

＜Windows 2000の場合＞

1. **[PrintAgent インストール方法選択]ダイアログボックスを開く。**

「プリンターソフトウエアCD-ROMからインストールする」(71ページ)の手順1～10に従ってください。

2. **[管理者向けカスタムインストール]を選び[次へ]ボタンをクリックする。**

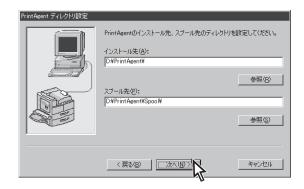
3. **任意の機能を選んで、[次へ]をクリックする。**

任意のオプションにチェックマークをつけて、[次へ]ボタンをクリックすると、インストール(追加・削除)が行われます。
オプションは以下の機能が選択可能です。

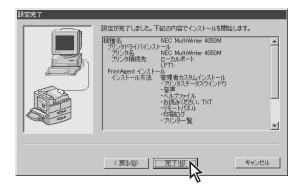
[全追加]ボタンをクリックするとすべてのオプションがチェックされます。

□Web PrintAgent *	「Web PrintAgent」(149ページ参照)に関するファイルを選びます。
□お読みください.TXT	PrintAgentについての注意事項が書かれたテキストファイルを選びます。
□プリンタステータスウィンドウ	「プリンタステータスウィンドウ」(229ページ参照)に関するファイルを選びます。
□音声	プリンタステータスウィンドウの音声ファイルを選びます。
□プリンタドライバ	各OSに応じて「プリンタドライバ」のファイルを選びます。
□代替ドライバ(Windows 98/95)	Windows 2000でプリンターを共有するときに選びます。
□代替ドライバ(Windows NT3.51)	Windows 2000でプリンターを共有するときに選びます。
□プリンター覧	PrintAgentの「プリンター覧」のファイルを選びます。
□プリンタ管理ユーティリティ	PrintAgentの「プリンタ管理ユーティリティ」(244ページ参照)のファイルを選びます。
□プリンタ自動切替	PrintAgentの「プリンタ自動切り替え」(248ページ参照)のファイルを選びます。
□メール通知	PrintAgentの「保守情報のメール通知」(255ページ参照)のファイルを選びます。
□ヘルプファイル	ヘルプファイルを選びます。
□リモートパネル	「リモートパネル」(238ページ参照)のファイルを選びます。
□印刷ログ	PrintAgentの「印刷ログ」(258ページ参照)のファイルを選びます。

* プリントサーバーに事前にMicrosoft Internet Information ServerなどWebサーバーがインストールされていないとこの機能は表示されません。詳細は「Web PrintAgentの動作環境について」(149ページ)を参照してください。

4. **PrintAgentのインストール先とスプールファ**

イルの作成先を指定する。フォルダーを確認して[次へ]ボタンをクリックする。

5. 設定した内容を確認し、[完了]ボタンをクリックする。

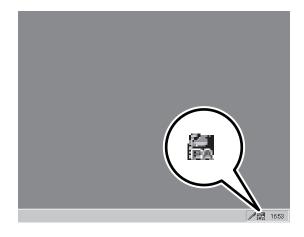
6. [OK]ボタンをクリックする。

ソフトウエアのインストールが開始されます。

7. インストールが終了したら、[OK]ボタンをクリックする。

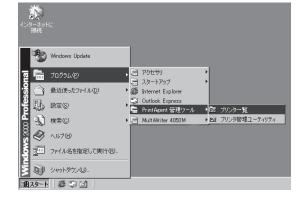
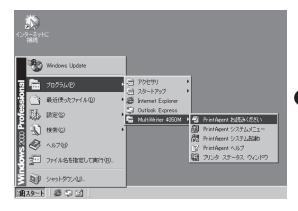
8. 次の4つのことを確認して、プリンターソフトウエアが正常にインストールされたことを確認する。

□ [プリンタ]フォルダー内に、[NEC MultiWriter 4050M]アイコンが登録されている。

□ タスクバーのトレイに、[PrintAgentシステム]

アイコンが登録されている。(PrintAgentをインストールした場合のみ登録されます。)

□　スタートメニューの[プログラム]に

[PrintAgent管理ツール]というフォルダーが追加され、その下に[プリンタ管理ユーティリティ]と[プリンタ一覧]が登録されている。(PrintAgentをインストールし、さらにプリンタ一覧またはプリンタ管理ユーティリティをインストールした場合のみ追加、登録されます。)

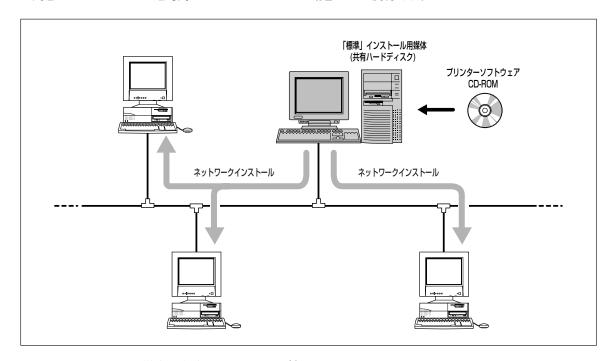
□　スタートメニューの[プログラム]に

[MultiWriter 4050M]というフォルダーが追加され、その下にPrintAgent関連のアイコンが登録されている。(PrintAgentをインストールした場合のみ登録されます。また、登録されるPrintAgentのアイコンは選択した内容によって変わります。)

インストール媒体を作成する

「媒体作成」はプリンターソフトウエアCD-ROMの内容から任意の機能を選択し、それらをフロッピーディスク、ハードディスクなどの媒体にコピーする機能です。コピーしたものはインストール用のプリンターソフトウエアとして使用できます。

媒体作成は、CD-ROMドライブ搭載のWindows 2000/NT4.0あるいはWindows 98/95のコンピューターで作成してください。

コピーされる形式は次の2とおりです。

- マスターとして .... MultiWriter 4050M用プリンターソフトウエアをすべてコピーする（フロッピーディス1.44MBもしくは1.25MBでフォーマットされたもの11枚分）
- 「標準」インストール用として .. メニューで「標準」を選んだときと同じプリンターソフトウエアをコピーする（機能項目の選択もできます）

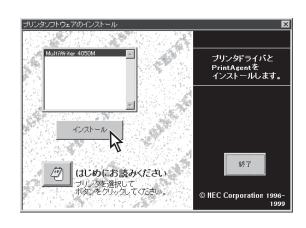
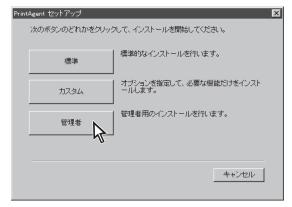
共有ハードディスクにプリンターソフトウエアをコピーしておけば、ネットワークを介して他のコンピューターにプリンターソフトウエアをインストールすることができます。複数台のコンピューターに同じ内容のソフトウエアを短時間にインストールしたい場合などに便利です。

ここではインストール媒体の作成手順を次のOSごとに説明します。

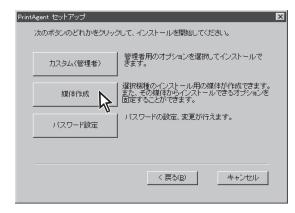
Windows 98/95/NT 4.0 .... 141ページ
Windows 2000 .... 143ページ

<Windows 98/95/NT 4.0の場合>

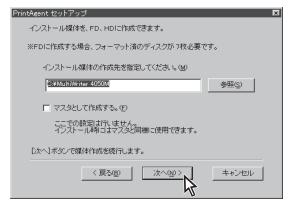
1. プリンターソフトウエアCD-ROMをドライブにセットし、メニュープログラム立ち上げる。

メニュープログラムを立ち上げる手順はお使いになるコンピューターの環境によって異なります。各OSのインストール方法に従ってください。

2. [MultiWriter 4050M]を選んで[インストール]ボタンをクリックする。

3. [管理者]ボタンをクリックする。

4. [媒体作成]ボタンをクリックする。

5. インストール媒体の作成先を指定し、[次へ]ボタンをクリックする。

作成先にフロッピーディスクドライブを指定するとプリンターソフトウエアはフロッピーディスクにコピーされます。

[マスタとして作成する。]をチェックして[次へ]ボタンをクリックすると、CD-ROMと同様の内容をただちに作成します。この場合は、このあと手順8へ進んでください。

6. 任意の機能を選ぶ。

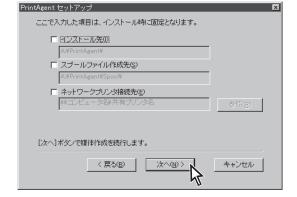
以下のオプションが選択可能です。（それぞれの説明については135ページを参照してください。）

□お読みください.TXT
□プリンタステータスウィンドウ
　□音声
□プリンター覧
□ヘルプファイル

［全追加］ボタンをクリックするとすべてのオプションがチェックされます。

ここで選択されなかった機能はクライアントが一度インストールした後に追加を行おうとしても追加できません。また、削除はインストールした機能のみ行えます。

7. インストール時に固定となる設定をそれぞれ指定し、［次へ］ボタンをクリックする。

ここであらかじめインストール先やパスを固定しておけば、個々のコンピューターからインストールするときの手順が簡略化できます。

8. ［OK］ボタンをクリックする。

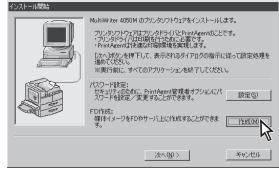
コピーが開始されます。

9. ［OK］ボタンをクリックする。

＜Windows 2000の場合＞

1. **プリンターソフトウエアCD-ROMをドライブにセットし、メニュープログラム立ち上げる。**

2. **[MultiWriter 4050M]を選んで[インストール]ボタンをクリックする。**

3. **FD作成の[作成]ボタンをクリックする。**

4. **インストール媒体の作成先を指定する。**

作成先にフロッピーディスクドライブを指定するとプリンターソフトウエアがフロッピーディスクにコピーされます。[マスタとして作成する]を選択するとCD-ROMと同じ内容をすべてコピーします。インストール媒体作成先に、ハードディスク、ネットワークを指定することができます。

＜[マスタ媒体として作成する]を選んだ場合＞

手順8へ進んでください。

＜[カスタム媒体として作成する]を選んだ場合＞

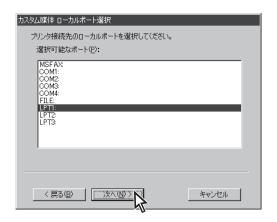
手順5へ進んでください。

5. **プリンタードライバーの接続先を指定する。**

＜[未指定]を選んだ場合＞

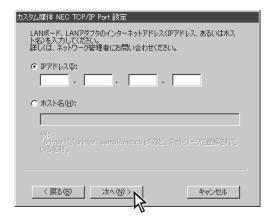
手順6に進んでください。

＜[ローカルポート]を選んだ場合＞

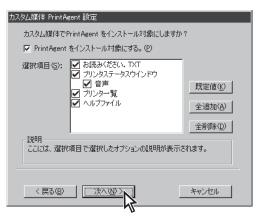
[次へ]ボタンをクリックします。

＜[ネットワーク共有プリンタ]を選んだ場合＞

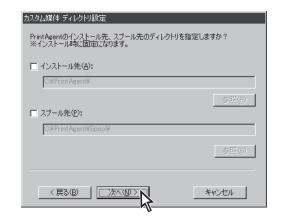
[次へ]ボタンをクリックします。

＜[NEC TCP/IP Port]を選んだ場合＞

[次へ]ボタンをクリックします。

6. 任意の機能を選ぶ

[全追加]ボタンをクリックすると全てチェックが付きます。[全削除]ボタンをクリックすると全てチェックが外れます。

ここで選択されなかった機能はクライアントが一度インストールした後に追加を行おうとしても追加できません。また、削除はインストールした機能のみ行えます。

7. インストール時に固定する設定を指定し、[次へ]ボタンをクリックする。

ここであらかじめインストール先やスプール先を設定しておけば、個々のコンピューターからインストールするときの手順が簡略化できます。

8. 設定した内容を確認し、[完了]ボタンをクリックする。

[マスタ媒体として作成する]を選んだときの画面

[カスタム媒体として作成する]を選んだときの画面

9. [OK]ボタンをクリックする。

インストール媒体の作成が開始します。

10. **作成が終了すると[FD作成終了]ダイアログボックスが表示されるので、[OK]ボタンをクリックする。**

ヒント

FD作成により作成されたインストール媒体は以下の構成になります。

Disk1：Windows98/95日本語版、Windows NT4.0日本語版インストールプログラム
Disk2：Windows98/95日本語版　プリンタードライバー
Disk3：Windows NT4.0日本語版　プリンタードライバー
Disk4：Windows 2000日本語版　プリンタードライバー
Disk5：Windows NT3.51日本語版　プリンタードライバー
Disk6〜Disk10：PrintAgentソフトウエア
Disk11：Windows 2000日本語版インストールプログラム

- マスター媒体として作成したものからのインストールは以下の通り行います。

Windows 2000日本語版	Disk11のSETUP.EXEを実行
Windows 98/95日本語版、Windows NT4.0日本語版	Disk1のSETUP.EXEを実行
Windows NT3.51日本語版	Disk5を用いて[プリンタの作成]からインストールする

- カスタム媒体として作成したものからのインストールは以下の通り行います。

Windows 2000日本語版	Disk11のSETUP.EXEを実行
Windows 98/95日本語版、Windows NT4.0日本語版	Disk11のSETUP.EXEを実行
Windows NT3.51日本語版	Disk5を用いて[プリンタの作成]からインストールする

Windows 3.1日本語版のプリンタードライバーはコピーされませんので別途コピーが必要です。プリンターソフトウエアCD-ROMの各装置ディレクトリ内の¥WIN31フォルダーのすべてのファイルをコピーしてください。

パスワードを設定する

管理者としてソフトウエアをインストールする際、パスワードを設定する必要があります。これは管理者以外の人が「プリンタ管理ユーティリティ」、「Web PrintAgent」、「リモートパネル」を使用するのを禁止するためです。

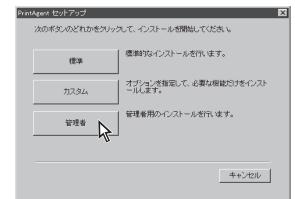
ここではインストール媒体の作成手順を次のOSごとに説明します。

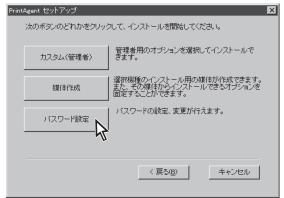
Windows 98/95/NT 4.0 .... 147ページ
Windows 2000 .... 148ページ

＜Windows 98/95/NT 4.0の場合＞

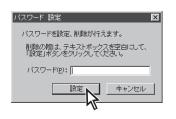
1. プリンターソフトウエアCD-ROMをドライブにセットし、メニュープログラムを立ち上げる。

メニュープログラムを立ち上げる手順はお使いになるコンピューターの環境によって異なります。各OSのインストール方法に従ってください。

2. 「MultiWriter 4050M」を選んで[インストール]ボタンをクリックする。

3. [管理者]ボタンをクリックする。

4. [パスワード設定]ボタンをクリックする。

5. **パスワードを入力し、[設定]ボタンをクリックする。**

パスワードは半角の英数文字で8文字まで入力できます。パスワードを設定しない場合は空白のまま[設定]ボタンをクリックします。
すでに入力してあるパスワードを解除する場合はボックス内の文字を削除して、[設定]ボタンをクリックします。

<Windows 2000の場合>

1. **プリンターソフトウエアCD-ROMをCD-ROMドライブにセットし、メニュープログラムを立ち上げる。**

2. **[MultiWriter 4050M]を選んで[インストール]ボタンをクリックする。**

3. **パスワード設定の[設定]ボタンをクリックする。**

4. **パスワードを入力し[設定]ボタンをクリックする。**

半角の英数字8文字まで入力できます。
パスワードを設定しない場合は空白のまま[設定]ボタンをクリックします。すでに入力しているパスワードを解除する場合はボックス内の文字を削除して、[設定]ボタンをクリックします。

Web PrintAgentを使用する

Web PrintAgentの動作環境について

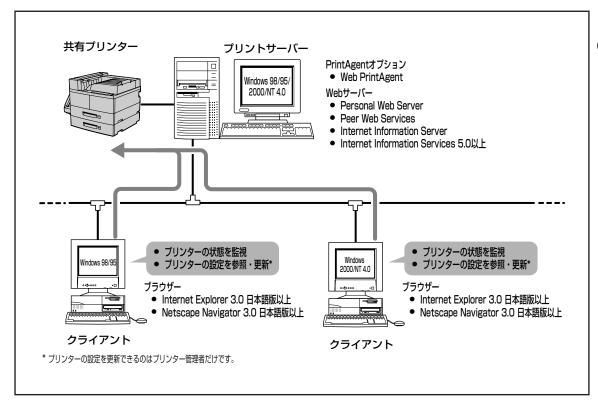
Web PrintAgentとはクライアントがブラウザーでネットワークプリンターの状態を見たり、プリンターの設定を更新したりできるソフトウエアです。

Web PrintAgentを動作させるために必要な環境は以下の通りです。プリントサーバーにはWebサーバーが事前にインストールされている必要があります。

サーバー側

OS:	Windows 98/95 日本語版 Windows 2000 日本語版 Windows NT Server/Workstation 4.0 日本語版
Webサーバー:	Personal Web Server（Windows 98/95用） Peer Web Services（Windows NT 4.0 Workstation用） Internet Information Server（Windows NT 4.0 Server用） Internet Information Services 5.0以上（Windows 2000用）

クライアント側

OS:	指定のブラウザーが動作するもの
ブラウザー:	Microsoft Internet Explorer 3.0 日本語版以上 Netscape Navigator 3.0 日本語版以上

Web PrintAgentの準備

次の手順でWeb PrintAgentの準備をします。

1. プリントサーバーのコンピューターにWebサーバーをインストールする。

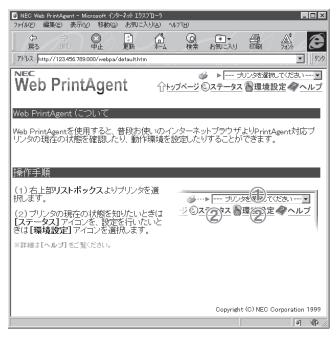
Webサーバーはマイクロソフト社のホームページからダウンロードするかOSに添付のものを使用してください。

2. クライアントのコンピューターにブラウザーソフトウエアをインストールする。

3. プリントサーバーのコンピューターにWeb PrintAgentをインストールする。

プリンターソフトウエアを管理者としてインストールします。

お使いのブラウザーで次の場所（URL）を指定して開くとトップページ画面が表示されます。詳細なWeb PrintAgentの使い方についてはヘルプを参照ください。（下線部はWebサーバーをインストールしたコンピューターのIPアドレスか、IPアドレスと対応させたコンピューター名です。）

http://<u>xxx.xxx.xxx.xxx</u>/webpa/default.htm

（この画面はMicrosoft Internet Explorer 3.0 日本語版で表示したときの例です。お使いのブラウザーの種類、バージョンによって画面の表示が多少異なります。また画面のデザインはソフトウエアのバージョンアップによって変更されることがあります。

プリンタードライバー
～印刷の手順とダイアログボックス～

プリンタードライバーはMultiWriter 4050Mで印刷を行うためのソフトウエアです。本章では、プリンタードライバーで行う一般的な印刷の手順と、設定を行うプロパティダイアログボックスについて各OS別に説明します。

プリンタードライバーで印刷する

ここでは、プリンタードライバーを使った各OSの一般的な印刷を説明します。お使いになるアプリケーションによってはメニュー構成など多少異なる点があるかもしれません。詳細はアプリケーションのマニュアルをご覧ください。

印刷の手順

印刷の手順（Windows 98/95/2000/NT 4.0）

ここでは、Windows 98/95に付属されている日本語ワードプロセッサー「ワードパッド」を例にとって一般的な印刷手順について説明します。任意のワードパッド文書を表示させて次の手順を確認してください。（Windows 2000、 NT 4.0の場合は、多少画面の表示が異なります。）

1. ［ファイル］メニューの［印刷］をクリックする。

［印刷］ダイアログボックスが開きます。

2. 使用する［プリンタ名：］として［NEC MultiWriter 4050M］が選択されていることを確認する。

もし選択されていなければ選択し直します。

ふだんMultiWriter 4050Mをよく使う場合は「プリンターを選択する」（154ページ）を参照してください。

3. 印刷範囲、部数を指定し、［OK］ボタンをクリックする。

印刷が開始されます。

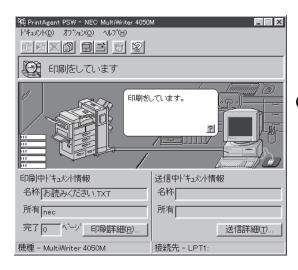
さらに詳しい設定をしたい場合は［プロパティ］ボタンをクリックし、設定変更してから［OK］ボタンをクリックします。

（「印刷のプロパティダイアログボックス」（157ページ）参照）

画面上には右のような[プリンタステータスウィンドウ]が表示されます。

プリンタステータスウィンドウは印刷の状態を表示し、また印刷の一時停止や中止を指令することができます。

(「プリンタステータスウィンドウ」(229ページ)参照)

印刷が終了するとプリンタステータスウィンドウは「印刷を終了しました」の音声メッセージを通知して自動的にウィンドウを閉じます。

印刷の手順(Windows 3.1/NT 3.51)

ここでは、Windows 3.1に付属されている日本語ワードプロセッサー「ライト」を例にとって一般的な印刷手順について説明します。任意のライト文書を表示させて次の手順を確認してください。

1. [ファイル]メニューの[印刷]をクリックする。

[印刷]ダイアログボックスが開きます。

2. [使用するプリンタ名：]として[NEC MultiWriter 4050M]が選択されていることを確認する。

もし選択されていなければ選択し直します。

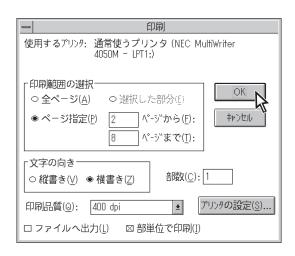
(「プリンターを選択する」参照(155～156ページ))

3. **印刷範囲、部数を指定する。**

用紙サイズなど、さらに詳しい設定を変更したい場合は[プリンタの設定]ボタンをクリックします。

（Windows NT 3.51は183〜190ページ、Windows 3.1は191〜196ページを参照）

4. **[OK]ボタンをクリックする。**

印刷が開始されます。

プリンターを選択する

印刷をするとき、あらかじめMultiWriter 4050Mを[通常使うプリンタ]として選択しておく方法を説明します。

お使いになっているアプリケーションによっては[プリンタの設定]ダイアログボックスを使ってMultiWriter 4050Mを[通常使うプリンタ]として選択することができます。詳しくはアプリケーションのマニュアルをご覧ください。

プリンターを選択する（Windows 98/95/2000/NT 4.0）

1. **[プリンタ]フォルダーを開く。**

[NEC MultiWriter 4050M]アイコンが[プリンタ]ウィンドウ内に表示されます。（表示されない場合はプリンタードライバーがインストールされていません。本マニュアルの「プリンターソフトウエアのインストール」（各OS別）をご覧になり、プリンタードライバーをインストールしてください。）

2. [NEC MultiWriter 4050M]アイコンを右クリックする。

メニューが表示されます。

3. メニューの[通常使うプリンタに設定]をクリックする。

すでに設定されている場合はチェックマークが表示されています。またこの設定は他のプリンターを選択しないかぎり変更されません。

4. [プリンタ]ウィンドウを閉じる。

プリンターを選択する(Windows NT 3.51)

1. [プリントマネージャ]を開く。

2. ツールバーの[標準：]ボックスから[NEC MultiWriter 4050M]を選ぶ。

プリンタードライバーがインストールされていないと[NEC MultiWriter 4050M]は表示されません。

プリンターを選択する(Windows 3.1)

Windows 3.1から印刷するときには、あらかじめMultiWriter 4050Mを[通常使うプリンタ]として選択しておく必要があります。

1. **[コントロールパネル]を開く。**

2. **[プリンタ]アイコンをダブルクリックする。**

[プリンタの設定]ダイアログボックスが表示されます。

3. **[組み込まれているプリンタ]ボックスから[NEC MultiWriter 4050M]を選ぶ。**

4. **[通常使うプリンタとして設定]ボタンをクリックする。**

印刷のプロパティダイアログボックス

[プロパティダイアログボックス]は印刷の詳細な設定を行うものです。ここではそのプロパティダイアログボックスの開き方とダイアログボックスの概要を各OSに分けて説明します。

プロパティダイアログボックス(Windows 98/95)

Windows 98/95では、印刷の詳細設定は以下のようなプロパティダイアログボックスで行います。このプロパティダイアログボックスは13枚のプロパティシートで構成されています。

- [全般]シート
- [詳細]シート
- [共有]シート
- [用紙]シート
- [出力制御]シート
- [レイアウト]シート
- [グラフィックス]シート
- [フォント]シート
- [印刷品質]シート
- [フォーム]シート
- [補助機能]シート
- [プリンタの構成]シート
- [プリンタの状態]シート

プロパティダイアログボックスを開く(Windows 98/95)

プロパティダイアログボックスを呼び出す方法は次の2通りあります。

- アプリケーションのメニューから呼び出す方法

  一般的にはこの方法で呼び出しますが、この場合、ダイアログボックスの設定はそのアプリケーションでのみ有効となります。ただし、OSが管理している[全般]、[詳細]、[共有]シートは表示されません。また、用紙の設定の項目などが表示できないことがあります。

- デスクトップ上の[スタート]ボタンを使って呼び出す方法

  ダイアログボックスの設定はすべてのアプリケーションに有効となります。

アプリケーションのメニューから呼び出す

アプリケーションからプロパティダイアログボックスを呼び出す場合、[ファイル]メニューの[印刷]コマンドか[プリンタの設定]コマンドを使います。(このコマンドはほとんどの場合[ファイル]メニューの中にありますが、メニューの構成はアプリケーションによって異なります。詳しくはアプリケーションのマニュアルをご覧ください。)

ここではWindows 98/95に付属されている日本語ワードプロセッサー「ワードパッド」を例にとって説明します。任意のワードパッド文書を表示させて次の手順を確認してください。

1. [ファイル]メニューの[印刷]をクリックする。

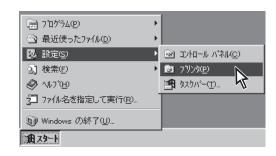
[印刷]ダイアログボックスが開きます。

2. [プロパティ]ボタンをクリックする。

右のようなプロパティダイアログボックスが表示されます。

各プロパティシートについては、160ページからの「各プロパティシートの設定の概要(Windows 98/95)」を参照してください。

[スタート]ボタンを使って呼び出す

1. [プリンタ]ダイアログボックスを開く。

2. [NEC MultiWriter 4050M]アイコンを右クリックする。

プリンターのアイコンが反転し、メニューが表示されます。

3. メニューの[プロパティ]をクリックする。

右のようなプロパティダイアログボックスが表示されます。

各プロパティシートの設定の概要(Windows 98/95)

プロパティダイアログの概要をプロパティシートごとに説明します。詳細な説明はヘルプを参照してください。(ヘルプはプロパティシート上でマウスの右ボタンをクリックすると表示されます。)

[全般]シート

このプロパティシートはプリンターについてのコメントなどを表示・設定します。Windows 98/95 日本語版対応のプリンタードライバーとして共通のものです。なお、このシートはアプリケーションの[ファイル]メニューから呼び出した場合は表示されません。

通常ご使用になっている上では設定を変更する必要はありません。

[詳細]シート

このプロパティシートでは印刷用のポートや使用するプリンタードライバーなどを表示·設定します。Windows 98/95 日本語版対応のプリンタードライバー共通としてのものです。なお、このシートはアプリケーションの[ファイル]メニューから呼び出した場合は表示されません。

通常ご使用になっている上では設定を変更する必要はありません。

✔チェック

- タイムアウト設定の時間が短いと、複雑なデータやアプリケーションによっては、印刷データ送信を中止することがあります。その場合には、タイムアウト設定の時間を長くしてください。
- PrintAgentを使用する場合は[スプールの設定]の[このプリンタで双方向通信機能をサポートする]がチェックされている必要があります。

[共有]シート

このプロパティシートはプリンターを共有するときの設定を行うシートです。Windows 98/95対応のプリンターをネットワークで使用しているときのみ表示されます。Windows 98/95 日本語版対応のプリンタードライバーとして共通のものです。なお、このシートはアプリケーションの[ファイル]メニューから呼び出した場合は表示されません。

[用紙]シート

このプロパティシートでは用紙に関する以下の設定を行います。

- 用紙サイズ
- 出力用紙サイズ（「出力用紙サイズを指定する」（198ページ）参照）
- 拡大縮小率（「拡大・縮小率を指定する」（201ページ）参照）
- 印刷の向き
- 給紙方法
- 用紙種類
  給紙方法がトレイのときのみ用紙種類を選択できます。
- 部数
  印刷時の部数（コピー数）を1～99枚まで設定できます。

[出力制御]シート

このプロパティシートでは出力制御に関する以下の設定を行います。

- 丁合い機能（「丁合い機能」（210ページ）参照）
- 電子ソート機能（「電子ソート機能」（211ページ）参照）
- 仕分け機能（「合紙」、「オフセット排紙」（214ページ参照）
- 排出機能（「ソータ」、「フィニッシャ」（215～218ページ）参照）
- フェイスアップ／フェイスダウン機能
- リプリント機能（「リプリントの実行」（235ページ）参照）
- プリンターの自動切替機能（「グループプリンター（自動切り替えの設定）」（248ページ）参照）

[レイアウト]シート

このプロパティシートではレイアウトに関する以下の設定を行います。

- 両面印刷（「両面印刷」（205ページ）参照）
- 印刷開始ページ
- 綴じ方向（「フィニッシャ」（217ページ）参照）
- 印刷位置の調整（「印刷位置の調整」（204ページ）参照）
- 複数ページ印刷（「複数ページ印刷」（202ページ）参照）
- 配置（「複数ページ印刷」（202ページ）参照）
- ページ番号を付加する（「複数ページ印刷」（202ページ）参照）
- 従来互換の印刷範囲を使用する

[グラフィックス]シート

このプロパティシートでは印刷解像度やグラフィックスデータに対するプリンターの処理の設定を行います。以下の設定が可能です。

- 解像度
- ディザリング
- 濃度
- 描画方法
- ブラシパターン(ブラシパターンを拡大する)
- ビットマップ(低解像度で印刷)

[フォント]シート

このプロパティシートではフォントに関する以下の設定を行います。

- TrueTypeフォントの印刷方法
- そのまま印刷

  TrueTypeフォントをプリンタフォントに置換せずそのまま印刷します。
- 特殊文字をそのまま印刷

  プリンタフォント置換時にIBM拡張文字(髙、﨑)などをそのままのイメージで印刷します。
- 文字を白黒で印刷する

[印刷品質]シート

このプロパティシートでは印刷品質に関する以下の設定を行います。

- SET機能
- トナー節約機能

[フォーム]シート

このプロパティシートではフォーム印刷を利用しているとき、フォーム印刷に関する設定を行います。フォーム印刷とは見出し文字や罫線枠などのフォームデータを文書データと重ね合わせて印刷することです。フォームデータを作成するには別売のアプリケーションが必要です。

［補助機能］シート

このプロパティシートでは、印刷時にプリンターの操作パネルの下段に表示する文字列を設定します。（「ユーザー名を表示させる」（209ページ）参照）

［プリンタの構成］シート

このプロパティシートではプリンターの構成を表示・設定します。プリンターとコンピューターの間で双方向通信が行われているとき、プリンターに装着されているメモリー、オプション装置がこのシートに表示されます。双方向通信ができない場合は、それぞれ表示される項目から装着されているものをクリックして選択し、プリンターの構成を設定します。

［プリンタの状態］シート

このプロパティシートは現在のプリンターの状態を表示します。また以下の機能を実行するボタンが用意されています。ただし、このボタンは双方向通信ができない場合は使用できません。

- ウォームアップ開始
- PSWの起動（「プリンタステータスウィンドウ」（229ページ）参照）
- リモートパネルの起動（「リモートパネル」（238ページ）参照）

✔チェック

表示しているメモリー容量は、各CPU（コントローラー）あたりの容量です。32MBのメモリーを各CPU（コントローラー）に増設すると、表示は48MB/CPU（標準+32MB）となります。

プロパティダイアログボックス(Windows 2000)

Windows 2000では、印刷の詳細な設定は以下の2つのプロパティダイアログボックスで行います。

[プリンタのプロパティ]ダイアログボックス

このダイアログボックスはプリンターのポートや共有などに関する設定を行うものです。以下の7枚のプロパティシートで構成されています。このダイアログボックスはアプリケーションのメニューからは呼び出せません。

- [全般]シート
- [共有]シート
- [ポート]シート
- [詳細設定]シート
- [セキュリティ]シート
- [プリンタの設定]シート
- [プリンタの構成]シート

[印刷設定]ダイアログボックス

このダイアログボックスは印刷の詳細な設定を行うものです。以下のような9枚のプロパティシートで構成されています。

- [用紙]シート
- [レイアウト]シート
- [出力制御]シート
- [グラフィックス]シート
- [フォント]シート
- [印刷品質]シート
- [フォーム]シート
- [補助機能]シート
- [プリンタの状態]シート

ダイアログボックスを開く（Windows 2000）

プロパティダイアログボックスを開く方法は次の2通りあります。

- アプリケーションのメニューから呼び出す方法

  一般的にはこの方法で呼び出しますが、この場合、ダイアログボックスの設定はそのアプリケーションでのみ有効となります。また、用紙の設定の項目などが表示できないことがあります。

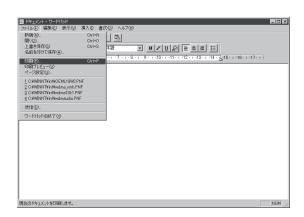
- デスクトップ上の［スタート］ボタンを使って呼び出す方法

  ダイアログボックスの設定はすべてのアプリケーションに有効となります。

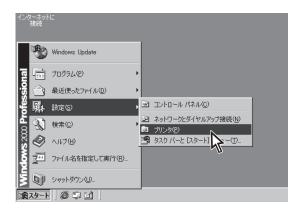
アプリケーションのメニューから呼び出す

アプリケーションから［印刷設定］ダイアログボックスを呼び出す場合は、［ファイル］メニューの［印刷］コマンドか［プリンタの設定］コマンドを使います。（このコマンドはほとんどの場合［ファイル］メニューの中にありますが、［ファイル］メニューの構成はアプリケーションによって異なります。詳しくはアプリケーションのマニュアルをご覧ください。）

ここではWindows 2000に付属されている日本語ワードプロセッサー「ワードパッド」を例にとって、［印刷設定］ダイアログボックスを呼び出す手順を説明します。任意のワードパッド文書を表示させて次の手順を確認してください。

1. ［ファイル］メニューの［印刷］をクリックする。

右のような［印刷設定］ダイアログボックスが表示されます。

各プロパティシートについては、170～173ページの「設定の概要（印刷設定）」を参照してください。

[スタート]ボタンを使って呼び出す

1. [プリンタ]フォルダーを開く。

2. [NEC MultiWriter 4050M]アイコンを右クリックする。

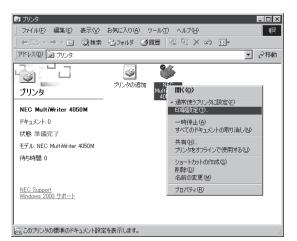
プリンターのアイコンが黒く反転し、メニューが表示されます。

このメニューから2つの[プロパティ]ダイアログボックスが呼び出せます。

▶ [プロパティ]をクリックして、[プリンタのプロパティ]ダイアログボックスを開く。

右のような[プリンタのプロパティ]ダイアログボックスが表示されます。

各プロパティシートについては、168～170ページの「設定の概要(デバイスプロパティ)」を参照してください。

▶ **[印刷設定]をクリックして、[印刷設定]ダイアログボックスを開く。**

右のような[印刷設定]ダイアログボックスが表示されます。

各プロパティシートについては、170～173ページの「設定の概要(印刷設定)」を参照してください。

設定の概要（デバイスプロパティ）（Windows 2000）

［デバイスプロパティ］ダイアログの概要をプロパティシートごとに説明します。詳細な説明はヘルプを参照してください。（ヘルプはプロパティシート上でマウスの右ボタンをクリックすると表示されます。）

［全般］シート

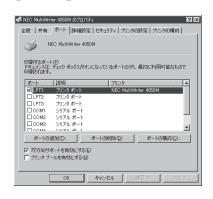
このプロパティシートではあらかじめ入力されたプリンターについてのコメントなどを表示・設定します。Windows 2000 日本語版対応のプリンタードライバーとして共通のものです。

通常ご使用になっている上では設定の変更は必要ありません。

［共有］シート

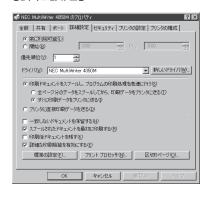
このプロパティシートではネットワーク上でのプリンターの共有について設定します。Windows 2000 日本語版対応のプリンタードライバーとして共通のものです。

通常ご使用になっている上では設定の変更は必要ありません。

［ポート］シート

このプロパティシートでは印刷用のポートについて表示・設定します。Windows 2000 日本語版対応のプリンタードライバーとして共通のものです。

通常ご使用になっている上では設定の変更は必要ありません。

PrintAgentを使用する場合は、［双方向サポートを有効にする］が選択されている必要があります。

[詳細設定]シート

このプロパティシートはプリンターの詳細について表示・設定します。Windows 2000 日本語版対応のプリンタードライバーとして共通のものです。

通常ご使用になっている上では設定の変更は必要ありません。

[セキュリティ]シート

このプロパティシートではプリンターのセキュリティについて表示・設定します。Windows 2000 日本語版対応のプリンタードライバーとして共通のものです。

通常ご使用になっている上では設定の変更は必要ありません。

[プリンタの設定]シート

このプロパティシートでは以下のプリンターの設定を行います。

- TrueTypeフォントの置き換え設定
- 出力用紙の設定
- JIS78コードのプリンターフォントを使用する
- 従来互換の印刷範囲を使用する

[プリンタの構成]シート

このプロパティシートでは以下のプリンターの構成を表示・設定します。

- メモリ
- オプション装置
  - フェイスアップトレイ
  - 封筒フィーダ
  - 両面印刷ユニット
  - 大容量ホッパ
  - 増設ハードディスク
- 排紙装置

プリンターとコンピューターの間で双方向通信が行われているとき、プリンターに装着されているメモリー、オプション装置がこのシートに表示されます。双方向通信ができない場合は、それぞれ表示される項目から装着されているものをクリックして選択し、プリンターの構成を設定します。

表示しているメモリー容量は、各CPU(コントローラー)あたりの容量です。32MBのメモリーを各CPU(コントローラー)に増設すると、表示は48MB/CPU(標準+32MB)となります。

設定の概要(印刷設定)(Windows 2000)

[印刷設定]ダイアログの概要をプロパティシートごとに説明します。詳細な説明はヘルプを参照してください。(ヘルプはプロパティシート上でマウスの右ボタンをクリックすると表示されます。)

[用紙]シート

このプロパティシートでは用紙に関する以下の設定を行います。

- 用紙サイズ
- 出力用紙サイズ(「出力用紙サイズを指定する」(198ページ)参照)
- 拡大縮小率(「拡大・縮小率を指定する」(201ページ)参照)
- 印刷の向き
- 給紙方法
- 用紙種類
  給紙方法がトレイのときのみ用紙種類を選択できます。
- 部数
  印刷時の部数(コピー数)を1〜99枚まで設定できます。

[レイアウト]シート

このプロパティシートではレイアウトに関する以下の設定を行います。

- 両面印刷(「両面印刷」(205ページ)参照)
- 印刷開始ページ
- 綴じ方向(「フィニッシャ」(217ページ)参照)
- 印刷位置の調整(「印刷位置の調整」(204ページ)参照)
- 複数ページ印刷(「複数ページ印刷」(202ページ)参照)
- 配置(「複数ページ印刷」(202ページ)参照)
- ページ番号を付加する(「複数ページ印刷」(203ページ)参照)

[出力制御]シート

このプロパティシートでは出力制御に関する以下の設定を行います。

- 丁合い機能(「丁合い機能(210ページ)参照)
- 電子ソート機能(「電子ソート機能」(211ページ)参照)
- 仕分け機能(「合紙」、「オフセット排紙」(214ページ)参照)
- 排出方法(「ソータ」、「フィニッシャ」(215〜218ページ)参照)
- リプリント機能(「リプリントの実行」ダイアログボックス(235ページ)参照)
- プリンタ自動切替機能(「グループプリンター(自動切り替えの設定)」(248ページ)参照)
- フェイスアップ/フェイスダウン機能

[グラフィックス]シート

このプロパティシートでは印刷解像度やグラフィックスデータに対するプリンターの処理の設定を行います。以下の設定が可能です。

- 解像度
- ブラシパターンを拡大して印刷
- すべてビットマップで印刷
- ハーフトーンカラーの調整

[フォント]シート

このプロパティシートではフォントに関する以下の設定を行います。

- TrueTypeフォントの印刷方法
- そのまま印刷
  TrueTypeフォントをプリンタフォントに置換せずそのまま印刷します。
- 文字を白黒で印刷する
- OCR文字の文字ピッチ固定

[印刷品質]シート

このプロパティシートでは印刷品質に関する以下の設定を行います。

- SET機能
- トナー節約機能

[フォーム]シート

このプロパティシートではフォーム印刷を利用しているときフォーム印刷に関する設定を行います。フォーム印刷とは見出し文字や罫線枠などのフォームデータを文書データと重ね合わせて印刷することです。フォームデータを作成するには別売のアプリケーションが必要です。

[補助機能]シート

このプロパティシートでは、印刷時にプリンターの操作パネルの下段に表示する文字列を設定します。(「ユーザー名を表示させる」(209ページ)参照)

[プリンタの状態]シート

このプロパティシートは現在のプリンターの状態を表示します。また以下の機能を実行するボタンが用意されています。

- ウォームアップ開始
- PSWの起動(「プリンターステータスウィンドウ」(229ページ)参照)
- リモートパネルの起動(「リモートパネル」(238ページ)参照)

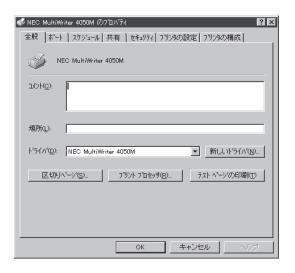
チェック

表示しているメモリー容量は、各CPU(コントローラー)あたりの容量です。32MBのメモリーを各CPU(コントローラー)に増設すると、表示は48MB/CPU(標準+32MB)となります。

プロパティダイアログボックス(Windows NT 4.0)

Windows NT 4.0では、印刷の詳細な設定は以下の2つのプロパティダイアログボックスで行います。

[デバイスプロパティ]ダイアログボックス

このダイアログボックスはプリンターのポートや共有などに関する設定を行うものです。以下の7枚のプロパティシートで構成されています。このダイアログボックスはアプリケーションのメニューからは呼び出せません。

- [全般]シート
- [ポート]シート
- [スケジュール]シート
- [共有]シート
- [セキュリティ]シート
- [プリンタの設定]シート
- [プリンタの構成]シート

[ドキュメントプロパティ]ダイアログボックス

このダイアログボックスは印刷の詳細な設定を行うものです。以下のような9枚のプロパティシートで構成されています。

- [用紙]シート
- [レイアウト]シート
- [出力制御]シート
- [グラフィックス]シート
- [フォント]シート
- [印刷品質]シート
- [フォーム]シート
- [補助機能]シート
- [プリンタの状態]シート

ダイアログボックスを開く(Windows NT 4.0)

プロパティダイアログボックスを開く方法は次の2通りあります。

- アプリケーションのメニューから呼び出す方法

  一般的にはこの方法で呼び出しますが、この場合、ダイアログボックスの設定はそのアプリケーションでのみ有効となります。また、用紙の設定の項目などが表示できないことがあります。

- デスクトップ上の[スタート]ボタンを使って呼び出す方法

  ダイアログボックスの設定はすべてのアプリケーションに有効となります。

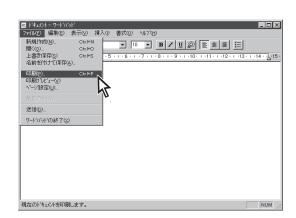
アプリケーションのメニューから呼び出す

アプリケーションから[ドキュメントプロパティ]ダイアログボックスを呼び出す場合は、[ファイル]メニューの[印刷]コマンドか[プリンタの設定]コマンドを使います。(このコマンドはほとんどの場合[ファイル]メニューの中にありますが、[ファイル]メニューの構成はアプリケーションによって異なります。詳しくはアプリケーションのマニュアルをご覧ください。)

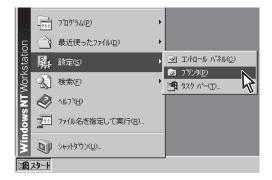
ここではWindows NT 4.0に付属されている日本語ワードプロセッサー「ワードパッド」を例にとって、[ドキュメントプロパティ]ダイアログボックスを呼び出す手順を説明します。任意のワードパッド文書を表示させて次の手順を確認してください。

1. [ファイル]メニューの[印刷]をクリックする。

[印刷]ダイアログボックスが開きます。

2. [プロパティ]ボタンをクリックする。

右のような[ドキュメントプロパティ]ダイアログボックスが表示されます。

各プロパティシートについては、180～182ページの「設定の概要(ドキュメントプロパティ)」を参照してください。

[スタート]ボタンを使って呼び出す

1. [プリンタ]フォルダーを開く。

2. [NEC MultiWriter 4050M]アイコンを右クリックする。

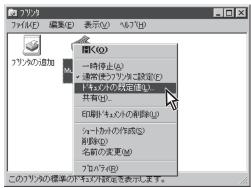
プリンターのアイコンが黒く反転し、メニューが表示されます。

このメニューから2つの[プロパティ]ダイアログボックスが呼び出せます。

▶ [プロパティ]をクリックして、[デバイスプロパティ]ダイアログボックスを開く。

右のような[デバイスプロパティ]ダイアログボックスが表示されます。

各プロパティシートについては、178〜180ページの「設定の概要（デバイスプロパティ）」を参照してください。

▶ **[ドキュメントの既定値]をクリックして、[ドキュメントプロパティ]ダイアログボックスを開く。**

右のような[ドキュメントプロパティ]ダイアログボックスが表示されます。

各プロパティシートについては、180〜182ページの「設定の概要（ドキュメントプロパティ）」を参照してください。

設定の概要(デバイスプロパティ)(Windows NT 4.0)

[デバイスプロパティ]ダイアログの概要をプロパティシートごとに説明します。詳細な説明はヘルプを参照してください。(ヘルプはプロパティシート上でマウスの右ボタンをクリックすると表示されます。)

[全般]シート

このプロパティシートではあらかじめ入力されたプリンターについてのコメントなどを表示・設定します。Windows NT 4.0 日本語版対応のプリンタードライバーとして共通のものです。

通常ご使用になっている上では設定の変更は必要ありません。

[ポート]シート

このプロパティシートでは印刷用のポートについて表示・設定します。Windows NT 4.0 日本語版対応のプリンタードライバーとして共通のものです。

通常ご使用になっている上では設定の変更は必要ありません。

PrintAgentを使用する場合は、[双方向サポートを有効にする]が選択されている必要があります。

[スケジュール]シート

このプロパティシートではプリンターを利用する時間などについて表示・設定します。Windows NT 4.0 日本語版対応のプリンタードライバーとして共通のものです。

通常ご使用になっている上では設定の変更は必要ありません。

[共有]シート

このプロパティシートではネットワーク上でのプリンターの共有について設定します。Windows NT 4.0 日本語版対応のプリンタードライバーとして共通のものです。

通常ご使用になっている上では設定の変更は必要ありません。

[セキュリティ]シート

このプロパティシートではプリンターのセキュリティについて表示・設定します。Windows NT 4.0 日本語版対応のプリンタードライバーとして共通のものです。

通常ご使用になっている上では設定の変更は必要ありません。

[プリンタの設定]シート

このプロパティシートでは以下のプリンターの設定を行います。

- TrueTypeフォントの置き換え設定
- 出力用紙の設定
- JIS78コードのプリンターフォントを使用する
- 従来互換の印刷範囲を使用する

[プリンタの構成]シート

このプロパティシートでは以下のプリンターの構成を表示・設定します。

- メモリ
- オプション装置
  - フェイスアップトレイ
  - 封筒フィーダ
  - 両面印刷ユニット
  - 大容量ホッパ
  - 増設ハードディスク
- 排紙装置

プリンターとコンピューターの間で双方向通信が行われているとき、プリンターに装着されているメモリー、オプション装置がこのシートに表示されます。双方向通信ができない場合は、それぞれ表示される項目から装着されているものをクリックして選択し、プリンターの構成を設定します。

表示しているメモリー容量は、各CPU(コントローラー)あたりの容量です。32MBのメモリーを各CPU(コントローラー)に増設すると、表示は48MB/CPU(標準+32MB)となります。

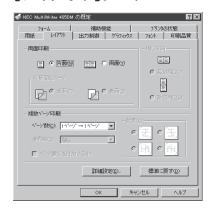
設定の概要(ドキュメントプロパティ)(Windows NT 4.0)

ドキュメントプロパティダイアログの概要をプロパティシートごとに説明します。詳細な説明はヘルプを参照してください。(ヘルプはプロパティシート上でマウスの右ボタンをクリックすると表示されます。)

[用紙]シート

このプロパティシートでは用紙に関する以下の設定を行います。

- 用紙サイズ
- 出力用紙サイズ(「出力用紙サイズを指定する」(198ページ)参照)
- 拡大縮小率(「拡大・縮小率を指定する」(201ページ)参照)
- 印刷の向き
- 給紙方法
- 用紙種類
  給紙方法がトレイのときのみ用紙種類を選択できます。
- 部数
  印刷時の部数(コピー数)を1〜99枚まで設定できます。

[レイアウト]シート

このプロパティシートではレイアウトに関する以下の設定を行います。

- 両面印刷(「両面印刷」(205ページ)参照)
- 印刷開始ページ
- 綴じ方向(「フィニッシャ」(217ページ)参照)
- 印刷位置の調整(「印刷位置の調整」(204ページ)参照)
- 複数ページ印刷(「複数ページ印刷」(202ページ)参照)
- 配置(「複数ページ印刷」(202ページ)参照)
- ページ番号を付加する(「複数ページ印刷」(203ページ)参照)
- 従来互換の印刷範囲を使用する

[出力制御]シート

このプロパティシートでは出力制御に関する以下の設定を行います。

- 丁合い機能(「丁合い機能」(210ページ)参照)
- 電子ソート機能(「電子ソート機能」(211ページ)参照)
- 仕分け機能(「合紙」、「オフセット排紙」(214ページ)参照)
- 排出方法(「ソータ」、「フィニッシャ」(215～218ページ)参照)
- リプリント機能(「リプリントの実行ダイアログボックス」(178ページ)参照)
- プリンタ自動切替機能(「グループプリンター(自動切り替えの設定)」(248ページ)参照)
- フェイスアップ/フェイスダウン機能

[グラフィックス]シート

このプロパティシートでは印刷解像度やグラフィックスデータに対するプリンターの処理の設定を行います。以下の設定が可能です。

- 解像度
- ブラシパターンを拡大して印刷
- 印刷データ全体をビットマップで印刷
- ハーフトーンカラーの調整

[フォント]シート

このプロパティシートではフォントに関する以下の設定を行います。

- TrueTypeフォントの印刷方法
- そのまま印刷

  TrueTypeフォントをプリンタフォントに置換せずそのまま印刷します。
- 文字を白黒で印刷する
- OCR文字の文字ピッチ固定

[印刷品質]シート

このプロパティシートでは印刷品質に関する以下の設定を行います。

- SET機能
- トナー節約機能

[フォーム]シート

このプロパティシートではフォーム印刷を利用しているときフォーム印刷に関する設定を行います。フォーム印刷とは見出し文字や罫線枠などのフォームデータを文書データと重ね合わせて印刷することです。フォームデータを作成するには別売のアプリケーションが必要です。

[補助機能]シート

このプロパティシートでは、印刷時にプリンターの操作パネルの下段に表示する文字列を設定します。(「ユーザー名を表示させる」(209ページ)参照)

[プリンタの状態]シート

このプロパティシートは現在のプリンターの状態を表示します。また以下の機能を実行するボタンが用意されています。

- ウォームアップ開始
- PSWの起動(「プリンターステータスウィンドウ」(229ページ)参照)
- リモートパネルの起動(「リモートパネル」(238ページ)参照)

✔チェック

表示しているメモリー容量は、各CPU(コントローラー)あたりの容量です。32MBのメモリーを各CPU(コントローラー)に増設すると、表示は48MB/CPU(標準+32MB)となります。

プロパティダイアログボックス(Windows NT 3.51)

Wndows NT 3.51では、印刷の詳細設定は以下の2つのプロパティダイアログボックスで行います。

[デバイスプロパティ]ダイアログボックス

このダイアログボックスはプリンターのポートや共有などに関する設定を行うものです。以下の2枚のプロパティシートで構成されています。このダイアログボックスはアプリケーションのメニューからは呼び出せません。

- [プリンタの設定]シート
- [プリンタの構成]シート

[ドキュメントプロパティ]ダイアログボックス

このダイアログボックスは印刷の詳細な設定を行うものです。以下のような9枚のプロパティシートで構成されています。

- [用紙]シート
- [レイアウト]シート
- [出力制御]シート
- [グラフィックス]シート
- [フォント]シート
- [印刷品質]シート
- [フォーム]シート
- [補助機能]シート
- [プリンタの状態]シート

ダイアログボックスを開く(Windows NT 3.51)

プロパティダイアログボックスを開く方法は次の2通りあります。

- アプリケーションのメニューから呼び出す方法

  一般的にはこの方法で呼び出しますが、この場合、ダイアログボックスの設定はそのアプリケーションでのみ有効となります。また、用紙の設定の項目などが表示できないことがあります。

- Windows付属の[プリントマネージャ]を使って呼び出す方法

  ダイアログボックスの設定はすべてのアプリケーションに有効となります。

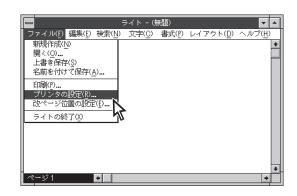
アプリケーションから呼び出す

アプリケーションから[ドキュメントプロパティ]ダイアログボックスを呼び出す場合は、ファイルメニューの[印刷]コマンドか[プリンタの設定]コマンドを使います。(このコマンドはほとんどの場合[ファイル]メニューの中にありますが、[ファイル]メニューの構成はアプリケーションによって異なります。詳しくはアプリケーションのマニュアルをご覧ください。)

ここでは[ドキュメントプロパティ]ダイアログボックスを呼び出す手順をWindows NT 3.51に付属されている日本語ワードプロセッサー「ライト」を例にとって、説明します。任意のライト文書を表示させて次の手順を確認してください。

1. [ファイル]メニューの[プリンタの設定]をクリックする。

[プリンタの設定]ダイアログボックスが開きます。

2. [プロパティ]ボタンをクリックする。

右のような[ドキュメントプロパティ]ダイアログボックスが表示されます。

各プロパティシートについては188～190ページの[設定の概要(ドキュメントプロパティ)]を参照してください。

[プリントマネージャ]を使って呼び出す

1. [プログラムマネージャ]の[メイン]グループの中の[プリントマネージャ]をダブルクリックする。

2. [プリンタ]メニューの[プリンタ情報]をクリックする。

[プリンタ情報]ダイアログボックスが表示されます。[デバイスプロパティ]ダイアログボックスを開きたい場合は手順3を、[ドキュメントプロパティ]ダイアログボックスを開きたい場合は手順4および5を行ってください。

3. [設定]ボタンをクリックする。

プリンタ情報
プリンタ名(N): MultiWriter 4050M
ドライバ(D): NEC MultiWriter 4050M
説明(E):
印刷先(T): LPT1:
ネットワーク上で共有(S)
共有名(A):
設置場所(L):
OK
ｷｬﾝｾﾙ
設定(U)...
詳細(I)...
ﾎﾟｰﾄ設定(G)...
ﾍﾙﾌﾟ(H)

右のような[デバイスプロパティ]ダイアログボックスが表示されます。

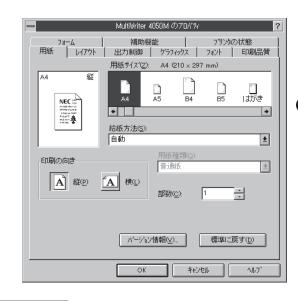
各プロパティシートについては、次ページの「設定の概要(デバイスプロパティ)」を参照してください。

4. [詳細]ボタンをクリックする。

[プリンタ詳細]ダイアログボックスが表示されます。

5. [標準設定]ボタンをクリックする。

右のような[ドキュメントプロパティ]ダイアログボックスが表示されます。

各プロパティシートについては、188～190ページの「設定の概要(ドキュメントプロパティ)」を参照してください。

設定の概要(デバイスプロパティ)(Windows NT 3.51)

デバイスプロパティダイアログの概要をプロパティシートごとに説明します。詳細な説明はヘルプを参照してください。(ヘルプはプロパティシート上でマウスの右ボタンをクリックすると表示されます。)

[プリンタの設定]シート

このプロパティシートではプリンターに関する以下の設定を行います。

- TrueTypeフォントの置き換え設定
  TrueTypeフォントをプリンタフォントに置換する場合の置換方法を設定できます。
- 従来互換の印刷範囲を使用する

[プリンタの構成]シート

このプロパティシートではプリンターの構成を表示・設定します。それぞれ表示される項目から装着されているものをクリックして選択し、プリンターの構成を設定します。

チェック

表示しているメモリー容量は、各CPU(コントローラー)あたりの容量です。32MBのメモリーを各CPU(コントローラー)に増設すると、表示は48MB/CPU(標準+32MB)となります。

設定の概要(ドキュメントプロパティ)(Windows NT 3.51)

ドキュメントプロパティダイアログの概要をプロパティシートごとに説明します。詳細な説明はヘルプを参照してください。(ヘルプはプロパティシート上でマウスの右ボタンをクリックすると表示されます。)

[用紙]シート

このプロパティシートでは以下の用紙に関する設定を行います。

- 用紙サイズ
- 印刷の向き
- 給紙方法
- 用紙種類
  給紙方法がトレイのときのみ用紙種類を選択できます。
- 部数
  印刷時の部数(コピー数)を1〜99枚まで設定できます。

[レイアウト]シート

このプロパティシートではレイアウトに関する以下の設定を行います。

- 両面印刷(「両面印刷」(205ページ)参照)
- 綴じ方向(「フィニッシャ」(217ページ)参照)
- 印刷位置の調整(「印刷位置の調整」(204ページ)参照)

[出力制御]シート

このプロパティシートでは出力制御に関する以下の設定を行います。

- 仕分け機能(「合紙」、「オフセット排紙」(212〜214ページ)参照)
- 排出方法(「ソータ」、「フィニッシャ」(215〜218ページ)参照)
- 電子ソート機能使用(「電子ソート機能」(211ページ)参照)
- フェイスアップ/フェイスダウン機能

[グラフィックス]シート

このプロパティシートでは印刷解像度やグラフィックスデータに対するプリンターの処理の設定を行います。以下の設定が可能です。

- 解像度
- ブラシパターンを拡大して印刷
- 印刷データ全体をビットマップで印刷
- ハーフトーンカラーの調整

[フォント]シート

このプロパティシートではフォントに関する以下の設定を行います。

- TrueTypeフォントの印刷方法
- そのまま印刷
  TrueTypeフォントをプリンタフォントに置換せずそのまま印刷します。
- 文字を白黒で印刷する
- OCR文字の文字ピッチ固定

[印刷品質]シート

このプロパティシートでは印刷品質に関する以下の設定を行います。

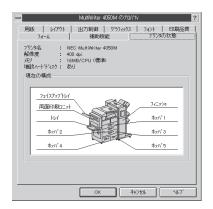
- SET機能
- トナー節約機能

[フォーム]シート

このプロパティシートではフォーム印刷を利用しているときフォーム印刷に関する設定を行います。フォーム印刷とは見出し文字や罫線枠などのフォームデータを文書データと重ね合わせて印刷することです。フォームデータを作成するには別売のアプリケーションが必要です。

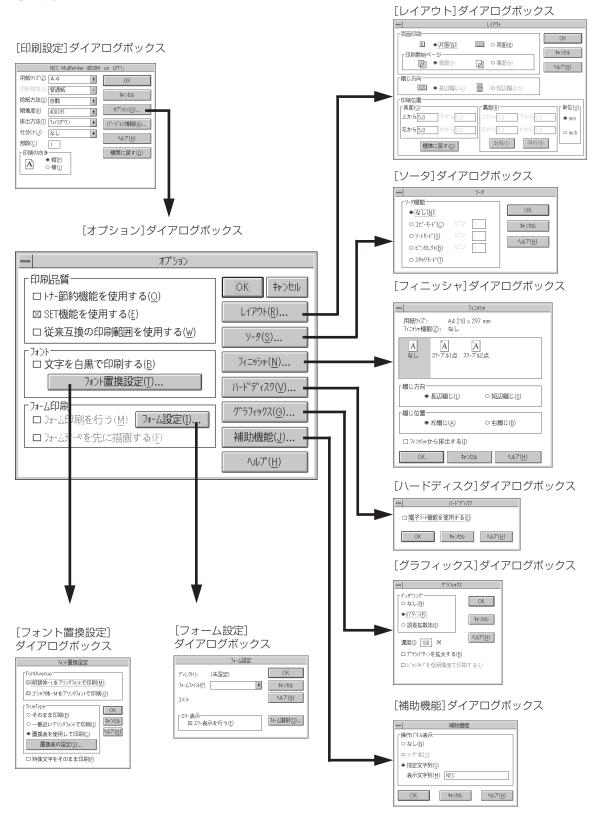
[補助機能]シート

このプロパティシートでは、印刷時にプリンターの操作パネルの下段に表示する文字列を設定します。(「ユーザー名を表示させる」(209ページ)参照)

[プリンタの状態]シート

このプロパティシートでは[プリンタの構成]シートで設定されたプリンターの構成を表示します。

表示しているメモリー容量は、各CPU(コントローラー)あたりの容量です。32MBのメモリーを各CPU(コントローラー)に増設すると、表示は48MB/CPU(標準+32MB)となります。

ダイアログボックス(Windows 3.1)

Windows 3.1では、次のような[印刷設定]ダイアログボックスで印刷に関する詳細な設定を行うことができます。

ダイアログボックスを開く(Windows 3.1)

[印刷設定]ダイアログボックスを開く方法は次の2通りあります。

- アプリケーションのメニューから呼び出す方法

  一般的にはこの方法で呼び出しますが、この場合、ダイアログボックスの設定はそのアプリケーションでのみ有効となります。

- Windows付属の[コントロールパネル]を使って呼び出す方法

  ダイアログボックスの設定はすべてのアプリケーションに有効です。

アプリケーションから呼び出す

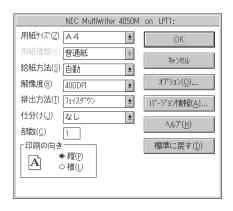
アプリケーションから[印刷設定]ダイアログボックスを呼び出す場合、[印刷]コマンドか[プリンタの設定]コマンドを使います。このコマンドは[ファイル]メニューの中にありますが、[ファイル]メニューの構成はアプリケーションによって違います。詳しくはアプリケーションのマニュアルをご覧ください。

ここではWindows 3.1に付属されている日本語ワードプロセッサー「ライト」を例にとって説明します。任意のライト文書を表示させて次の手順を確認してください。

1. [ファイル]メニューの[プリンタの設定]をクリックする。

[プリンタの設定]ダイアログボックスが開きます。

2. [オプション]ボタンをクリックする。

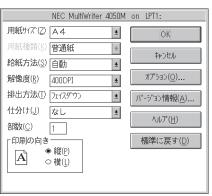
右のような[印刷設定]ダイアログボックスが表示されます。

［コントロールパネル］を使って呼び出す

1. **［コントロールパネル］を開く。**

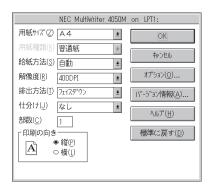
2. **［プリンタ］アイコンをダブルクリックする。**

［プリンタの設定］ダイアログボックスが表示されます。

3. **［設定］ボタンをクリックする。**

右のような［印刷設定］ダイアログボックスが表示されます。

設定の概要(Windows 3.1)

設定の概要をダイアログボックスごとに説明します。詳細については各ダイアログボックスの[ヘルプ]ボタンをクリックすると表示される説明を参照してください。

[印刷設定]ダイアログボックス

このダイアログボックスでは用紙や印刷品質に関する設定を行います。さらにグラフィックやフォントなど詳細な設定を行いたい場合は[オプション]ボタンをクリックすると表示する[オプション]ダイアログボックスから設定することができます。

- 用紙サイズ
- 用紙種類
- 給紙方法
- 解像度
- 排出方法
- 仕分け
- 部数
- 印刷の向き

[オプション]ダイアログボックス

このダイアログボックスでは印刷品質、フォント、およびフォーム印刷に関する設定を行います。

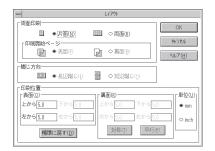
- 印刷品質の設定
- フォントの設定
- フォーム印刷の設定
- [レイアウト]ダイアログボックスの起動
- [ソータ]ダイアログボックスの起動(「ソータ」(215ページ)参照)
- [フィニッシャ]ダイアログボックスの起動(「フィニッシャ」(217ページ)参照)
- [ハードディスク]ダイアログボックスの起動(「電子ソート機能」(211ページ)参照)
- [グラフィックス]ダイアログボックスの起動
- [補助機能]ダイアログボックスの起動(「ユーザー名を表示させる」(209ページ)参照)

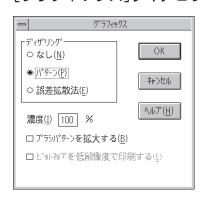
[フィニッシャ]ダイアログボックス

このダイアログボックスではフィニッシャ機能に関する設定を行います。(「フィニッシャ」(217ページ)参照)

[ハードディスク]ダイアログボックス

このダイアログボックスでは電子ソート機能の使用を設定します。(「電子ソート機能」(211ページ)参照)

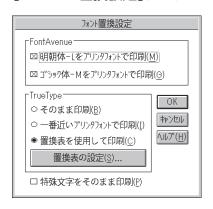
[レイアウト]ダイアログボックス

このダイアログボックスでは両面印刷機能および印刷位置調整機能に関する設定を行います。(「両面印刷」(205ページ)、「印刷位置の調整」(204ページ)参照)

[グラフィックス]ダイアログボックス

このダイアログボックスでは印刷解像度やグラフィックスデータに対するプリンターの処理の設定を行います。

- ディザリング
- 濃度
- ブラシパターン(解像度に合わせて印刷)
- ビットマップ(低解像度の印刷)

[ソータ]ダイアログボックス

このダイアログボックスではソータ機能に関する設定を行います。(「ソータ」(215ページ)参照)

[フォント置換設定]ダイアログボックス

このダイアログボックスではFontAvenueフォント、TrueTypeフォントをプリンターフォントに置き換えて印刷する設定を行います。

- TrueTypeフォントの印刷方法
- そのまま印刷
  TrueTypeフォントをプリンタフォントに置換せずそのまま印刷します。
- 特殊文字をそのまま印刷
  プリンタフォント置換時にIBM拡張文字(髙、﨑)などをそのままのイメージで印刷します。

[フォーム設定]ダイアログボックス

このダイアログボックスの設定はフォーム印刷を利用しているときに使用できます。フォームファイルを指定するためのダイアログボックスです。フォーム印刷とは見出し文字や罫線枠などのフォームデータを文書データと重ね合わせて印刷することです。フォームデータを作成するには別売のアプリケーションが必要です。

[補助機能]ダイアログボックス

このダイアログボックスでは、印刷時にプリンターの操作パネルの下段に表示する文字列を設定します。(「ユーザー名を表示させる」(209ページ)参照)

プリンタードライバー
～設定の詳細～

本章では、さまざまな機能を持つプリンタードライバーでも特に詳細な説明を必要とする印刷機能について説明します。

✔チェック

丁合機能を使って複数部数を部単位で印刷する場合は、ご使用のアプリケーションの丁合([部単位で印刷]など)のチェックを外して、[プリンタのプロパティ]ダイアログボックスの[出力制御]シートで丁合機能を選択してください。アプリケーションの丁合([部単位で印刷]など)のチェックを外さないで印刷を行った場合、下記の様な問題が発生することがあります。

- 両面印刷／複数ページ印刷
  部単位で分けられず、ページが連続して印刷される。
- オフセット排紙、合紙、フィニッシャが正常に作動しなくなる。

拡大・縮小印刷

この機能を使うと印刷データを任意のサイズに拡大・縮小して印刷することができます。この機能はWindows 98/95/NT 4.0でのみご利用になれます。拡大・縮小印刷を設定するには次の2つの方法があります。

- **出力用紙サイズを指定する：** アプリケーションであらかじめ設定されている論理上の用紙サイズに対して、原稿を実際に印刷する出力用紙サイズを設定することにより、印刷データの拡大・縮小を行います。印刷データは出力用紙サイズに合わせて自動的に拡大・縮小されます。操作パネルの[縮小]スイッチとほぼ同じ機能です。
- **拡大・縮小率を指定する：** 任意の倍率を指定することで、印刷データの拡大・縮小を行います。拡大・縮小率は10%〜400%の範囲で設定可能です。
  前述の「出力用紙サイズを指定する」と組み合わせると希望の出力用紙に任意の倍率で拡大・縮小して印刷データを出力することができます。

出力用紙サイズを指定する

この機能は[フォーム]シートでフォーム印刷を設定しているとき以外はいつでも有効で、両面印刷など他の印刷機能と組み合わせることができます。

ここでは、設定方法をWindows 98の場合について説明します。Windows 95、Windows 2000およびWindows NT 4.0は画面が少し異なりますが、設定方法は同じです。

1. **プロパティダイアログボックスの[用紙]シートを開く。**

2. **[用紙サイズ]のボックスからアプリケーションで設定した用紙サイズを選択する。**

選択できる用紙のサイズは次の26種類です。

A2、A3、A4、A5、B4、B5、Letter、帳票、はがき、封筒洋4、ユーザ定義*、A3→A4、A3→B4、A4→A3、A4→B4、A4→B5、A4×2→A4、B4→A3、B4→A4、B4→B5、B5→A4、B5→B4、B5×2→B5、LP→A4、LP→B4。

* ユーザ定義を選択した場合の設定方法については「定形外用紙サイズの設定」(207ページ)を参照してください。

Windows 2000/NT 4.0の場合は、お使いのコンピューターで使用できる用紙のサイズがすべて選択できますが、帳票はサポートしていません。

以下の用紙サイズを指定した場合は、[出力用紙サイズ]が固定となり[出力用紙サイズ]で指定する拡大・縮小印刷機能は使用できません。

A3→A4、A3→B4、A4→A3、A4→B4、A4→B5、A4×2→A4、B4→A3、B4→A4、B4→B5、B5→A4、B5→B4、B5×2→B5、LP→A4、LP→B4

3. [出力用紙サイズ]に任意の出力用紙サイズを設定する。

出力用紙サイズの設定方法には次の2通りがあります。

(a) [指定する]を選択する。
サポートするすべての用紙サイズに対して、共通の出力用紙サイズを割り付ける場合はこちらを選択してください。

(b) [割付に従う]を選択する。
既に設定してある用紙割り付けに従って出力用紙サイズを設定する場合はこちらを選択してください。

[用紙サイズ]と[出力用紙サイズ]に設定された用紙サイズに応じて、拡大・縮小のイメージが表示されます。

3-(a) [指定する]をクリックし、ボックスから任意の出力用紙サイズを選択する。

A3、A4、A5、B4、B5、Letter、はがき、封筒洋4、ユーザ定義から選択できます。

Windows 2000、NT 4.0の場合は、お使いのコンピューターで使用できる用紙サイズのうち、A3～はがきサイズの用紙が選択できます。

[給紙方法]にホッパー4、ホッパー5が設定されている場合はA4、B5、Letterのみ指定できます。

手順7に進んでください。

3-(b) [割付に従う]をクリックする。

現在、[用紙サイズ]で選択されている用紙サイズに割り付けてある出力用紙サイズが自動的に設定されます。

[給紙方法]にホッパー4、ホッパー5が設定されている場合はA4、B5、Letterのみ指定できます。

用紙割り付けの設定を変更したい場合は手順4に進んでください。
変更しない場合は手順7に進んでください。

4. [出力用紙の設定]ボタンをクリックする。

[出力用紙設定テーブル]ダイアログボックスが開き、現在設定されている用紙サイズと出力用紙サイズの割り付けの組み合わせが表示されます。

Windows 2000、NT 4.0の場合は、組み合わせの表示のみを行います。組み合わせを変更したいときは[プリンタの設定]シートの[出力用紙の設定]で行ってください。

Windows 2000、NT 4.0の場合は、[割付内容の表示]ボタンとなります。

5. [設定する出力用紙]のボックスから設定したい出力用紙サイズを選択する。

6. [OK]ボタンをクリックする。

[出力用紙設定テーブル]ダイアログボックスが閉じます。

7. [OK]ボタンをクリックする。

拡大・縮小率を指定する

この機能は次の場合を除いていつでも有効で、両面印刷など他の印刷機能と組み合わせることができます。

- [レイアウト]シートで複数ページ印刷を設定している
- [フォーム]シートでフォーム印刷を設定している
- [用紙サイズ]シートで以下の用紙サイズを設定している
  A3→A4、A3→B4、A4→A3、A4→B4、A4→B5、A4×2→A4、B4→A3、B4→A4、B4→B5、B5→A4、B5→B4、B5×2→B5、LP→A4、LP→B4

ここでは、Windows 98の場合について説明します。Windows 95、Windows 2000およびWindows NT 4.0は画面が少し異なりますが、設定方法は同じです。

1. **プロパティダイアログボックスの[用紙]シートを開く。**

2. **[拡大縮小率を指定する]をチェックし、右のボックスで拡大・縮小率を設定する。**

選択できる拡大・縮小率は10%～400%です。

拡大・縮小率は、[レイアウト]シートの[詳細設定]ダイアログボックスでも指定できます。(205ページ参照)

複数ページ印刷

この機能を使うと連続した複数ページの印刷データを1枚の用紙に縮小配置して印刷することができます。この機能はWindows 98/95/2000/NT 4.0でのみご利用になれます。

この機能は次の場合を除いていつでも有効で、両面印刷など他の印刷機能と組み合わせることができます。

- [用紙]シートや[レイアウト]シートから開いた[詳細設定]ダイアログボックスで拡大・縮小印刷を設定している
- [フォーム]シートでフォーム印刷を設定している
- [用紙サイズ]シートで以下の用紙サイズを設定している
  A3→A4、A3→B4、A4→A3、A4→B4、A4→B5、A4×2→A4、B4→A3、B4→A4、B4→B5、B5→A4、B5→B4、B5×2→B5、LP→A4、LP→B4

ここでは、Windows 98の場合について説明します。Windows 95、Windows 2000およびWindows NT 4.0は画面が少し異なりますが、設定方法は同じです。

1. **プロパティダイアログボックスの[レイアウト]シートを開く。**

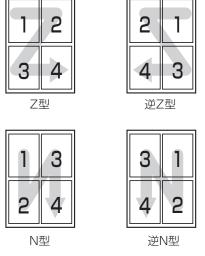
2. **[複数ページ印刷]の[ページ数]のボックスから縮小配置するページ数を選択する。**

選択できるページ数は次の3通りです。

- 1ページ→1ページ
- 2ページ→1ページ
- 4ページ→1ページ

3. **[複数ページ印刷]の[配置]のボックスから配置方法を選択する。**

選択できる配置パターンは次の通りです。

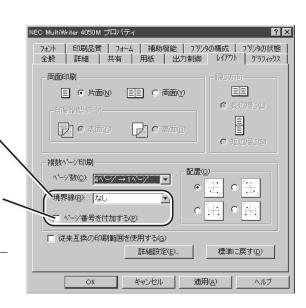
- 2ページ→1ページの場合は以下の2通り
  (左→右、右→左)
- 4ページ→1ページの場合は以下の4通り
  (Z型、逆Z型、 N型、逆N型)

[4ページ→1ページの場合]

4. 必要に応じて、[境界線]および[ページ番号を付加する]を選択する。

縮小配置した各ページ単位に境界線を入れたい場合は[境界線]のボックスから境界線の種類を選択します。次の5つの中から選択することができます。

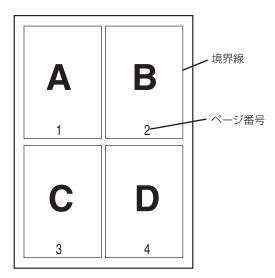
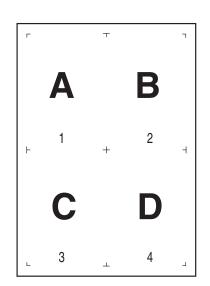
- なし　● 実線
- 破線　● 点線
- カットマーク

縮小配置した各ページにページ番号を付けたい場合は[ページ番号を付加する]のボックスをチェックします。

ページ番号は縮小配置された各ページの下部の中央に印刷されます。また、ページ番号は最小でも4ポイント相当のゴシック体で印刷されます。

5. [OK]ボタンをクリックする。

下図のように印刷されます。

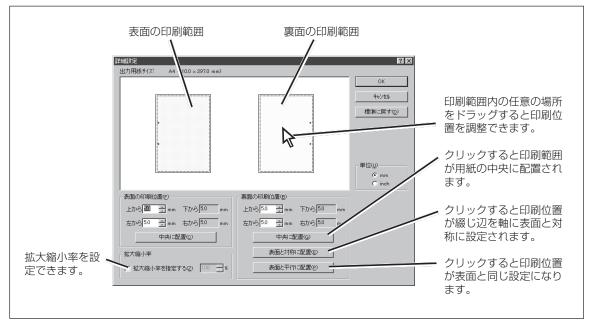
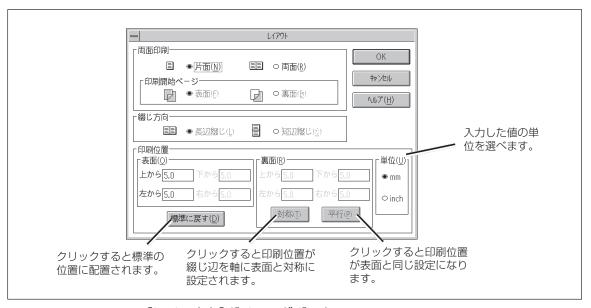
チェック

複数ページ印刷では縮小されて印刷されるため、印刷内容によっては見づらくなる場合があります。ドラフト印刷、カタログ印刷などに有効な機能です。

境界線(実線*)、ページ番号付加の場合

境界線(カットマーク)、ページ番号付加の場合

* 境界線は指定により、破線・点線に変わります。

印刷位置の調整

印刷開始位置を設定することにより余白を調整する機能です。（アプリケーションに余白調整機能がある場合はアプリケーション側で調整してください。通常はドライバで調整する必要はありません。）
両面印刷する場合でも表面・裏面、別々に印刷位置を調整することができます。以下は両面印刷するときのダイアログボックスの例です。

印刷位置は用紙上端と左端からの距離で設定します。下端、右端からの距離はそれに合わせて自動的に変化し、ボックスに表示されます。また、このダイアログボックスには印刷範囲のイメージが表示され、入力された数値に応じて範囲が変化します（Windows 3.1は除く）。さらにこの印刷範囲の境界線を直接マウスでドラッグし、「感覚的」に調整することもできます。

［レイアウト］シートの［詳細設定］ダイアログボックス　（Windows 98/95/2000/NT 4.0/NT 3.51）

［レイアウト］ダイアログボックス　（Windows 3.1）

両面印刷

A3、B4、A4、B5、A5、レターサイズの普通紙を選択しているとき、両面印刷できます。(A5サイズはトレイ(縦置き)で使用できます。)
厚紙、はがき、OHPフィルム、ラベル紙、定形外用紙が選択されている場合はできません。(両面印刷時の用紙の規格の詳細についてはユーザーズマニュアル[1/2]をご覧ください。)

用紙は指定しているものを使用してください。また、両面印刷で使用する用紙は両面とも印刷されていない用紙を使用してください。指定以外の用紙を使って印刷をしたり、すでに印刷されている用紙をセットして両面印刷をすると紙づまりやプリンターの故障の原因となります。

Windows環境での両面印刷設定

次の手順で両面印刷をします。

1. 綴じ方向、印刷開始ページを設定する。

Windows 98/95の場合、プロパティダイアログボックスの[レイアウト]シートで設定します。

Windows 2000の場合「印刷設定」ダイアログボックスの「レイアウト」シートで設定します。

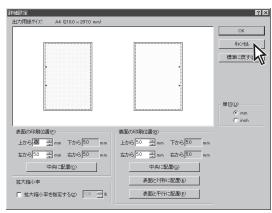
Windows NT 4.0/NT 3.51の場合、[ドキュメントプロパティ]ダイアログボックスの[レイアウト]シートで設定します。

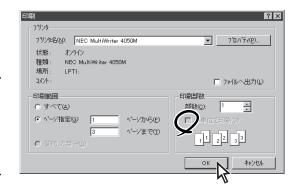
Windows 3.1の場合、[オプション]ダイアログボックスの[レイアウト]ダイアログボックスで設定します。

2. 余白を調整する必要がある場合、印刷位置を設定し、[OK]ボタンをクリックする。

Windows 98/95/2000/NT 4.0/NT 3.51の場合、[レイアウト]シートの[詳細設定]ボタンをクリックして[詳細設定]ダイアログボックスを開き、設定します。

Windows 3.1では、そのまま[レイアウト]ダイアログボックスで設定できます。

拡大縮小率を変更すると[用紙]シート内の設定値も変わります。

3. 印刷範囲、印刷部数を指定して[OK]ボタンをクリックする。

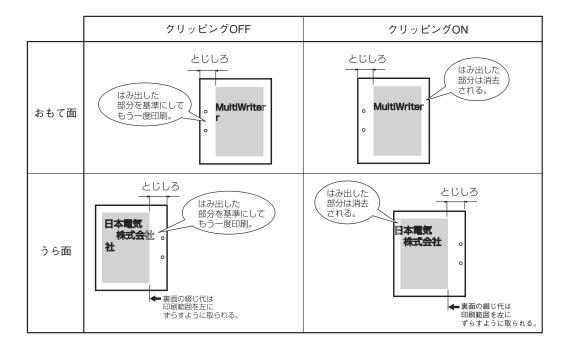
丁合い機能を使って複数部数印刷する場合は、ご使用のアプリケーションの丁合い([部単位で印刷]など)のチェックは外して、[プリンタのプロパティ]ダイアログボックスで丁合い機能を指定してください。

MS-DOS環境での両面印刷設定

MS-DOS環境ではメニューモードや操作パネルの両面スイッチを使って、両面印刷を設定します。

クリッピング機能について

とじしろ(とじ側の余白)を多く取り過ぎると、印刷データが下の図のように用紙の印刷範囲を超えてしまう場合があります。この場合に、印刷範囲からはみ出した文字を次の行に印刷するか、はみ出した分を消去してそのまま残りのデータを印刷するかを選択できます。これを「クリッピング機能」といいます。クリッピング機能はメニューモード(ユーザーズマニュアル[1/2]参照)で設定できます。

[クリップ]の設定をOFFにすると、印刷範囲からはみ出した部分を次のページに引き続いて印刷します。それ以降のデータは1ページずつずれることになります。(アプリケーションによっては、はみ出したデータを消去するものもあります。)

[クリップ]の設定をONにすると、はみ出した印刷データを消去して印刷を続けます。

定形外用紙サイズの設定

A3、B4、A4、B5、A5、レターサイズなど定形の用紙サイズとは異なる用紙サイズ（定形外用紙）に印刷することができます。使用できる定形外用紙の規格についてはユーザーズマニュアル［1/2］の「用紙の規格」を参照してください。

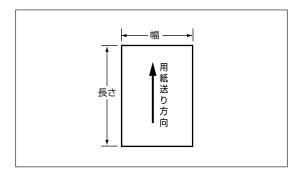
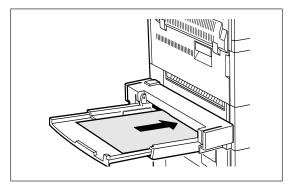
重要

定形外用紙に印刷するときの注意

- 定形外用紙はトレイからのみ給紙できます。
- 定形外用紙に両面印刷はできません。
- 長方形以外の不規則な形状の用紙、裁断角度が直角でない用紙は正常な給紙ができません。
- 紙質、繊維目方向、プレ印刷、ホールパンチ、ミシン目等により正常に印刷されない場合があります。
- 種類、繊維目方向によっては印刷後大きくカールするものがあります。
- アプリケーションソフトウエアで任意の用紙サイズを指定できても定形外用紙への印刷が行えないことがあります。
- 定形外用紙は定形用紙に比べて印刷できる用紙の厚さの範囲が狭くなります。事前に十分な試し印刷をして印刷動作を確認する事を強くお勧めします。
- 印刷された用紙が正常にスタックされない場合があります。この場合は排出されるたびに用紙を取り除いてください。
- ドライバ側で［ユーザ定義］に設定してあればプリンター側の設定は不要です。
- 定形外用紙はMS-DOSでは印刷できません。

定形外用紙サイズの設定(Windows 98/95/3.1/2000/NT 4.0/NT 3.51)

次の手順で定形外用紙に印刷します。Windows 98/95の例で説明します。

1. 用紙のサイズを確認する。

2. トレイに定形外用紙をセットする。

3. **プリンタのプロパティダイアログボックスの[用紙]シートを開き、[用紙サイズ]ボックスから[ユーザ定義サイズ]を選ぶ。**

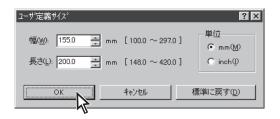
Windows 2000は[印刷設定]ダイアログボックスの[用紙シート]、Windows NT 4.0/NT 3.51は[ドキュメントプロパティ]ダイアログボックスの[用紙]シート、Windows 3.1では[印刷設定]ダイアログボックスで行ってください。

- ユーザ定義サイズを選ぶと給紙方法は[トレイ]に固定されます。
- 坪量が81.4g/m²(連量70kg)を超える用紙の場合[用紙の種類]ボックスで[厚紙]を指定してください。

[ユーザ定義サイズ]ダイアログボックスが開きます。

4. **手順1で確認した用紙の[幅]と[長さ]を入力し、[OK]ボタンをクリックする。**

設定できる範囲が入力ボックスの横に表示されています。

5. **通常どおり[印刷]ダイアログボックスで印刷範囲、印刷部数を指定して[OK]ボタンをクリックする。**

ユーザー名を表示させる

プリンターがデータを受信中・処理中・印刷中に、操作パネルのディスプレイ(下段)にユーザー名または任意の文字を表示する機能です。

インサツチュウ
NEC

Windows 98/95/NT 4.0/NT 3.51の場合は、[プリンタのプロパティ]ダイアログボックスの[補助機能]シートで、Windows 2000の場合は[印刷設定]ダイアログボックスの[補助機能]シートで、Windows 3.1の場合は[補助機能]ダイアログボックスで設定します。

[補助機能]シート(Windows 98/95)

[補助機能]シート(Windows 2000)

[補助機能]シート(Windows NT 4.0)

[補助機能]シート(Windows NT 3.51)

[補助機能]ダイアログボックス(Windows 3.1)

- なし　　ディスプレイには何も表示されません。
- ユーザ名　　ネットワーク上にログインしたときのユーザー名がディスプレイに表示されます。[ユーザ名]をチェックすると[表示文字列]テキストボックスでユーザー名が確認できます。
- 指定文字列　　[表示文字列]テキストボックスに入力された文字列(最高16文字)が表示されます。入力できる文字は右の英数カナ文字です。

<table>
<tr><td>スペース</td><td>!</td><td>#</td><td>$</td><td>%</td><td>&</td><td>‘</td><td>(</td><td>)</td><td>=</td></tr>
<tr><td>-</td><td>'</td><td>^</td><td>|</td><td>¦</td><td>@</td><td>{</td><td>[</td><td>+</td><td>;</td></tr>
<tr><td>*</td><td>:</td><td>}</td><td>]</td><td><</td><td>,</td><td>></td><td>.</td><td>?</td><td>/</td></tr>
<tr><td>_</td><td colspan="9"></td></tr>
<tr><td>0</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td><td>8</td><td>9</td></tr>
<tr><td>A</td><td>B</td><td>C</td><td>D</td><td>E</td><td>F</td><td>G</td><td>H</td><td>I</td><td>J</td></tr>
<tr><td>K</td><td>L</td><td>M</td><td>N</td><td>O</td><td>P</td><td>Q</td><td>R</td><td>S</td><td>T</td></tr>
<tr><td>U</td><td>V</td><td>W</td><td>X</td><td>Y</td><td>Z</td><td colspan="4"></td></tr>
<tr><td>a</td><td>b</td><td>c</td><td>d</td><td>e</td><td>f</td><td>g</td><td>h</td><td>i</td><td>j</td></tr>
<tr><td>k</td><td>l</td><td>m</td><td>n</td><td>o</td><td>p</td><td>q</td><td>r</td><td>s</td><td>t</td></tr>
<tr><td>u</td><td>v</td><td>w</td><td>x</td><td>y</td><td>z</td><td colspan="4"></td></tr>
<tr><td>ｱ</td><td>ｲ</td><td>ｳ</td><td>ｴ</td><td>ｵ</td><td>ｶ</td><td>ｷ</td><td>ｸ</td><td>ｹ</td><td>ｺ</td></tr>
<tr><td>ｻ</td><td>ｼ</td><td>ｽ</td><td>ｾ</td><td>ｿ</td><td>ﾀ</td><td>ﾁ</td><td>ﾂ</td><td>ﾃ</td><td>ﾄ</td></tr>
<tr><td>ﾅ</td><td>ﾆ</td><td>ﾇ</td><td>ﾈ</td><td>ﾉ</td><td>ﾊ</td><td>ﾋ</td><td>ﾌ</td><td>ﾍ</td><td>ﾎ</td></tr>
<tr><td>ﾏ</td><td>ﾐ</td><td>ﾑ</td><td>ﾒ</td><td>ﾓ</td><td>ﾔ</td><td>ﾕ</td><td>ﾖ</td><td>ﾗ</td><td>ﾘ</td></tr>
<tr><td>ﾙ</td><td>ﾚ</td><td>ﾛ</td><td>ﾜ</td><td>ｦ</td><td>ﾝ</td><td>ｧ</td><td>ｨ</td><td>ｩ</td><td>ｪ</td></tr>
<tr><td>ｫ</td><td>ｬ</td><td>ｭ</td><td>ｮ</td><td>ｯ</td><td>ﾞ</td><td>ﾟ</td><td>ｰ</td><td>｢</td><td>｣</td></tr>
<tr><td>､</td><td>｡</td><td>･</td><td colspan="7"></td></tr>
</table>

ディスプレイに表示可能な文字

出力の仕分けとフィニッシャ機能

出力時の仕分け機能として、丁合い、合紙、オフセット排紙、ソータの4つの機能があります。また、出力された用紙をまとめやすいようにステープル(ホチキスどめ)を行うフィニッシャ機能があります。ここではそれぞれの機能と、丁合い、合紙、オフセット排紙、フィニッシャの機能を組み合わせた場合の使い方について説明します。

丁合い機能

丁合いとは、ひとつの文書を複数部印刷する際に1部ごとにページを並べて出力する機能です。丁合いで印刷するには次の手順で行います。

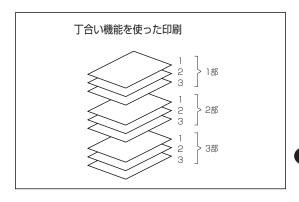
1. **プリンタのプロパティダイアログボックスの[出力制御]シートを開き、丁合い機能ボタンをクリックする。**

丁合機能ボタンはWindows 98/95/2000/NT 4.0のみで使用できます。

Windows 3.1/NT 3.51ではオプションの増設ハードディスクを取り付け、電子ソート機能をお使いください。

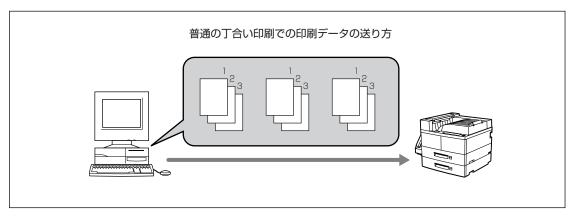
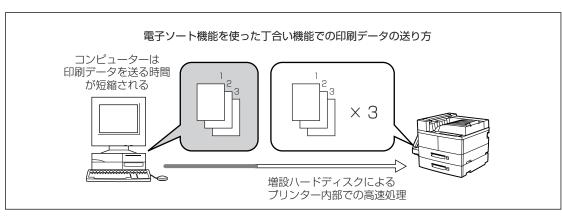
2. **[印刷]ダイアログボックスで印刷範囲、印刷部数を指定し、[部単位で印刷]をチェックしてある場合はチェックを外す。**

3. **[OK]ボタンをクリックする。**

たとえば3ページの文書を3部印刷した場合、右のように1部ごとにページが並んで出力されます。

電子ソート機能

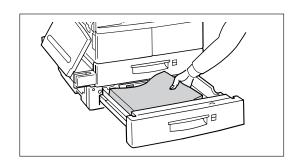
電子ソート機能は、丁合い機能を使った印刷を行う場合、コンピューターから1部分だけ印刷データを送り、残りの部数はプリンターで印刷処理を行う機能です。これにより、コンピューターはプリンターに印刷データを送る時間を短縮することができます。また2部目以降は本装置の最高速度で印刷でき、多部数印刷時の高速化が可能です。オプションの増設ハードディスクをプリンターに取り付けることにより実現できる機能です。

電子ソート機能を使用するには、[出力制御]シートを開き、丁合いボタンをクリックして[丁合い機能を使用する]と表示され、[電子ソート機能で実現する]がチェックされていることを確認します。

電子ソート機能は最大100ページまでの文書で使用できます。なお、100ページを越える印刷を指定した場合、部数指定にかかわらず1部しか印刷されません。

合紙

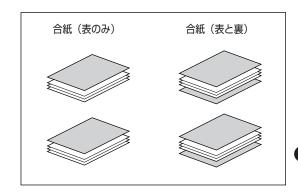
合紙（あいし）とは、文書（印刷ジョブ）をそれぞれ仕分けるために色のついた紙などを挟む機能です。合紙機能を使って印刷するには次の手順で行います。

- 合紙機能を使用する場合は、用紙サイズや用紙の給紙方向（横置き、縦置き）を揃えてホッパーやトレイにセットしてください。
- 丁合い機能の選択は[プリンタのプロパティ]ダイアログボックスで行ってください。アプリケーションによっては、印刷機能で丁合いの指定ができるものがありますが、これらの機能を使って丁合いを指定しても正しく機能しない場合があります。この機能を利用する場合はアプリケーションの丁合いは指定しないでください。
- 合紙に設定したホッパーは、通常の印刷ページ用としては使用できません。

1. トレイまたは任意のホッパー（増設ホッパーを含む）に色のついた用紙などをセットする。

2. メニューモードで合紙のホッパー（色のついた用紙をセットしたホッパー）を設定する。

メニューモードについてはユーザーズマニュアル[1/2]を参照してください。
合紙のホッパーの設定はリモートパネルでも行うことができます。

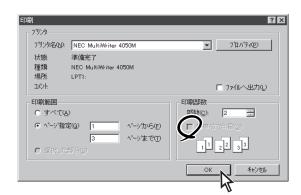
3. プリンタのプロパティダイアログボックスの[出力制御]シートを開き、[仕分け]で[合紙（表のみ）]または[合紙（表と裏）]を選ぶ。

［合紙（表のみ）］を選んだ場合は文書（印刷ジョブ）の表のみに、また［合紙（表と裏）］を選んだ場合は文書（印刷ジョブ）の表と裏に合紙を挿入することにより、仕分けします。

4. **［補助機能］シートを開いて、合紙の表に印刷する文字列を指定し、［OK］ボタンをクリックする。**

日付、時間、および操作パネルに表示する文字列と同じ文字列を合紙に印刷します。［なし］を選んだ場合は合紙には何も印刷されません。

5. **［印刷］ダイアログボックスで印刷範囲、印刷部数を指定し、［部単位で印刷］をチェックしてある場合はチェックを外す。**

6. **［OK］ボタンをクリックする。**

プリンタードライバー ～設定の詳細～

オフセット排紙

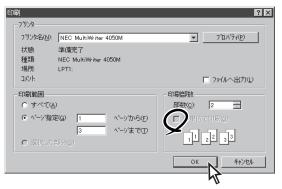
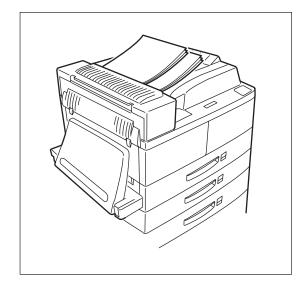
オフセット排紙は、印刷ジョブごとに用紙を左右にずらしてスタッカーに排出する機能です。

1. **[プリンタ]のプロパティダイアログボックスの[出力制御]シートを開き、[仕分け]で[オフセット排紙]を選択する。**

次の場合、オフセット排紙は使用できません。

- ソータ使用時
- 普通紙以外の用紙
- トレイからのA5サイズの用紙

2. **[印刷]ダイアログボックスで印刷範囲、印刷部数を指定して[OK]ボタンをクリックする。**

[印刷]ダイアログボックス上の[部単位で印刷]をチェックしてある場合、オフセット排紙が指定したとおりに動作しないことがあります。その場合は[部単位で印刷]のチェックを外して正しく動作するか確認してください。

印刷が始まり、給紙設定されている(プリンターのディスプレイに表示されている)ホッパ(またはトレイ)から用紙が給紙され、スタッカー上に排出されます。

ソータ

ソータ機能は、オプションのソータユニットを取り付けたときに使用できる機能で、ソータの各ビンの使い方を選択することができます。

チェック

- ソータ機能を使用できるのは給紙用紙として次の[用紙種類]および[用紙サイズ]が設定されているときのみです。それ以外の設定では警告メッセージが表示され、ソータ機能を使用することはできません。

  －用紙種類　　：普通紙
  －用紙サイズ　：A3／A4／A5(ホッパー1での横置き給紙のみ有効)／B4／B5／レター

- [ソータ]を選択すると、[排出方法]はフェイスダウン固定となり、ソータへはフェイスダウンで排出されます。
- ネットワークでプリンターを共有している場合に、ユーザー単位でソータの詳細設定を変更すると他のユーザーに迷惑がかかることがあります。使用方法は事前に管理者が取り決めておくことをお薦めします。

1. **[プリンタ]のプロパティダイアログボックスの[出力制御]シートを開き、[排出方法]の[ソータ]を選択し、[詳細設定]ボタンをクリックする。**

ソータへの排出時は、以下の機能は使用できません。

- 合紙
- [出力制御]シートでの丁合い設定
  (プリンタードライバーでの丁合い機能)

2. **ソータの[詳細設定]ダイアログボックスでソータ機能を選択し、[OK]ボタンをクリックする。**

ソータ機能には4種類あり、それぞれの機能は次のページのようになります。

ソータ機能

ソータモード	イメージ図*	機能の内容
スタックモード		文書を最下段のビン1から排出し、スタックする最大許容枚数（約100枚）に達したら、ビン2～10まで順次排出するビンを変更します。
コピーモード		複数部数の文書で、同一のページを同一のビンに排出します。 どのビンから排紙するかは、［ビン］ボックスでビン数を指定します。
ソートモード		複数部数の文書を、1部ずつ分けてビンに排出します。 どのビンから排紙するかは、［ビン］ボックスでビン数を指定します。
ビンセレクト		文書を指定したビンに排出します。 どのビンに排紙するかは、［ビン］ボックスでビン数を指定します。

* コピーモード、ソートモードでは3ページの文書を3部印刷した場合、ビンセレクトでは4ページの文書を2ビンに指定排紙した場合です。

フィニッシャ

フィニッシャは排紙される用紙に対してステープル(ホチキスどめ)を行う機能です。

1. 各OS別の方法に従い、[フィニッシャ]ボタンをクリックする。

Windows 98/95の場合、プロパティダイアログボックスの[出力制御]シートでフィニッシャの[詳細設定]ボタンをクリックします。

Windows 2000の場合、[印刷設定]ダイアログボックスの[出力制御]シートで設定します。

Windows NT 4.0/NT 3.51の場合、[ドキュメントプロパティ]ダイアログボックスの[出力制御]シートでフィニッシャの[詳細設定]ボタンをクリックします。

Windows 3.1の場合、[オプション]ダイアログボックスで[フィニッシャ]ボタンをクリックします。

- フィニッシャの機能を選ぶと、排出は自動的にフェイスダウンになります。
- ステープルは印刷ジョブ単位で最大50枚まで綴じることができます。複数の印刷ジョブをまとめて綴じることはできません。

2. [フィニッシャ]ダイアログボックスでフィニッシャモードを設定し、[OK]ボタンをクリックする。

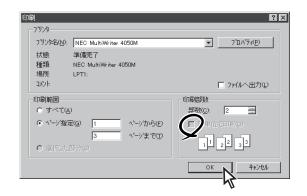
[フィニッシャ機能]と[綴じ方向]および[綴じ位置]の組み合わせによって出力結果が決まります。出力のイメージはそれぞれ次ページのようになります。

印刷の向き	綴じ方向	綴じ位置	出力イメージ
印刷の向き（縦）	長辺綴じ	左綴じ	なし／ステープル(コーナ1点)／ステープル(サイド2点)
		右綴じ	なし／ステープル(コーナ1点)／ステープル(サイド2点)
	短辺綴じ		なし／ステープル(コーナ1点)／ステープル(コーナ1点R)／ステープル(サイド2点)
印刷の向き（横）	長辺綴じ		なし／ステープル(コーナ1点)／ステープル(コーナ1点R)／ステープル(サイド2点)
	短辺綴じ	左綴じ	なし／ステープル(コーナ1点)／ステープル(サイド2点)
		右綴じ	なし／ステープル(コーナ1点R)／ステープル(サイド2点)

＊　この表の出力イメージはA4用紙を横置きにセットしたときのものです。

3. ［印刷］ダイアログボックスで印刷範囲、印刷部数を指定し、［OK］ボタンをクリックする。

ヒント

［印刷］ダイアログボックス上の［部単位で印刷］をチェックしてある場合、フィニッシャが指定したとおり動作しないことがあります。その場合は［部単位で印刷］のチェックを外して、正しく動作するかどうか確認してください。

チェック

- フィニッシャ機能を使用できるのは給紙用紙として次の［用紙種類］および［用紙サイズ］が設定されているときのみです。それ以外の設定では警告メッセージが表示され、フィニッシャ機能を使用することはできません。

  －用紙種類　：普通紙
  －用紙サイズ　：A3／A4／A5(ホッパー1での横置き給紙のみ有効)／B4／B5／レター

- フィニッシャ機能を利用する場合は、用紙サイズや用紙の給紙方向(横置き、縦置き)を揃えてホッパーやトレイに用紙をセットしてください。
- 長辺綴を行うには用紙を横置きに、短辺綴を行うには用紙を縦置きにセットしてください。
- ［フィニッシャ］ダイアログボックス内の設定は、［レイアウト］シート内の設定が反映されます。
- A3、B4サイズは短辺綴じのみ設定できます。
- ステープルを指定して異なる用紙サイズを含む文書を印刷すると、まとめてステープルされず、複数に分かれてしまいます。アプリケーションによっては、印刷する際に「印刷用紙の大きさにあわせて拡大／縮小」の指定を行うことにより、同一の用紙サイズへ印刷することができ、まとめてステープルすることが可能となります。

丁合い機能と仕分け・フィニッシャ機能の組み合わせ

ひとつの文書を2部以上印刷(コピー印刷)する場合、丁合い機能、合紙機能、オフセット排紙、フィニッシャ機能を組み合わせて使用することにより、仕分けが簡単になり、簡易製本も行えます。

✔チェック

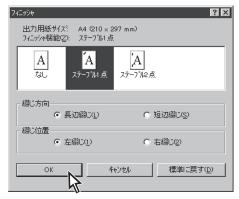
- 丁合い機能の選択は[プリンタのプロパティ]ダイアログボックスで行ってください。アプリケーションによっては、印刷機能で丁合いの指定ができるものがありますが、これらの機能を使って丁合いを指定しても正しく機能しない場合があります。この機能を利用する場合はアプリケーションの丁合いは指定しないでください。
- プリンターでの丁合い機能はWindows 3.1とWindows NT 3.51では、オプションの増設ハードディスクを取り付けることにより利用できます。

1. **合紙機能、オフセット排紙、フィニッシャ機能、それぞれに必要な準備をする。**

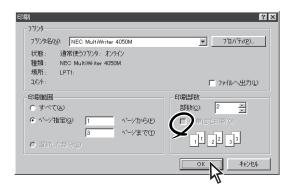
合紙機能については212ページを、オフセット排紙については214ページを、フィニッシャ機能については217ページを参照してください。

2. **[出力制御]シートを開いて[丁合い機能]ボタンをクリックする。**

増設ハードディスクが装着されている場合は、[電子ソート機能で実現する]をチェックすると、プリンター内部で丁合い機能を実現することができます。

3. **[仕分け]や[フィニッシャ]の設定を行い、[OK]ボタンをクリックする。**

4. **[印刷]ダイアログボックスで印刷範囲、印刷部数を指定して[OK]ボタンをクリックする。**

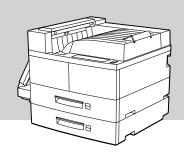
ヒント

[印刷]ダイアログボックス上の[部単位で印刷]をチェックしてある場合、オフセット排紙やフィニッシャが指定したとおり動作しないことがあります。その場合は[部単位で印刷]のチェックを外して、正しく動作するかどうか確認してください。

丁合い機能と仕分け・排紙機能の組み合わせの種類としては次のようなものがあり、それぞれ出力のイメージは以下のようになります。

丁合い、合紙、オフセット排紙、フィニッシャ機能の組み合わせ

丁合い	仕分け			排紙	出来上がりイメージ（3部印刷した場合）
	合紙／表のみ	合紙／表と裏	オフセット排紙	フィニッシャ*	
○	○	−	−	−	
○	−	○	−	−	
○	−	−	○	−	（左）（右）（左）
○	−	−	−	○	
○	○	−	−	○	
○	−	○	−	○	

＊　フィニッシャはサイド2点を例として挙げてあります。

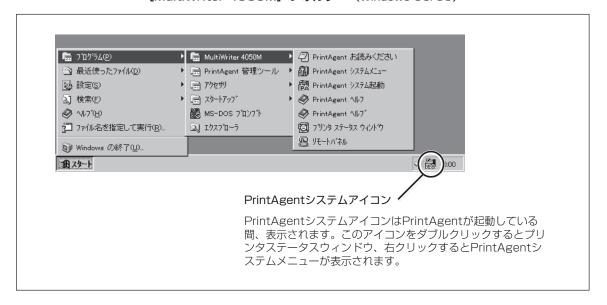
○：設定する　−：設定しない

PrintAgent

PrintAgentはプリンターでの印刷やプリンターの管理において、ローカルでもネットワークでも、さまざまな機能を提供するためのソフトウエアです。本章ではPrintAgentが提供する各機能の内容と設定方法、およびPrintAgentが正常に機能するための注意事項を説明します。

- PrintAgentは、Windows 98/95/2000/NT 4.0で使用することができます。
- PrintAgentを使用する場合は本プリンターのメモリスイッチ5-1を0(OFF)にしてください。

PrintAgentの構成

PrintAgentをインストールすると、[スタート]ボタンから表示される[プログラム]フォルダーの中に[MultiWriter 4050M]フォルダーおよび[PrintAgent 管理ツール]フォルダーが作成されます。PrintAgentはこれらのフォルダーの中にあるソフトウエアで構成されています。

[MultiWriter 4050M] フォルダー（Windows 98/95）

[MultiWriter 4050M]フォルダー

- PrintAgentお読みください .... PrintAgentについて知っておいていただきたいことが記されています。
- PrintAgentシステムメニュー .... PrintAgentを運用するうえでの基本的な環境を設定します。詳細は「PrintAgentシステムメニュー」(224ページ)をご覧ください。
- PrintAgentシステム起動 .... PrintAgentのシステムを起動させます。通常はOSが立ち上がると自動的に起動する設定になっています。
- PrintAgentヘルプ .... PrintAgentのヘルプを起動します。
- プリンタステータスウィンドウ .... 現在の印刷の進行状況やプリンターのエラーなどを画面と音声で通知するものです。詳細は「プリンタステータスウィンドウ」(229ページ)をご覧ください。
- リモートパネル .... Windows環境でプリンターの動作に関する設定を行うものです。管理者インストールでのみインストールできます。詳細は「リモートパネル」(238ページ)をご覧ください。

[PrintAgent 管理ツール］フォルダー（Windows 98/95）

[PrintAgent管理ツール] フォルダー

- プリンター覧 .... ネットワーク上でご利用になれるプリンターをツリー形式で表示します。これにより、各プリンターの使用状況が確認できます。
- プリンタ管理ユーティリティ .... プリンター管理者がプリンターを設定・管理するためのソフトウエアです。管理者インストールでのみインストールできます。詳細は「プリンタ管理ユーティリティ」(244ページ) をご覧ください。

PrintAgentシステムメニュー

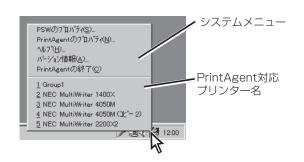
PrintAgentシステムメニューでは、PrintAgentを運用するうえでの基本的な環境を設定します。

PrintAgentシステムメニューを開く

PrintAgentシステムメニューは次の2通りの方法で見ることができます。

- [スタート]ボタンの[MultiWriter 4050M]グループの[PrintAgentシステムメニュー]をクリックする。

- [PrintAgentシステムアイコン]を右クリックする。

PrintAgent対応プリンター名(システムメニュー下段のグループ)はPrintAgentに対応しているプリンターの一覧を示しています。この中からひとつをクリックするとそのプリンターのプリンタステータスウィンドウが表示されます。

PrintAgentシステムメニューの機能

PrintAgentシステムメニューでは以下のような設定項目を選ぶことができます。

- PSWのプロパティを開く .... 「PSWのプロパティ」(次ページ)をご覧ください。
- PrintAgentのプロパティを開く .... 「PrintAgentのプロパティ」(226ページ)をご覧ください。
- ヘルプを開く .... PrintAgentのヘルプを起動します。
- バージョン情報を開く .... PrintAgentの[バージョン情報]ダイアログボックスを開きます。
- PrintAgentを終了する .... PrintAgentを終了します。

PSWのプロパティ

［PSWのプロパティ］ダイアログボックスはプリンタステータスウィンドウをいつ自動起動（表示）させるかを設定します。

［設定範囲］

設定を適用する範囲をボックスから選びます。

- **自分のドキュメントを印刷中**

  自分が印刷を行うときのPSWの自動起動に関して設定します。

- **自分のドキュメントを印刷していないとき**

  自分が印刷を行っていないとき（ネットワーク上でプリンターを共有しているときに他の人が印刷を行った場合を含む）のPSWの自動起動に関して設定します。

［印刷中にウィンドウを自動起動する］

印刷を開始すると自動的にPSWを表示し、印刷が終了すると自動的にウィンドウを閉じます。

［印刷中にアイコンで自動起動する］

印刷を開始すると自動的にPSWのアイコンをタスクバー上に表示します。印刷が終了すると自動的にPSWアイコンは消えます。必要に応じてウィンドウとして表示することができます。また、［エラー発生時にウィンドウ化］をチェックすると、印刷中にエラーが発生したとき、自動的にウィンドウが表示されます。

［エラー発生時にウィンドウを自動起動する］

なんらかの対処をしなければ印刷を継続できないエラーが発生した場合に自動的にPSWを表示します。エラー状態が解除されると自動的にウィンドウは閉じます。

［自動起動を行わない］

印刷時の自動起動を行いません。

PrintAgentのプロパティ

[PrintAgentのプロパティ]ダイアログボックスでは、おもに共有プリンターについて、リプリント機能についての項目を設定します。

[システムを自動的に起動する]

Windowsの起動時にPrintAgentシステムが自動的に起動します。設定した内容は、次回のWindows起動時またはログオン時から有効となります。

[共有プリンタを利用する]

他のコンピューターがネットワーク共有プリンターとして提供しているMultiWriter 4050Mに対してPrintAgentの機能(プリンタステータスウィンドウ、リモートパネル)を利用できるようになります。この設定は、PrintAgent機能の利用のみを設定するもので、チェックされていなくても印刷はできます。

この機能を利用するには、プリントサーバー側のPrintAgentのプロパティで[共有プリンタを提供する]がチェックされている必要があります。

[共有プリンタを提供する]

お使いのコンピューターに接続されているMultiWriter 4050Mを共有プリンターとして他のコンピューターに対して提供する場合に、他のコンピューターからPrintAgentの機能(プリンタステータスウィンドウ、リモートパネル)を利用できるようにします。

この設定は、PrintAgentの機能の利用のみを設定するもので、チェックされていなくてもクライアントから共有プリンターに印刷することはできます。また共有プリンターを提供するコンピューターがWindowsのログオン画面表示中(ユーザーがログオンしていない間)であっても他のコンピューターからPrintAgent機能は利用可能です。

- Windows 2000/NT 4.0では、本項目はAdministrator権限をもっている方のみ設定を変更できます。
- [共有プリンタを利用する]、[共有プリンタを提供する]の設定は、通常はチェックされたままで支障ありませんが、次の場合はチェックしないことをお勧めします。
  - ネットワークの回線速度が遅い

    低速回線を経由する共有プリンターに対して、PrintAgentを使用すると、通信速度の関係でPSWなどの操作がしにくかったり、状態の表示が遅れたりすることがあります。
  - コンピューターの処理能力が十分でない

    コンピューターの性能があまり高くない場合、PrintAgentのご利用により、他の作業の処理速度に影響する可能性があります。この設定を外してもローカルに接続しているプリンターでは、引き続きPrintAgentがご利用になれます。
  - 課金されるネットワークを使用している

    プリントサーバーとクライアントが電話回線やルーターなどを介して通信する場合、PrintAgentは共有プリンターを利用する時に印刷を行わなくても通信を行うため、予想以上に課金されることがあります。ただし、PrintAgentのプロパティで共有プリンターを利用・提供しない設定になっている場合は問題ありません。

[リプリント機能を提供する]

チェックすると、一度印刷したデータをコンピューター上に保管(スプール)することができます。いったんスプールされたデータはアプリケーションを起動することなくPSWのダイアログボックスからリプリント(再出力)できるようになります。(235ページ参照)

[リプリント機能の設定]ボタン

クリックすることにより、[リプリント機能の設定]ダイアログボックスが表示されます。(次ページ参照)

[LANボード使用時のPSW表示]

LANボード使用時にいつまでPSWを表示させるか設定します。LANボードを使用してネットワーク接続された共有プリンターに対して[印刷ログ出力機能]を利用したい場合は[印刷終了まで表示]に設定します(「印刷ログの記録」(258ページ)参照)。

Windows 2000/NT環境でのリプリントとLANボードの設定を変更するためにはAdministratorの権限が必要です。

[リプリント機能の設定]ダイアログボックス

スプールファイル(リプリントのために保存されるドキュメント)に関する設定を行うダイアログボックスです。

スプールファイルの制限方法

スプールファイルを保存しておくための制限を設定します。以下の制限条件のいずれかから外れた場合は、スプールしてあるドキュメントの中から古い順にファイルを消去します。

- **ドキュメント数**

  スプールする最大ドキュメント数を限定します。1〜100個の範囲で設定できます。

- **有効期限**

  スプールしておく時間を設定します。1〜120時間の範囲で設定できます。

- **ディスク領域**

  スプールに使う最大ディスク領域を設定します。指定するディスクの空き容量の50%を上限としてMB単位で設定できます。

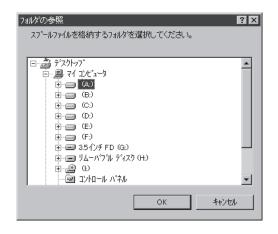
[空にする]ボタン

スプールしてあるドキュメントをすべて削除します。

[変更]ボタン

スプールするファイルを保存するフォルダーを変更します。空き容量が不足した場合には、ボタンをクリックし、右の[フォルダの参照]ダイアログボックスで、スプールするフォルダーを変更します。

重要

ネットワークで接続されたフォルダーやリムーバブルディスクはスプールするフォルダーとして指定できません。

プリンタステータスウィンドウ(PSW)

プリンタステータスウィンドウ(PSW)は現在の印刷の進行状況やプリンターの状態(カバーが開いている、用紙切れなど)を画面と音声によるメッセージで通知します。また、印刷の一時停止や中止などの指示もこのウィンドウから行うことができます。

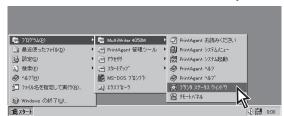
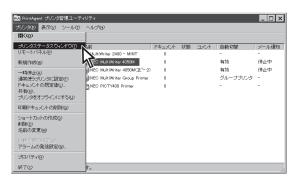
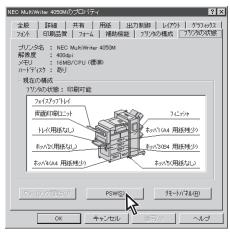
プリンタステータスウィンドウを起動する

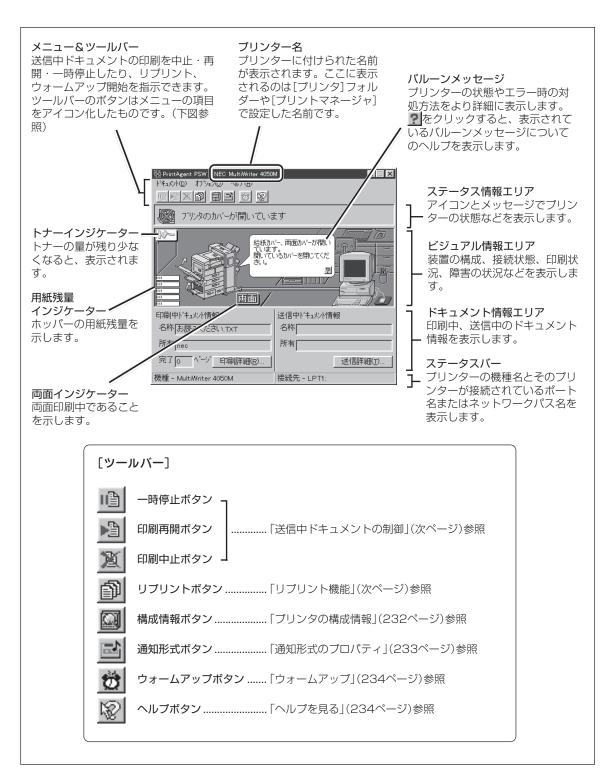
PrintAgentでは、プリンターが印刷を開始したり、印刷中にエラーが発生するとプリンタステータスウィンドウが自動的に起動しますが、次の4通りの方法で起動することもできます。

- PrintAgentシステムアイコンをダブルクリックする。

- [スタート]ボタンから[MultiWriter 4050M]グループの[プリンタステータスウィンドウ]をクリックする。

- [プリンタ管理ユーティリティ]の[プリンタステータスウィンドウ]ボタンや、[プリンタ一覧]のメニューの[プリンタステータスウィンドウ]をクリックする。(「プリンタ管理ユーティリティを起動する」(244ページ)参照)

- プリンタードライバーのプロパティシート[プリンタの状態]の[PSW]ボタンをクリックする。

プリンタステータスウィンドウの機能

プリンタステータスウィンドウが起動されると、下のようなウィンドウが表示されます。

送信中ドキュメントの制御

［送信中ドキュメント情報］に表示されているドキュメントを一時停止、再開、中止する機能です。

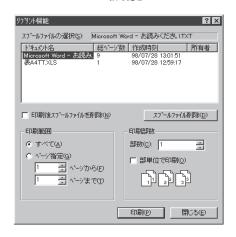
 印刷を一時停止します。

 印刷を再開します。

 印刷を中止します。

チェック

- Windows 2000/NTではセキュリティーにより、［一時停止］、［印刷再開］は実行できません。また、ネットワーク上のWindows 98/95クライアントにもこの機能は実行できません。
- 複数のドキュメントがプリンターに送られているとき、印刷中のドキュメントの一時停止を行っても、プリンターは次の印刷待ちドキュメントを処理しません。印刷を再開させるためには、一時停止したドキュメントを［印刷再開］または［印刷中止］してください。

リプリント機能

リプリント機能は直前に印刷されたデータを、アプリケーションからの印刷を再度実行しなくてもPSWのダイアログボックスを使って再出力できる機能です。リプリント機能を利用した出力の方法については、「リプリントの実行」(235ページ)をご覧ください。

［スプールファイルの選択］

リプリントを行うドキュメントを選びます。

［印刷後スプールファイルを削除］

リプリントを行った後に、プライベートスプールしてあるドキュメントを削除します。プライベートスプールしてあるドキュメントとは、リプリントのために保存されたドキュメントのことです。

［スプールファイル削除］ボタン

クリックすると［スプールファイルの選択］で選択したドキュメントを削除します。

［印刷範囲］

［スプールファイルの選択］で選択されたドキュメントの印刷範囲を指定します。

［部数］ボタン

印刷時の部数（コピー枚数）を指定することができます（1〜99枚まで設定可能）。

[部単位で印刷]ボタン

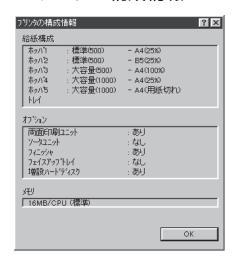
印刷時の部数を複数枚指定した場合、部単位で印刷(丁合い印刷)するかどうかについて指定します。

[印刷]ボタン

クリックするとリプリントを実行します。

[閉じる]ボタン

クリックするとリプリントを実行せずに、[リプリント機能]ダイアログボックスを閉じます。

プリンタの構成情報

プリンターの構成情報(給紙構成、オプション、メモリ)を確認するダイアログボックスです。

チェック

- プリンターとコンピューターで双方向通信が行われていないときは[プリンタのプロパティ]ダイアログボックス(Windows 98/95またはWindows 2000/NT 4.0の場合)の[プリンタの構成]の内容が表示されます。
- プリンターとコンピューターで双方向通信が行われていないときと、プリンターの接続先がFILEに設定されている場合は、ホッパー名とホッパーの種類のみが表示され、給紙構成の用紙サイズは表示されません。

通知形式のプロパティ

PSWの通知形式として必要とする情報だけを選択することにより、ウィンドウをコンパクトにすることができます。

［表示内容］

ウィンドウに表示する内容を次の項目で選択します。

- ツールバー
- ビジュアル情報
- ドキュメント情報
- ステータスバー

［音声メッセージ］

音声メッセージの利用方法を切り替えます。

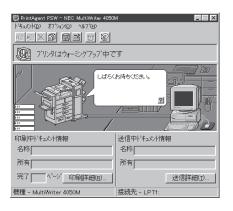
- すべて通知
- エラー時のみ通知
- 利用しない

チェック

- 音声メッセージは、自分のドキュメントの印刷中にはPSWが表示されていない場合でもPrintAgentが起動していれば通知されます。必要ない場合は［音声メッセージ］で［利用しない］を選択してください。
- 音声メッセージは、自分のドキュメントを印刷していないときの通知に関しては、PSWのプロパティの設定内容により変わります。詳細については［PSWのプロパティ］（225ページ）をご覧ください。
- 連続して印刷を行っている場合、印刷開始のメッセージは最初のデータの印刷処理が開始されたときだけ通知されます。同様に印刷終了のメッセージは最後のデータが処理終了したときだけ通知されます。

［ウィンドウを常に手前に表示］

これをチェックしておくと一番手前にPSWが表示され続けるので、プリンターの状態を常に確認できます。

ウォームアップ

通常、プリンターはデータ受信とともにウォームアップを開始しますが、印刷前の節電状態のときにあらかじめウォームアップを開始させておくと印刷までの時間が早くなります。

節電状態のプリンターをウォームアップさせるには、ウォームアップボタンをクリックするか、[オプション]メニューの[ウォームアップ開始]を選びます。

ヒント

節電機能のON/OFFと節電状態に入るまでの時間はリモートパネルまたはプリンターのメニューモードで設定できます。

ヘルプを見る

ヘルプは次の2通りの方法で見ることができます。

[?]ポインタ

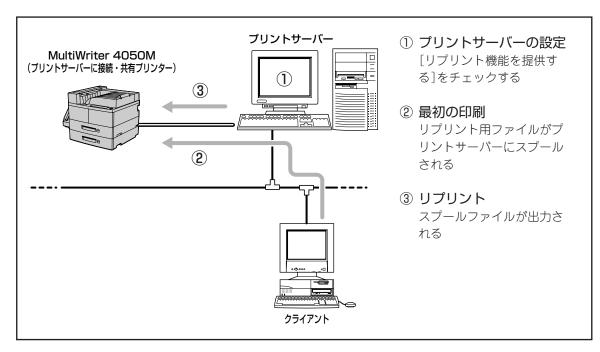
- [?]ボタンをクリックし、そのままポインタを移動させウィンドウ内の各部分をクリックする。

- [ヘルプ]メニューの[目次]をクリックし[トピックの検索]を表示させる。

リプリントの実行

リプリント機能を利用すると、アプリケーションから再び印刷を実行することなく、一度印刷したデータをPSWのダイアログボックスから直接再出力（リプリント）できるようになります。

リプリントを行うためには、使用しているコンピューターにPrintAgentおよびプリンタードライバーがインストールされていて、プリンターとの間で双方向通信が行われていることが必要です。ローカル接続、ネットワーク接続のどちらでも機能します。

以下はプリントサーバーに接続されているMultiWriter 4050Mを使ってWindows 98/95のクライアントからリプリントを実行する場合の例です。

① プリントサーバーの設定

ローカル接続されているコンピューターまたはプリントサーバーのPrintAgentのシステムメニューからPrintAgentのプロパティを開き、[リプリント機能を提供する]をチェックする。

プリントサーバーがWindows 2000/NT 4.0の場合、Administratorの権限がないと、この設定は変更できません。

② 印刷

1. リプリント機能を利用するコンピューターのプロパティダイアログボックスから[出力制御]シートを開き、[リプリント機能を使用する]をチェックし、[OK]ボタンをクリックする。

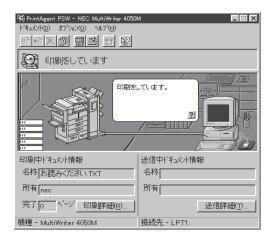
Windows 2000の場合は[印刷設定]ダイアログボックスの[出力制御]シート、Windows NT4.0の場合は[ドキュメントプロパティ]ダイアログボックスの[出力制御]シートで行ってください。

2. アプリケーションでドキュメントを印刷する。

同時にリプリント用文書データがローカル接続されているコンピューターまたはプリントサーバーに保管(スプール)されます。

✔チェック

ネットワーク環境ではスプールファイルはプリントサーバー、あるいはMultiWriter 4050Mを共有プリンターとして他のクライアントに提供しているコンピューターに保管されます。

スプールされたファイルは[リプリント機能の設定]ダイアログボックスで設定された制限に従って古いものから消去されます。(詳細は228ページ参照)

③ リプリント

1. PSWの[リプリント機能]ダイアログボックスを開き、リプリントしたいドキュメントを選ぶ。

2. **再印刷する印刷範囲、印刷部数、丁合いを設定し、[印刷]ボタンをクリックする。**

リプリント(再出力)が行われます。

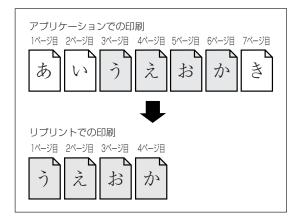
✔チェック

- リプリント時の各設定について

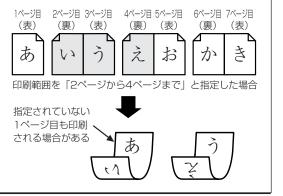
  リプリントされるページは最初に印刷したときのプロパティダイアログボックスの設定(たとえば給紙方法やオフセット排紙の設定、両面印刷の設定など)をそのまま使って印刷されます。ただし、部数、部単位で印刷するかの設定は、[リプリント機能]ダイアログボックスで設定します。

- リプリント時のページ指定について

  – リプリント機能で印刷できるページは最初にアプリケーションで実際に印刷したページのみです。たとえば10ページある文書の中から2～3ページを印刷した場合、1、4～10ページをリプリントすることはできません。

  – リプリント機能で印刷するページを指定する場合、最初にアプリケーションで印刷したときの開始ページが「1ページ目」として設定されます。たとえば右の図のように、文書の3～6ページを印刷して、リプリント機能で3ページのみを印刷するときのページ指定は「1」です。また、文書の4、5ページをリプリント印刷するときの開始ページは「2」、終了ページは「3」です。

- 両面印刷でのリプリントについて

  両面印刷を使ってリプリントを実行すると印刷データの印刷範囲に奇数ページが指定されたとき、指定ページ以外のページ数が印刷されることがあります。

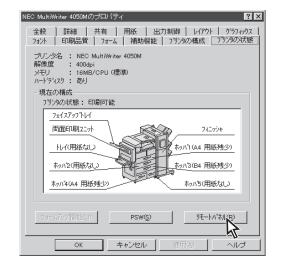
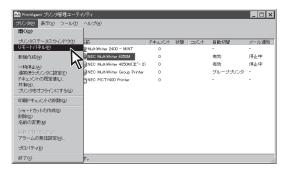
  例えば1～5ページある印刷データで、2～4ページの印刷範囲を指定した場合、1枚目は1ページと2ページが印刷され、2枚目は3ページと4ページが印刷される場合があります。

リモートパネル

リモートパネルはWindows環境でプリンターの動作に関する設定を行うソフトウエアです。通常、MS-DOSアプリケーションの印刷に対してプリンターの設定を変更したい場合はメニューモードを使いますが、Windows環境から「MS-DOSプロンプト」や「DOS互換ボックス」を使ってMS-DOSアプリケーションを使っている場合、リモートパネルを使えばそのままWindowsの画面上で項目の設定ができます。リモートパネルのインストールは管理者用のインストールで選択することができます。

リモートパネルを起動する

リモートパネルは次の3通りの起動方法があります。

- ［スタート］ボタンから［MultiWriter 4050M］フォルダーの［リモートパネル］をクリックする。

- プリンタのプロパティダイアログボックス内の［プリンタの状態］シートにある［リモートパネル］ボタンをクリックする。

- 「プリンタ管理ユーティリティ」(244ページ参照)を開き、左側のボックスから［利用可能なプリンタ］を選ぶ。右側のボックスから対象のプリンターを右クリックするか、［プリンタ］メニューの［リモートパネル］をクリックする。

リモートパネルの機能

リモートパネルでは下のようなウィンドウが表示されます。

設定読み込みボタン
プリンターの設定内容を読み込みます。

設定書き込みボタン
プリンターに設定内容を書き込みます。

初期化ボタン
設定値を工場出荷時の設定に戻します。

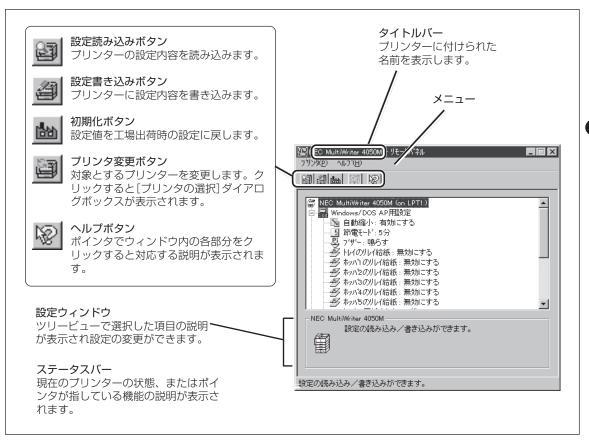
プリンタ変更ボタン
対象とするプリンターを変更します。クリックすると[プリンタの選択]ダイアログボックスが表示されます。

ヘルプボタン
ポインタでウィンドウ内の各部分をクリックすると対応する説明が表示されます。

タイトルバー
プリンターに付けられた名前を表示します。

メニュー

設定ウィンドウ
ツリービューで選択した項目の説明が表示され設定の変更ができます。

ステータスバー
現在のプリンターの状態、またはポインタが指している機能の説明が表示されます。

リモートパネルでの設定変更のしかた

リモートパネルを使った設定変更は以下の手順で行います。

1. 設定を変えたいプリンターかどうか確認する。

タイトルバーのプリンタ名で確認してください。もし希望のプリンターでない場合は[プリンタの変更]ボタンをクリックするか[プリンタ]メニューから[プリンタの変更]を選んで変更します。

2. ツリービューから変更したい設定項目をクリックし、設定ウィンドウで設定を変更する。

ツリービューの項目をクリックすると反転表示し、同時に設定ウィンドウにその項目の設定が表示されます。

もし設定項目が表示されない、見つからない場合は[設定読み込み]ボタンをクリックするか[プリンタ]メニューから[設定の読み込み]を選びます。それでも表示されない場合はプリンターとコンピューターが双方向通信していない可能性があります。160、168、178ページを参照して設定を確認してください。

項目によっては設定ウィンドウにあるボタンによってさらにダイアログボックスを開くものもあります。この場合は、設定を変更したあと[OK]ボタンをクリックします。

3. 変更した設定内容をプリンターに書き込む。

[設定書き込み]ボタンをクリックするか[プリンタ]メニューから[設定の書き込み]を選びます。

4. [プリンタ]メニューから[終了]を選び、リモートパネルを終了する。

これでリモートパネルの設定変更は終了です。

変更した設定内容が書き込まれていないと右のようなダイアログボックスが表示されます。
該当するボタンをクリックしてください。

リモートパネル設定項目一覧

リモートパネルで設定できる項目の一覧を以下に示します。

リモートパネル設定項目一覧(1/3)

設定項目	設定*1	MS-DOS AP	Windows AP
自動縮小	**有効にする**／無効にする	○	○
節電モード	無効／5／**10**／30／60／90分	○	○
ブザー	**鳴らす**／鳴らさない	○	○
トレイのリレイ給紙*2	有効にする／**無効にする**	○	○
ホッパ1のリレイ給紙	有効にする／**無効にする**	○	○
ホッパ2のリレイ給紙	有効にする／**無効にする**	○	○
ホッパ3のリレイ給紙*3	有効にする／**無効にする**	○	○
ホッパ4のリレイ給紙*3	有効にする／**無効にする**	○	○
ホッパ5のリレイ給紙*3	有効にする／**無効にする**	○	○
トレイの用紙サイズ*2	● レター縦 ● レター横 ● A3縦 ● **A4縦** ● A4横 ● A5縦 ● B4縦 ● B5縦 ● B5横 ● はがき	○	○
トレイの用紙種類*2	● **普通紙** ● 厚紙 ● OHP ● ラベル紙 ● 穴あき紙	○	○
半角ゼロのスラッシュ	付ける／**付けない**	○	○
全角ゼロのスラッシュ	付ける／**付けない**	○	○
国別文字セット	● **日本** ● アメリカ ● イギリス ● ドイツ ● スウェーデン	○	○
メモリ割り当て*4	● **標準** ● 受信バッファ優先 ● 文字キャッシュ優先 ● フォームエリア優先	○	○
HDD（オプション） 電子ソート機能*5	有効にする／**無効にする**	×	○
ホッパの合紙指定	● **無効** ● ホッパ1～5*3,トレイ*6	×	○

*1 太字の項目が初期設定です。
*2 オプションの封筒フィーダを装着したときはこの項目は表示されません。
*3 それぞれオプションの増設ホッパを装着したときのみ表示されます。
*4 オプションの増設メモリーを装着したときのみ設定できます。
*5 オプションの増設ハードディスクを装着したときのみ表示されます。
*6 オプションの封筒フィーダを装着したときはトレイは表示されません。

リモートパネル設定項目一覧(2/3)

設定項目		設定*1	MS-DOS AP	Windows AP
給紙方法		● **ホッパ1** ● ホッパ2 ● ホッパ3*2 ● ホッパ4*2 ● ホッパ5*2 ● トレイ*3	○	×
オフセット排紙		有効にする/**無効にする**	○	×
印刷部数		**1** ～ 99枚	○	×
印刷方向		● **ポートレート** ● ランドスケープ	○	×
排出方法		● **フェイスダウン** ● フェイスアップ*4 ● ソータ*4 ● フィニッシャ*4	○	×
用紙の高度な設定	エミュレーションの設定	● ページプリンタ(NPDL) ● **201PLエミュレーション**	○	×
	201PLエミュレーション時の設定 DC1, DC3コード グラフィックモード 8/7ビットデータ	**有効にする**/無効にする **ネイティブ**/コピー **8ビット**/7ビット	○	×
	印刷位置調整	● **レフトマージン初期設定** ● 136桁モード	○	×
	レフトマージン初期設定 レフトマージン量	**0** ～ 15/10インチ		
	136桁モード*5 印刷位置基準 印刷位置調整方向 印刷位置調整量	**左端合わせ**/中央合わせ **左へ移動**/右へ移動 **0** ～ 15/10インチ	○	×
	A4ポートレート桁数	● **78桁** ● 80桁	○	×
フォント	半角フォント	● **標準** ● イタリック ● クーリエ ● ゴシック	○	×
	全角フォント	● **明朝** ● ゴシック	○	×
	文字セット	● **JIS1978** ● JIS1983 ● JIS1990	○	×
印刷品質	解像度指定	● **600dpi/400dpi切り替え** ● 400dpi固定	○	×
	SET機能	**有効にする**/無効にする	○	×
	トナー節約モードで使用する	有効にする/**無効にする**	○	×

*1 太字の項目が初期設定です。
*2 オプションの増設ホッパを装着したときのみ設定が可能です。
*3 オプションの封筒フィーダを装着したときは“フウトウ”という表示に変わります。
*4 オプション装着時に表示されます。オプションが装着されていないときはこの設定項目は表示されません。
*5 201PLエミュレーションが設定されているときのみ設定が可能です。

リモートパネル設定項目一覧(3/3)

設定項目		設定*1	MS-DOS AP	Windows AP
動作環境	メモリオーバ時の動作	● **印刷停止** ● 解像度を落として印刷	○	×
	自動排出時間	● **無効** ● 5秒 ● 15秒 ● 30秒	○	×
両面印刷*2	両面印刷	する／**しない**	○	×
	とじしろ とじしろ付加サイズ クリップ機能	● **長辺とじ1** ● 長辺とじ2 ● 短辺とじ1 ● 短辺とじ2 **0** 〜 20ミリ **利用する**／利用しない	○	×
その他	ESC c 1（リセット）コードで登録データを消す	**消す**／消さない	○	×
	FFコードでの白紙出力	**出力する**／出力しない	○	×
	自動復帰改行	● **復帰改行** ● 復帰のみ	○	×
	印刷開始コード	● **CRコードのみ** ● CRコードやその他のコード	○	×
	CRコードの機能	● **復帰のみ** ● 復帰改行	○	×
フィニッシャ（オプション）*3 スタックフルのエラー表示		表示する／**表示しない**	○	×
ソータ（オプション）*4 ソータモード スタックフルのエラー表示		● **ソートモード** ● コピーモード ● スタックモード ● ジョブセパレート 表示する／**表示しない**	○	×

*1 太字の項目が初期設定です。
*2 オプションの両面印刷ユニットを装着したときのみ表示されます。
*3 オプションのフィニッシャを装着したときのみ表示されます。
*4 オプションのソータユニットを装着したときのみ表示されます。

プリンタ管理ユーティリティ

「プリンタ管理ユーティリティ」は管理者としてソフトウエアをインストールした方のみ利用できるユーティリティです。このユーティリティは、ローカル接続も含めネットワーク内に接続されているプリンターなら、管理者が実際に使用していなくてもそのプリンターを設定・管理することができます。

プリンタ管理ユーティリティを起動する

プリンタ管理ユーティリティは、次の手順で起動します。

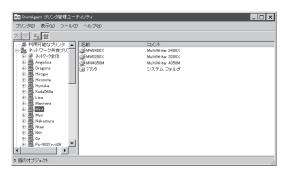
1. [スタート]ボタンをクリックし、[プログラム]、[PrintAgent管理ツール]をポイントする。次に[プリンタ管理ユーティリティ]をクリックする。

2. パスワードを入力する。

管理者用インストールで設定したパスワードを入力し、[OK]ボタンをクリックします。

パスワードを設定していない場合は表示されません。

プリンタ管理ユーティリティが起動します。

チェック

- LANボードまたはLANアダプターにも「PrintAgent管理ユーティリティ」が添付されていますが、プリンターソフトウエアCD-ROMからインストールされる「プリンタ管理ユーティリティ」をお使いください。
- 各メニューのコマンドをポイントするとステータスバーに簡単な説明が表示されます(詳細な説明が必要な場合はヘルプをご覧ください)。これらのコマンドを使ってプリンターの管理機能を実行する場合は次のページの「プリンタ管理ユーティリティの機能」をご覧ください。
- プリンターの接続形態として[NECプリントサーバ]を選んだ場合のネットワークの設定に関してはLANボードまたはLANアダプターに添付の「PrintAgent プリンタ管理ユーティリティ取扱説明書」をご覧ください。
- [メール通知の設定]と[グループプリンターの作成]は、使用しているコンピューターで[利用可能なプリンタ]としてインストールされたプリンターに対して設定できます。ネットワーク共有プリンターには設定できません。

プリンタ管理ユーティリティの機能

プリンタ管理ユーティリティでは下のようなウィンドウが表示されます。

メニューバー
リストビューでプリンターを選んでから、ここでメニューを選びます。（次ページ参照）

ツールバー
メニューの項目をアイコン化したものです。選んだプリンター、接続形態によって表示は異なります。（下図参照）

リストビュー
ツリービューで選ばれた接続形態のプリンターの使用状況をリストで表示します。

ツリービュー
ネットワーク内のプリンターがどのように接続されているかをツリー形式で表示します。

- 利用可能なプリンタ：
  ネットワークに接続されているプリンターのうち実際コンピューターにプリンタードライバーがインストールされているプリンターです。
- ネットワーク共有プリンタ：
  ネットワーク内で共有に出されているすべてのプリンターです。
- NECプリントサーバ：
  NEC製のLANボードまたはLANアダプターを使ってネットワーク接続されているプリンターです。

ステータスバー
現在のプリンタ管理ユーティリティの状態、またはポインタが指している機能の説明が表示されます。

［ツールバー］

ドライバの削除ボタン
リストビューで選択したプリンターのプリンタードライバーを削除します。

プロパティボタン
リストビューで選択したプリンターのプリンタードライバーのプロパティシートが開きます。

アイコン表示ボタン
リストビューのプリンター覧をアイコンで表示します。

詳細表示ボタン
リストビューのプリンター覧を詳細なリストで表示します。

プリンタステータスボタン
「プリンタステータスウィンドウ」(229ページ)参照

リモートパネルボタン
「リモートパネル」(238ページ)参照

メニューバーは、OSの環境により表示される項目の名称や順番が異なります。

[プリンタメニュー]

プリンタ(P)

メニュー項目	説明
開く(O)	選択されているプリンターのプリンタードライバーを開きます。
プリンタステータスウィンドウ(T)	「プリンタステータスウィンドウ(PSW)」(229ページ)参照。
リモートパネル(P)	「リモートパネル」(238ページ)参照。
場所の設定(L)...	「プリンターの設置場所の設定」(次ページ)参照。
新規作成(W)	(下図参照)
一時停止(A)	印刷を一時停止します。
印刷ジョブのクリア(U)	印刷を中止します。
✓ 通常使うプリンタに設定(F)	選択されているプリンターを通常使うプリンターに設定します。
共有(H)...	選択されているプリンターの[共有]プロパティシートを表示します。
ショートカットの作成(S)	選択されているプリンターのショートカットを作成します。
削除(D)	選択されているプリンターのプリンタードライバーを削除します。
名前の変更(M)	選択されているプリンターの名前を変更します。
自動切替の設定(G)...	「グループプリンターの編集」(251ページ)参照。
アラームの発信設定(N)...	アラームの発信に関する設定ダイアログが表示されます。
LANボードの設定(B)...	LANプリンターの設定を行うプロパティダイアログボックスを表示します。*
プロパティ(R)	選択されているプリンターのプロパティシートを表示します。
終了(X)	プリンタ管理ユーティリティを終了します。

* 詳しくはLANボードまたはLANアダプターに添付の「PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ取扱説明書」をご覧ください。

[プリンタメニュー・新規作成]

メニュー項目	説明
通常のプリンタ(N)	プリンタードライバーの簡易インストールを行います。
自動切替プリンタ(A)	「グループプリンター(自動切り替えの設定)」(248ページ)参照。

[表示メニュー]

表示(V)

メニュー項目	説明
✓ ツールバー(T)	プリンタ管理ユーティリティウィンドウにツールバーを表示します。
✓ ステータスバー(B)	プリンタ管理ユーティリティウィンドウにステータスバーを表示します。
アイコン(G)	リストビューをアイコンで表示します。
● 詳細(D)	リストビューを詳細なリストで表示します。
最新の情報に更新(R)	ツリービューの内容を最新の情報に更新します。

[ツールメニュー]

ツール(T)

メニュー項目	説明
パスワードの変更(P)...	プリンタ管理ユーティリティを起動する際のパスワードを変更します。
メール通知の設定(C)...	「保守情報のメール通知(NEC e-mailメンテナンス」(255ページ)参照。

[ヘルプメニュー]

ヘルプ(H)

メニュー項目	説明
トピックの検索(H)	[プリンタ管理ユーティリティ]のヘルプを表示します。
NECプリントサーバのヘルプ(P)	[NECプリントサーバ]のヘルプを表示します。
自動切替のヘルプ(C)	[自動切替]のヘルプを表示します。
メール通知のヘルプ(M)	[メール通知]のヘルプを表示します。
バージョン情報(A)...	プリンタ管理ユーティリティのバージョン情報を表示します。

プリンターの設置場所の設定

プリンターの設置場所を設定しておくと、PrintAgentの機能を使ってプリンターの状況を確認するときや印刷終了通知を受け取ったときにプリンターの場所が参照できます。以下の手順でプリンターの場所を設定します。Windows 2000/NT 4.0では、プリンタフォルダーの[プリンタのプロパティ]の[全般]シートで設定できます。

1. プリンタ管理ユーティリティを起動する。

プリンタ管理ユーティリティの起動方法は244ページをご覧ください。
必要に応じてパスワードも入力します。

2. ウィンドウの左側のボックスから[利用可能なプリンタ]をクリックする。

3. 対象のプリンターを右クリックし[場所の設定]を選ぶ。

[場所の設定]ダイアログボックスが表示されます。

4. 場所を入力する。

テキストボックスに文字を入力し[OK]ボタンをクリックします(半角31文字まで)。

PrintAgent

グループプリンター(自動切り替えの設定)

「グループプリンター」とは、ネットワーク内にあるいくつかのプリンターを、ひとつのまとまりにしたもののことを言います。このグループプリンターの中から、エラーが起こっているプリンターや、オプション、用紙サイズが異なっているプリンターを避け、最適なプリンター(一番早く印刷を行えるプリンター)を自動的に選択し、印刷を早く終了させせようというのが「自動切り替え」機能です。

グループプリンターの設定はプリンター管理者が行います。これにより、ネットワークを利用できるクライアントがプリンターの自動切り替え機能を使って最適なプリンターに印刷することができます。ただし、Windows 98/95でグループ設定できるプリンターはMultiWriter4050Mのみで、2台までです。

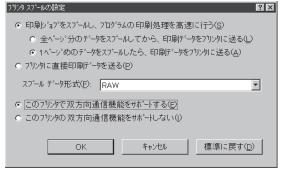
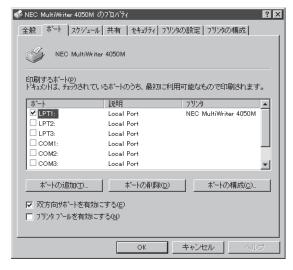
グループプリンターを作成する前に

グループプリンターを作成するには以下のことが条件となります。確認してください。

① **グループを構成するプリンターがネットワーク上の他のプリンタサーバーが提供している共有プリンターでないこと**

② **グループを構成するプリンターが双方向通信に設定されていること**

Windows 98/95の場合、プリンターのプロパティダイアログボックスの[詳細]シートで[プリンタスプールの設定]ダイアログボックスを表示させ、双方向通信機能をサポートする設定になっていることを確認します。

Windows 2000/NT 4.0の場合、プリンターのプロパティダイアログボックスの[ポート]シートで双方向サポートを有効にする設定になっていることを確認します。

③ **双方向のポートに接続していること**

下の表を参照して、それぞれの接続形態において双方向が可能な以下のポートを使っていることを確認してください。

OS	ローカル接続	LAN接続	USBケーブル接続
Windows 98/95	LPTx	NEC TCP/IP Printing System	LPTUSBxxx...
Windows 2000	LPTx	NEC Network Port	LPTUSBxxx...
Windows NT 4.0	LPTx	NEC Network Port	- - -

④ **プリンターの設置場所が設定されていること**

Windows 98/95の場合、[プリンタ管理ユーティリティ]を使って[利用可能なプリンタ]に設置場所が設定されていることを確認します。設定されていない場合は247ページを参照して入力を行ってください。
Windows 2000/NT 4.0の場合は、Administratorの権限で、プリンタプロパティの[全般]シートで[設置場所]を設定することができます。

グループプリンターの印刷が終了すると、利用者にはどのプリンターで印刷が終了したか、通知ダイアログが表示されます。設置場所はこの通知ダイアログに表示されます。

グループプリンターの作成

以下の手順でグループプリンターを作成します。

1. プリンタ管理ユーティリティを起動する。

プリンタ管理ユーティリティの起動方法は244ページをご覧ください。
必要に応じてパスワードも入力します。

2. ツリービューから[利用可能なプリンタ]を選ぶ。

3. [プリンタ]メニューの[新規作成]をクリックし[自動切替プリンタ]を選ぶ。

[自動切替プリンタの作成]ウィザードが起動します。

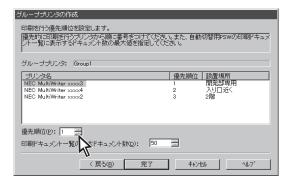
4. テキストボックスにグループプリンタ名を入力し、[次へ]ボタンをクリックする。

5. [追加可能なプリンタ]ボックスから希望のプリンターを選び、[<<]ボタンをクリックする。

6. 印刷の優先順位を設定する。

希望のプリンタ名を選び、[▲]か[▼]をクリックして順位を変更します。

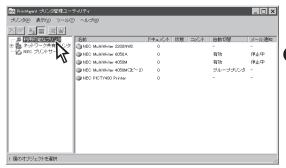
また、ここでグループプリンター用PSWの[印刷ドキュメント一覧]で表示できる最大ドキュメント数も設定できます。(設定可能範囲は1～100)

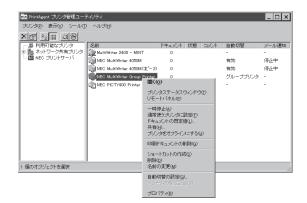
グループプリンターの作成を終了する場合は[完了]ボタンを、変更する場合は[戻る]ボタンをクリックします。

グループプリンターの編集

以下の手順でグループプリンターを編集します。

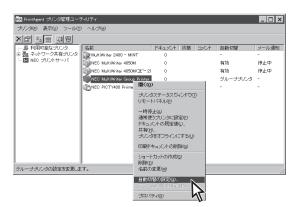
1. プリンタ管理ユーティリティを起動する。

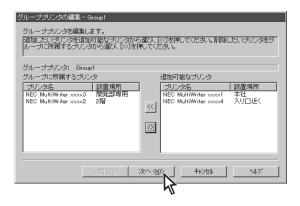
プリンタ管理ユーティリティの起動方法は244ページをご覧ください。
必要に応じてパスワードも入力します。

2. ツリービューから[利用可能なプリンタ]を選ぶ。

3. リストビューから希望のグループプリンターを右クリックする。

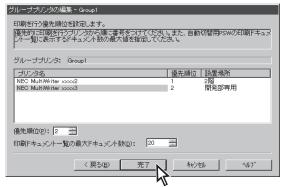
グループプリンターに設定されているプリンターは[自動切替]の項目に[グループプリンタ]と表示されています。

4. [自動切替の設定]をクリックする。

[グループプリンタの編集]ダイアログボックスが表示されます。

PrintAgent

5. 必要に応じてプリンターを追加・削除する。

[<<]ボタンと[>>]ボタンでグループプリンターを追加・削除します。
[次へ]ボタンをクリックすると[グループプリンタの編集]ダイアログボックスが現れます。

6. 必要に応じて印刷の優先順位を変更する。

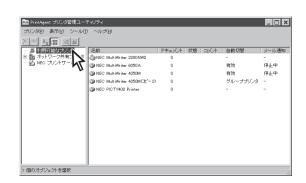
希望のプリンター名を選び、[▲][▼]ボタンをクリックして順位を変更します。グループプリンター用PSWの[印刷ドキュメント一覧]で表示できる最大ドキュメント数も変更できます。(設定可能範囲は1〜100)

グループプリンターの編集を終了する場合は[完了]を、変更する場合は[戻る]をクリックします。

グループプリンターへの出力

ここではグループプリンターへの出力方法とグループプリンター使用時のプリンタステータスウィンドウについて説明します。新たにグループプリンターを作成する、グループプリンターの構成を編集したい場合は251ページをご覧ください。

1. プリンタ管理ユーティリティを起動する。

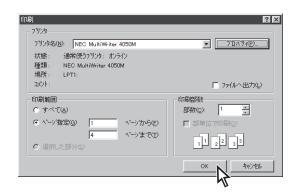
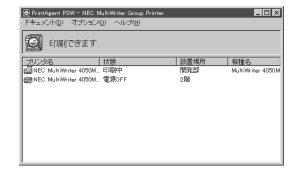
プリンタ管理ユーティリティの起動方法は244ページをご覧ください。
必要に応じてパスワードも入力します。

2. ツリービューから[利用可能なプリンタ]を選ぶ。

3. リストビューの中から希望のグループプリンターを右クリックする。

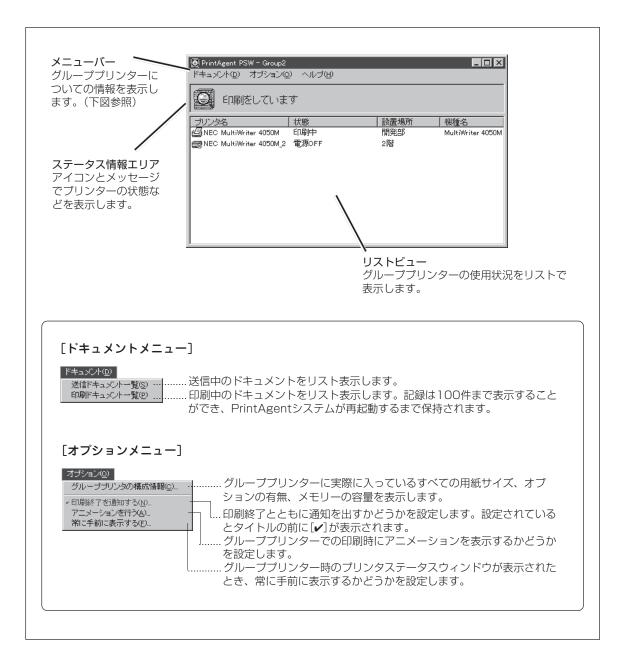
[自動切替]の項目が[グループプリンタ]と表示されているのがグループプリンターです。

4. [通常使うプリンタ]に設定する。

5. [印刷]ダイアログボックスで印刷範囲、印刷部数を指定して[OK]ボタンをクリックする。

グループプリンターの中で印刷に最適なプリンターが自動的に選択され、印刷が行われます。

印刷が開始されると画面上にグループプリンター時のプリンタステータスウィンドウ(次ページ参照)が表示されます。

印刷が終了すると[印刷終了通知]が表示されます。

グループプリンター使用時のプリンタステータスウィンドウ

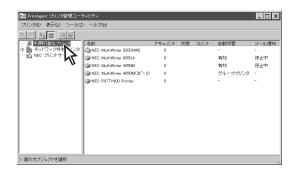
グループプリンター使用時に表示されるプリンタステータスウィンドウは、通常のプリンター用のウィンドウを簡略したものが表示されます。このPSWは複数台のプリンタステータスを扱うので印刷ジョブの削除など、プリンターに個別な処理は[プリンタ管理ユーティリティ]か[プリンター一覧]で行うことになります。

保守情報のメール通知(NEC e-mailメンテナンス)

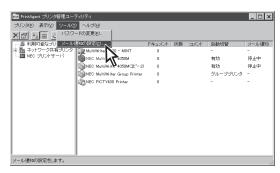
この機能はMultiWriter 4050Mにトナーがなくなったとき、ステープルがなくなったとき、交換部品寿命(定期保守)のとき、保守員コールが発生したときに、自動的に電子メールでコンピューターに保守情報を知らせるためのものです。MultiWriter 4050Mがコンピューターに直接接続されている場合でも、ネットワーク上でプリントサーバーに接続されている場合でも利用できます。

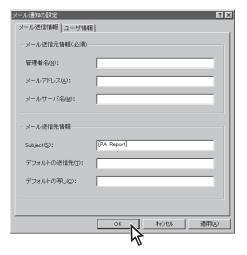
以下の手順で保守情報の自動通知を設定します。

1. プリンタ管理ユーティリティを起動する。

プリンタ管理ユーティリティの起動方法は244ページをご覧ください。
必要に応じてパスワードも入力します。

2. ツリービューから[利用可能なプリンタ]を選ぶ。

3. [ツール]メニューの[メール通知の設定]をクリックする。

[メール通知の設定]ダイアログボックスが開きます。

4. メール送信情報とユーザ情報を入力し、[OK]ボタンをクリックする。

メール送信元情報の項目は必ず入力してください。管理者名、メールアドレス、メールサーバー名のいずれかが入力されていないと設定が終了できません。

[メール送信情報]シート

これらのダイアログボックスの設定は他のプリンターの設定にも共通となります。一度入力すれば、他のプリンターの項目は改めて入力する必要はありません。

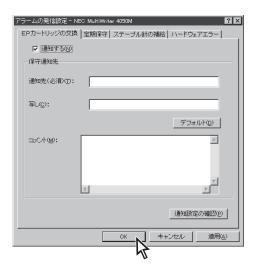
[ユーザ情報]シート

5. **右側のボックスから希望のプリンターを右クリックし、メニューの[アラームの発信設定]をクリックする。**

[アラームの発信設定]ダイアログボックスが開きます。

6. **必要に応じて[アラームの発信設定]シート4枚([EPカートリッジの交換]、[定期保守]、[ステープル針の補給]、[ハードウェアエラー])にそれぞれ情報を入力する。**

通知先のメールアドレスが入力されていないと設定が終了できません。

- [デフォルト]ボタンをクリックすると[メール通知の設定]ダイアログボックスで入力された通知先、写しのメールアドレスがそれぞれ入力されます。
- これらの通知は発信者(プリンター管理者)には、自動的に写しが送信される設定になっていますので改めて、ここの[写し]に発信者のメールアドレスを入力する必要はありません。

［通知設定の確認］ボタンをクリックすると、送信されるメールのイメージが確認できます。

- ［EPカートリッジの交換］通知は、一度発信されたら再び［トナーなし］を検知しても1週間は再発信しません。
- ［定期保守］通知は印刷枚数が24万ページごとに発信されます。

```
To: xxxx,####
From: 日電太郎 <nichitaro>
Reply-To: 日電太郎 <nichitaro>
Cc: yyyy,zzzz
Subject: [PA Report]保守情報の自動通知

ＮＥＣ MultiWriter PrintAgent メール通知

通知概要： ＥＰカートリッジ交換

プリンタ名： NEC MultiWriter 4050M

通知アラーム： トナーなし

通知アラーム検出： 1999/6/20　16：10


入り口近くの柱の脇にあるプリンタです。


****************************************

ＮＥＣ　☆※部

日電　太郎

東京都○×区△１丁目２番３号
□■ビル　１階

03-xxx-xxxx

****************************************
```

メール通知ログファイルの記録

メール通知が行われるとPrintAgentをインストールしたフォルダーに［LOG］というサブフォルダーが作成されます。また、そのサブフォルダー内に［PAMail.log］というログファイルが作成され、メール通知履歴情報が記録されます。

Cドライブのルート上にPrintAgentをインストールし、メール通知を行ったときログファイルは以下のディレクトリーに作成されます。

ログファイル：C:¥PrintAgent¥LOG¥PAMail.log

メールを通知するたびにログファイルには次のような情報が記録されます。

通知アラーム検出時刻：通知先：写し：プリンタ名：通知概要

エラーが検出されメール通知が行われなかった場合は、

通知アラーム検出時刻：通知先：写し：プリンタ名：通知概要：エラー情報

が追加されます。

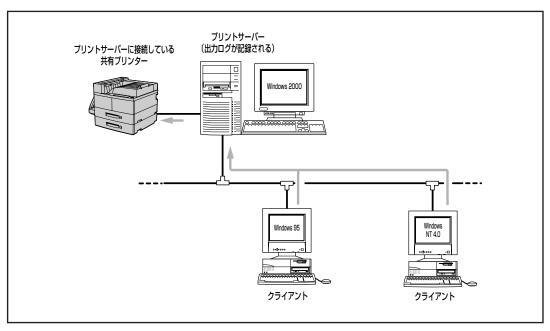
印刷ログの記録

MultiWriter 4050Mには印刷した履歴をログ情報として、プリントサーバーの[PrintAgent]フォルダーに記録させる機能があります。この印刷ログによって、プリンターがどのクライアントに一番多く使用されているか、毎月何日頃に多く使用されているか、一回の印刷で使用されている用紙の枚数はどの程度か、などを集計し、年間・月ごとやクライアント別のプリンターの使用頻度の統計、消耗品の準備時期などの管理ができます。この機能はWindows 2000、Windows NT 4.0でのみ使用できます。

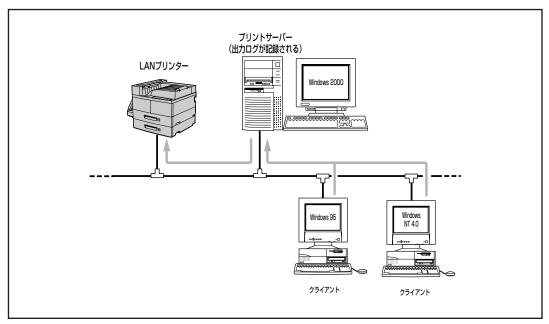
- Windows 98/95ではローカル接続、LANボード接続に関係なく印刷ログは記録できません。
- プリントサーバーがWindows 2000、Windows NT 4.0で、プリンター管理者に権限がないとこの機能設定はできません。

この機能を利用するにはプリントサーバー(Windows NT 4.0)とMultiWriter 4050Mが次のローカル接続あるいはネットワーク接続のいずれかの形態で接続されている必要があります。

ローカル接続

プリントサーバーが直接接続されているMultiWriter 4050Mを共有プリンターに設定している形態です。

ローカル接続されたプリンターの共有

ネットワーク接続

プリントサーバーがLANボードを使ってネットワークに接続されているMultiWriter 4050Mを共有プリンターに設定している形態です。

LANボード/LANアダプターで接続されたプリンターの共有

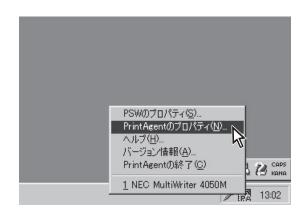
印刷ログ機能を設定する

ここでは印刷ログ機能の設定方法を次のOSごとに説明します。

Windows 2000 .... 259ページ
Windows NT 4.0 .... 261ページ

＜Windows 2000の場合＞

1. [PrintAgentシステムメニュー]から[PrintAgentのプロパティ]を開く。

PrintAgent

2. LANボードによってネットワークに接続されているプリンターを共有している場合は、[LANボード使用時のPSW表示]を[印刷終了まで表示]を選び、[OK]ボタンをクリックする。

3. [コントロールパネル]の[管理ツール]アイコンをダブルクリックする。

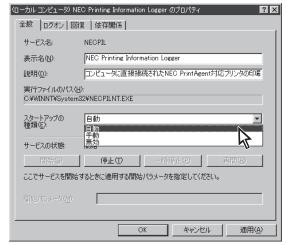
4. [管理ツール]ダイアログボックスの[サービス]アイコンをクリックする。

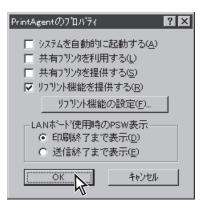
5. リストビューから[NEC Printing Information Logger]を選んで[操作]メニューの[開始]をクリックする。

6. **次回起動時も自動的にサービスを起動する場合は、[スタートアップ]をクリックする。**

[操作]メニューから[プロパティ]を開き、[スタートアップ]をクリックします。

7. **スタートアップの種類から[自動]を選び、[OK]をクリックする。**

＜Windows NT 4.0の場合＞

1. [PrintAgentのプロパティ]を開く。(224ページ参照)

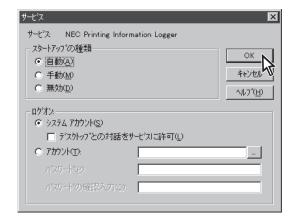
2. **LANボードによってネットワークに接続されているプリンターを共有している場合は、[LANボード使用時のPSW表示]を[印刷終了まで表示]を選んで[OK]ボタンをクリックする。**

4. **プリントサーバーの[コントロールパネル]から[サービス]アイコンをダブルクリックする。**

[サービス]ダイアログボックスが開きます。

4. **[サービス]ボックスから[NEC Printing Information Logger]を選んで、[開始]ボタンをクリックする。**

サービスが起動します。

5. **次回起動時も自動的にサービスを起動する場合は、[スタートアップ]ボタンをクリックする。**

6. **スタートアップの種類を[自動]にして、[OK]ボタンをクリックする。**

印刷ログ出力機能を設定して、サービスを起動すると、PrintAgentをインストールしたフォルダーに[LOG]というサブフォルダーが自動作成されます。

印刷が行われると、[LOG]フォルダー内に[NEC MultiWriter 4050M.log]というログファイルが作成され、印刷履歴情報が記録されます。

印刷ログファイルの記録結果

ログファイルは以下のディレクトリーに作成されます。（ログファイルのファイルネームはプリンターフォルダーもしくはプリントマネージャに登録した名前になります。）

ログファイル：C:¥PrintAgent¥LOG¥NEC MultiWriter 4050M.log

印刷するたびにログファイルには次のような情報が記録されます。

“プリンタ名”,“ドキュメント名”,“ドキュメント所有者名”,印刷開始日,印刷開始時刻,印刷終了日,印刷終了時刻,印刷枚数

- ログファイルはCSV形式で記録されます。このファイル形式は表計算ソフトやデータベースソフトなどで読み込むことができます。
- ログファイルのサイズが1MB を超えると自動的にバックアップされます。バックアップファイルの拡張子は".log"から".001", "002"...のようになります。

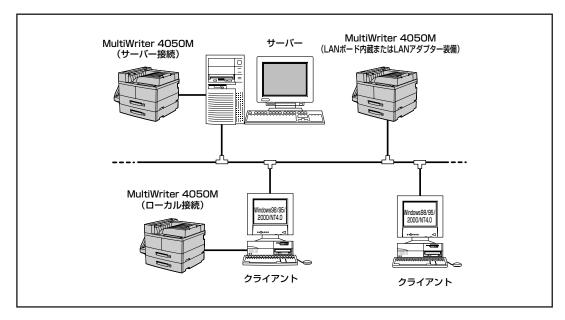
ログファイルの内容の例：

"NEC MultiWriter 4050M", "お読みください - メモ帳", "近藤", 2000/04/25, 午後 07:12:20,2000/04/25, 午後 07:12:44, 5,
"NEC MultiWriter 4050M", "海辺の思い出", "山田", 2000/04/25, 午後 07:13:53, 2000/04/25, 午後 07:14:05, 1,
"NEC MultiWriter 4050M", "NEC MultiWriter 4050M - メモ帳", "菅原", 2000/04/25, 午後 07:17:49, 2000/04/25, 午後 07:17:57,1,
"NEC MultiWriter 4050M", "network", "尾崎", 2000/04/25, 午後 07:20:45, 2000/04/25, 午後 07:21:40, 16,

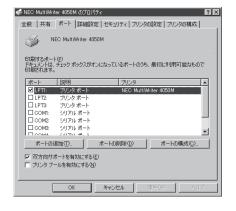
PrintAgentを正常に機能させるために

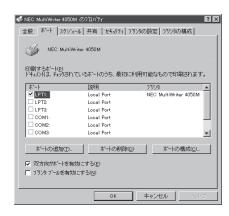
PrintAgentはネットワーク環境で使用することで、より効果を発揮します。以下はPrintAgentを正常に機能させるための注意事項をネットワーク関連の設定を中心に説明します。

PrintAgentを動作させる前に

- PrintAgentはローカルプリンターに対してもネットワーク上の共有プリンターに対しても使用できます。ただしネットワーク上で使われる場合PrintAgentソフトウエアはサーバー、クライアント両者にインストールされている必要があります。

- Windows 98/95の場合、PrintAgentの機能を十分に発揮させるためには、[プリンタのプロパティ]ダイアログボックスで[双方向通信機能]をサポートするように設定しておく必要があります。

本プリンタのメモリスイッチMSW5-1を0(OFF)でご使用ください。メモリスイッチMSW5-1が1(ON)のままご使用になると、PrintAgentが本プリンタの情報を取得できず正しく動作しません。

- Windows 2000の場合、PrintAgentの機能を十分に発揮させるためには、[プリンターのプロパティ]ダイアログボックスの[ポート]で[双方向サポートを有効にする]をチェックしておく必要があります。

- Windows NT 4.0の場合PrintAgentの機能を十分に発揮させるためには、[プリンタのプロパティ]ダイアログボックスで[ポート]シートの[双方向サポートを有効にする]をチェックしておく必要があります。

- ネットワーク共有プリンターが直接つながっているコンピューターのOSがWindows NT 4.0の場合のプリンタプールはサポートしていません。サーバーコンピューターのプリンタプールを無効にするにはサーバーコンピューター上ですべてのプリンターの[プリンタのプロパティ]ー[ポート]タブの[プリンタプールを有効にする]のチェックを外してください。[プリンタプールを有効にする]をチェックした場合、プリンターの状態が正しく表示されません。権限がない場合はネットワーク管理者に連絡してください。

- PrintAgentをクライアント・サーバーシステムでご使用の場合、1台のサーバーに接続されたクライアントの中でPrintAgentを使用するクライアントは30台以下を推奨します。サーバーの性能やネットワークトラフィックによっては、印刷時にプリンターの状態情報が取得できなくなったり、クライアントでオフライン作業になる場合があります。このような場合、印刷時以外は[PrintAgentのプロパティ]の設定の[共有プリンタを利用する]のチェックを外してPrintAgentを動作させないようにするか(226ページ参照)、PrintAgentを終了させて運用してください。

PrintAgentの動作中は

一つのコンピューターに同一のPrintAgent対応プリンタードライバーが複数インストールされている場合、プリンタステータスウィンドウまたはリモートパネルを表示させるとき、ダイアログボックスで[プリンタの選択]を要求されることがあります。

PrintAgentの制限事項

- PrintAgentとプリンターポートを直接アクセスしてプリンターの状態を監視するユーティリティ(DMITOOLなど)を同時に使用すると正しく動作しない場合があります。このような場合は、お使いのユーティリティに応じて、プリンターの監視を行わないように設定してください。

- 一部コンピューターのパラレルポートの設定(例:ECPモードなど)によっては、PrintAgentの動作に不具合が生じる場合があります。このような場合は、お使いのコンピューターの取扱説明書を参照し、パラレルポートの設定を変更することで、PrintAgentが正常に動作できるようになる場合があります。

正しく動作しないときは

次の表にPrintAgentが正しく動作しないときの症状とその原因、処理方法を示します。それぞれの方法に従って対処してください。

PrintAgentが正しく動作しない(1/3)

症　状	原因と処理方法
画面上にPrintAgentのシステムアイコンが表示されていない	**「PrintAgentのプロパティ」ダイアログボックスで、「システムを自動的に起動する」をチェックしていない。** →チェックしてください。Windows 98/95の場合、次回起動時から、Windows2000、 NTの場合、次回ログオン時から自動的に表示されます。
	PrintAgentを終了している。 →Windows 98/95/2000/NT 4.0:[スタート]-[プログラム]-[MultiWriter 4050M]- [PrintAgentシステム起動]を実行してください。
プリンタステータスウィンドウやリモートパネルが［スタート］メニューまたは［プログラムマネージャ］に登録されていない	**カスタムインストールによって、インストール対象とされなかった。** →システムの管理者にご相談ください。
	必要なファイルが削除されている。 →PrintAgentを再インストールしてください。
使用したいプリンターのプリンタステータスウィンドウやリモートパネルが選択できない	**プリンターフォルダーまたはプリントマネージャに「NEC MultiWriter 4050M」のプリンターが登録されていない。** →プリンタドライバをインストールしてください。
	プリンタドライバが変更されている。 →プリンタドライバを「NEC MultiWriter 4050M」に変更する、または再インストールしてください。
プリンタステータスウィンドウやリモートパネルが起動しない	**プリンターのアクセス権がない。** →権限を確認してください。
	必要なファイルが削除されている。 →PrintAgentを再インストールしてください。
	コンピューターのメモリー不足。 →必要のないアプリケーションを終了してください。
	プリンターポートを直接アクセスしてプリンターの状態を監視するユーティリティーが使用されている。 →コンピューターで使用されているユーティリティーに応じて、プリンターの監視を行わないように設定してください。
	パラレルポートの設定が正しくない。 →コンピューターのパラレルポートの設定を変更してください。
プリンタステータスウィンドウの表示内容が不正である	**印刷データを直接プリンターに送信している。** →印刷データ（ジョブ）をスプールするように設定してください。
	[通知形式のプロパティ]の設定が変更されている。 →設定内容を確認してください。

PrintAgentが正しく動作しない(2/3)

症　状	原因と処理方法
プリンタステータスウィンドウがプリンターの状態を正しく表示しない	**14ピンパラレルインターフェースでプリンターを接続している。** →このインターフェースではプリンターの情報を取得することができず、プリンタステータスウインドウの機能が大幅に制限されます。プリンタ増設イン　ターフェース（型番 PC-9801-94）をお使いになることをお勧めします。
	プリンターが直接つながっているコンピューターで双方向通信ができない設定になっている。 →Windows 98/95: プリンターのプロパティの[詳細]-[スプールの設定]-[このプリンタで双方向通信機能をサポートする]をチェックしてください。 →Windows 2000/NT4.0: プリンターのプロパティの[ポート]-[双方向サポートを有効にする]をチェックしてください。
	プリンターが直接つながっているコンピューターがWindows NT4.0でプリンタープールを使用している。 →Windows 2000/NT4.0上のすべてのプリンターの[プリンタのプロパティ]-[ポート]-[プリンタプールを有効にする]のチェックを外してください。
	コンピューターのサスペンド機能を使用している。 →お使いのコンピューターの説明書を参照しサスペンド機能が動作しないように設定してください。
プリンタステータスウィンドウの音声メッセージが通知されない	**音声を通知しない設定となっている。** →[通知形式のプロパティ]の設定を確認してください。
	[プリンタステータスウィンドウのプロパティ]の[自分のドキュメントを印刷していないときの設定]が自動起動するになっていない。 →自分のドキュメントを印刷していないときの音声メッセージは「自動起動しない」と設定されているときは通知されません。「エラー発生時にウィンドウで自動起動する」と設定されているときはエラー時のみ通知されます。
	ボリューム、Windowsのサウンドの設定が変更されている。 →設定を確認してください。
プリンタステータスウィンドウ上から印刷ドキュメントの一時停止、削除ができない	**印刷ドキュメントがすでにプリンターへ送られてしまった。** →すでにプリンターへ送信済みのドキュメントに対しては、一時停止、削除は　できません。
	プリンターのアクセス権がない。 →ネットワーク管理者に権限を確認してください。
	印刷先がネットワーク共有プリンターである。 →ネットワーク共有プリンターに対してはセキュリティーにより一時停止はできません。
	Windows NTである。 →Windows NTではセキュリティーにより一時停止はできません。
プリンタステータスウィンドウが自動起動しない／自動起動してしまう	**[PSWのプロパティ]の設定を変更されている。** →設定を確認してください。
	LANボードまたはLANアダプターを装備したLANプリンターに直接接続して使用している。 →LANプリンターをサーバーを介さずに使用している場合は[PSWのプロパティ]で[自分のドキュメントを印刷していないとき]の起動条件として[印刷中にアイコンで自動起動する]を設定しても、他の人の印刷時には自動起動しません。ただしこの場合でもエラー発生時には自動起動を行います。

PrintAgentが正しく動作しない(3/3)

症　状	原因と処理方法
プリンターの構成情報の表示が実際の構成と食い違っている	**プリンターが、双方向通信できないインターフェースで接続されている。もしくはプリンターがバッファー等を経由して接続されている。** →プリンターの現在の設定は読み込むことができません。双方向通信できない時は、初期状態として、最大構成が入っています。この場合の構成は、プリンタドライバから設定が可能です。 詳しくは、プリンタドライバのヘルプをご確認ください。
	プリンターの情報をうまく取得できていない。 →プリンターの電源を入れ直してください。
リモートパネルでプリンターの設定が読み込めない	**プリンターの[印刷可]スイッチが押されていない。(ディセレクト状態)** →セレクト状態でないとプリンターの設定を読み込めません。[印刷可]スイッチを押してください。
	プリンターが印刷中である。 →印刷中の場合はプリンターの設定は読み込めません。プリンタステータスウィンドウなどでご確認のうえ、印刷終了をお待ちください。
リモートパネルでプリンターへの設定ができない	**プリンターのアクセス権がない。** →権限を確認してください。
	プリンターの[印刷可]スイッチが押されていない。(ディセレクト状態) →セレクト状態でないとプリンターの設定ができません。[印刷可]スイッチを押してください。
	プリンターが印刷中である。 →印刷中の場合はプリンターに設定できません。プリンタステータスウィンドウなどでご確認のうえ、印刷終了をお待ちください
	共有プリンターを使用している。 →共有プリンターへの設定はセキュリティーによりできません。
リモートパネルでの表示と実際のプリンターの設定が異なる	**プリンターと双方向通信ができていない。** →プリンターの現在の設定は読み込むことができません。
	リモートパネルを表示後、プリンターで直接設定が変更された。 →リモートパネルの設定読み込みボタンをクリックしてプリンターの設定を読み込んでください。

用語解説

英数字

[?]ボタン
Windows 98/95/2000/NT 4.0で、ダイアログボックスの項目についてのヘルプ画面を表示するためのボタン。[?]ボタンをクリックしてからウィンドウ内の項目をクリックすると項目の説明が表示される。

10BASE-2/10BASE-T/100BASE-TX
LANの伝送路に関する規格。伝送速度は10BASE-2/Tが10Mbps、100BASE-TXが100Mbps。本プリンターでのこれらの規格のケーブルを使ってLANに接続するにはLANボードまたはLANアダプターが必要。

16進ダンプ印刷
プリンターが受信したデータを処理せず、そのまま16進数で印刷すること。

201PL
NECのシリアルプリンター用標準コードのこと。

AppleTalk
米国アップルコンピュータ社が開発したMacintosh専用のネットワーク用ソフトウエアまたはプロトコル。
本プリンターの場合マルチプロトコルLANボード(型番 PC-PR-L01)と拡張プリンタードライバー(型番 PR2200NW2-21)が必要。

CR
Carriage Return キャリッジリターンの略。プリンターの制御コード(コマンド)のひとつ。

DIMM
Dual In-line Memory Moduleの略。コンピューターやプリンターなどのメモリーを増設するもの。

DPI
Dots Per Inchの略。プリンターの解像度などを表す単位のひとつ。(→解像度)

FF
Form Feedの略。プリンター制御命令のひとつで、改ページを行うための命令。

IPX/SPX
NetWareをネットワークOSとしてインストールしたコンピューターが使用するプロトコル。

IPアドレス
IPはInternet Protocolの略。インターネット上で個々のユーザーを認識する符号(アドレス)。インターネットに接続したコンピューターにはすべてIPアドレスが割り振られる。

ISO 9660
ISO(International Organization for Standardization:国際標準化機構)が定めたCD-ROM用のファイル形式。多くのCDはこの方式を採っており、OSによって異なるフォルダやファイルの名前の規則を守ればMacintoshやUNIXマシンでも読み出すことが可能。

LAN Manager
マイクロソフト社が開発したネットワークOS。NetBEUIプロトコルを用いる。MultiWriter 4050M場合、マルチプロトコルLANボード(型番 PC-PR-L01または型番 PC-PR-L02)を装着することで対応可能。

LPI
Lines Per Inchの略。1インチ(25.4ミリメートル)当たりの行数。

Macintosh
アップル社が開発したパーソナルコンピューター。Mac OSには、あらかじめAppleTalkソフトウエアが組み込まれており、LocalTalkケーブルシステムやEtherTalkケーブルシステムを使ってネットワークを構築する。本プリンターと接続する場合、マルチプロトコルLANボード(型番 PC-PR-L01)と拡張プリンタードライバー(型番 PR2200NW2-21)が必要。

MOPYING
Multiple Original coPY and printINGの略。NECが提唱するコピー機の代わりにプリンターでオリジナル印刷する新しい「印刷スタイル」。

MS-DOS
Microsoft Disk Operating Systemの略。マイクロソフト社が開発したOSのひとつ。Windows 98/95、Windows NT 4.0/NT3.51から「MS-DOSプロンプト」や「DOS互換ボックス」を使ってMS-DOSアプリケーションを使っている場合はリモートパネルを使ったプリンターの設定が可能。

NetBEUI
IBM社が開発した小規模LAN用のプロトコル。
おもにLAN ManagerをネットワークOSにしたときに用いられる。

NetWare
ノベル社が開発したネットワークOS。プロトコルにはIPX/SPXが用いられる。本プリンターの場合LANボード(型番 PC-PR-L01あるいは型番 PC-PR-L02)を装着することで対応可能。

NMPS
NEC MultiWriter Printing Systemの略。Windowsで使用するプリンターの機能を向上させ、より速く印刷し、より簡単に操作できるためのシステム。

NPDL
NEC Printer Description Languageの略。NECプリンター記述言語。

OHPフィルム
OHP(オーバーヘッドプロジェクター)用の透明なシート。プレゼンテーションなどに使用する。印刷するときは、トレイ給紙を用いる。

OPC
有機光伝導体。EPカートリッジの感光体部分のこと。

OS
Operating Systemの略。オペレーティングシステムとも言う。コンピューターのハードウエア、ソフトウエアを有効に利用するために総合的管理を行うソフトウエアのこと。本書では特に区別して説明する場合、MS-DOSやWindowsなどプログラムの実行管理などを行う基本的なソフトウエアを「基本OS」、Windows NTやNetWareなどネットワークを強く意識したOSを「ネットワークOS」と呼ぶことがあります。

PPM
Pages Per Minuteの略。1分間に印刷できるページ数のことでプリンターの印刷速度を表す単位。

PrintAgent
双方向通信により、印刷状況の確認、プリンターの設定をコンピューター画面上から実現したソフトウエア。NECマルチライタシリーズに搭載。

PSW
Printer Status Windowの略。プリンターの状態やエラー情報をユーザーのパソコンに画面表示するとともに、音声ガイドで通知するもの。

RGBガンマ
Red Green Blueガンマ
使用しているモニタで中間トーンをどの程度調整する必要があるかを示すもの。専門的にはモニタの特性曲線を線形にするのに使用される指数。

SET
Sharp Edge Technologyの略。NECのマルチライタシリーズに採用されている高精細印刷機能。

TCP/IP
Transmission Control Protocol/Internet Protocolの略。ネットワークのプロトコルのひとつ。UNIXをはじめWindows NT、Windows 98/95、Macintoshなど、主要なOSでサポートされる世界的な標準プロトコルになっている。

TrueType
アップル社とマイクロソフト社が開発したソフトウエアで、Macintosh用のアウトラインフォントを用いた画面表示と印刷を行う。どんなアプリケーションソフトからでも利用できるアウトラインフォントが使えるので、文字サイズが大きくなってもギザギザにならない。

UNIX
AT&T社のベル研究所で開発された一般的にワークステーションで用いられるOS。プロトコルはTCP/IPを用いるのが標準的。クライアント・サーバシステムにおいてはUNIXマシンをサーバーにする例が多い。

USB
Universal Serial Busの略。キーボード、マウス、スピーカー、モデム、プリンターなどの周辺機器とコンピューターの間を統一したコネクターとケーブルで接続できるインターフェース。本プリンターではUSBコネクタを装備しないがUSBプリンタケーブル「PR-CA-U01」を使ってプリンター装備のセントロニクス仕様準拠コネクターとコンピューターのUSBコネクタを結ぶことができる。

Windows 2000
マイクロソフト社が開発したOSのひとつ。Windows NTの堅牢性とWindows 98の機能を合わせ持つ、ローエンドからハイエンドまですべての領域をカバーするOS。Windows NT4.0の後継にあたる。

Windows 98/95
マイクロソフト社が開発したOSのひとつ。

Windows NT
マイクロソフト社が開発したOSのひとつ。サーバーとして用いられることが多い。

Windowsアプリケーション
Windows専用のソフトウエアプログラム。Windowsオペレーティングシステム(OS)がないと起動できない。

五十音順

アイコン
アプリケーションやドキュメントなどWindowsのいろいろな要素を表す小さな絵。

合紙(あいし)
印刷の切れ目に目印とする用紙を差し紙排紙する機能。

アウトラインフォント
文字の形を直線や曲線で表された輪郭として記憶し、出力時にその文字データを論理的に処理して表現することができる文字のこと。文字サイズの自由な設定や文字の変形が可能となり、ドット密度に関係なく美しい文字を表現できる。

アドミニストレーター(Administrator)
管理者という意味。ネットワークやシステムの管理を行う最高の権限を持っている人。システムアドミニストレーターと呼ぶこともある。(→システム管理者)

アプリケーション
文書作成や作図など特定の作業に使うプログラム。

アンインストール
インストールしたソフトウエアを取り除く作業。

イニシャライズ
初期状態にすること。例えば、メモリーの内容を全部ゼロにしたり、プログラム中のカウンタをゼロにしたりすること。

印刷ジョブ
Windowsアプリケーションで作成された文書を印刷する作業単位のこと。スプールされて印刷待ちに追加されるか、直接プリンターに送られる。

印刷の向き
用紙に対して文字やグラフィックが印刷される方向。縦向きと横向きがある。

印刷範囲
プリンター用紙に印刷ができる限界のこと。用紙の上下および左右の余白部分を除いた印刷可能領域を指す。

インストール
一般には設定するという意味であるがここではソフトウエアをコンピューターに組み込むという意味。

インターフェース
2つの装置〈デバイス〉を通信できるように接続するための仕様、ケーブルシステム。本プリンターの場合、標準のコネクタでセントロニクスデータコンピューター社に準拠したインターフェースが利用できる。

ウィンドウ
アプリケーションやドキュメントが表示される画面上の領域で、開いたり、閉じたりすることができる。

ウォームアップ
プリンターの電源をONにした後、ヒートローラーが一定の温度まで上昇して印刷が可能になるまでの状態をいう。「節電モード」状態になっている場合、ヒーターをOFFにしているが、印刷データの受信を待たずともPSWのウォームアップボタンをクリックすることによりウォームアップをただちに開始できる。

エミュレーション機能
他の装置(プリンター)のために開発されたソフトウエアの制御コードが使用できる機能。PC-PR201系シリアルプリンターの制御コードが使用できる場合を201PLエミュレーションと呼ぶ。

エリート文字
1インチ(25.4ミリメートル)当たり12文字で印刷する文字のこと。

オフセット排紙
用紙の排紙を用紙の向きはそのままに水平方向にずらして出力する機能。

解像度
プリンターが文字や画像を印刷するときの細かさのこと。1ミリメートル当たりのドット数で表す。

拡張制御コード
制御コードのうち、ESC (1BH)、FS (1CH)、のように、あとに続くコードと組み合わせて機能を表すコードをいう。

紙づまり
用紙がつまってプリンターが動作しなくなった状態をいう。

輝度
CRTモニタなどの管面上の明るさ。画面の明るさ。

基本制御コード
制御コードのうち、CR (0DH)、LF(0AH)のように単独で機能を表すコード。

クライアント
ネットワークを介して他のコンピューター(またはサーバ)にアクセスしている利用者、または利用者のコンピューター。

クライアント・サーバー
中規模/大規模のネットワークに適した接続形態。専用のコンピューター(サーバー)が共有の資源(ハードディスクやプリンター)を管理し、接続を許されたコンピューター(クライアント)が利用できるようにしたもの。本書ではクライアント・サーバー型ネットワークとも呼んでいる。(→ピア・ツー・ピア)

クリック
マウスのボタンを押してすばやく放す操作のこと。

グレイスケールイメージ
それぞれのドットを、白黒ではなくグレイの濃淡として保存しているビットマップイメージ。

現像ユニット
OPCドラム上に形成された潜像に、負帯電させたトナーを付着させる役目を持つ。EPカートリッジに内蔵されている。

コマンド
コンピュータに行わせたい作業を実行するために選択、または入力する命令。

コンデンス文字
1インチ(25.4ミリメートル)当たり約17文字で印刷する文字のこと。

コントラスト
グラフィックなどの明るい部分と暗い部分の差の度合い。

コントロールパネル
Windowsで、キーボードやマウスの使用条件、スピーカーの音量、スクリーンセーバーの種類などといった設定を行うための画面をいう。

自動給紙
カット紙(単票用紙)を連続して自動的に給紙することをいう。

自動排出
コンピューターからのデータが一定時間なかったとき、プリンター内のデータを自動的に印刷して排出する機能。

シリアルプリンター
文字単位で印刷を行うプリンター。

[スタート]ボタン
Windows 98/95/2000/NT 4.0でプログラムの起動やファイルの検索、Windowsの終了などを行うことができるボタン。

スプール
ドキュメント(文書)を印刷する場合に印刷データをパソコンのハードディスクにファイルとしていったん保存して、保存した順にプリンターに送ること。これによりプリンターが印刷を終了するのを待たずにコンピュータでは別の作業を行うことができるようになる。プリンターに送り終えたファイルは自動的に消去される。

制御コード
プリンターの動作を制御するためのコード。印刷データと異なり印刷されない。

セントロニクス・インターフェース
プリンターとコンピューター間の通信仕様のひとつ。8ビットパラレルデータに制御信号を加えてプリンター用のインターフェース規格として広く使用されている。本プリンターでは標準の36ピン・パラレルコネクタで使用できる。

双方向通信
コンピューターとプリンターとの間で、情報のやり取りをする通信形態のこと。PrintAgent機能を実現するためには必須な条件。コンピューターから印刷データが送られるだけでなく、プリンターからもコンピューターに情報を送ることができるので、印刷の状況がプリンタステータスウィンドウのアニメーションと音声で、正確にわかる。双方向通信にはセントロ接続か双方向通信可能なプリンターインターフェースを装備したコンピューターであるかネットワークで接続されていることが必要。

ソフトウエア
コンピューターやプリンターなどハードウエアに作業を実行させるための命令の集まり。プログラム、アプリケーション、オペレーティングシステム、プリンタードライバーなどが含まれる。

ダイアログボックス
プリンターの設定や操作のために画面に表示されるボタンやリストボックスを持ったウィンドウ。

タイトルバー
ウィンドウやダイアログボックスのタイトルを示す、横向きのバー。多くのウィンドウでは、[コントロールメニュー]ボックスや[最大表示]、[アイコン化]、[最小化]ボタンなどもついている。

タブ
Windowsで、ダイアログボックスの中に複数の設定画面(シート)がある場合に表示されるインデックスタイプのつまみ。

ダブルクリック
マウスのポインタ(矢印)を動かさず、マウスのボタンを素早く2回押して放す動作。アプリケーションを起動するときなどに使う。

チェックボックス
ダイアログボックスの中の小さな正方形で、オン/オフの切り替えができるオプション(機能)を示す。オンにするとチェックボックスに印が表示される。

通常使うプリンター
アプリケーションで[印刷]コマンドを実行したときにその印刷データを印刷するプリンター。本プリンターで印刷を行う前に必ず通常使うプリンターとして設定しておく必要がある。

ツールバー
ウィンドウのメニューバーの下のボタンがついている部分。

坪量
用紙の重さを表す単位。1m²(1枚)あたりのグラム数をいう。単位はg/m²。

定着ユニット
用紙上のトナーを熱によって溶かし、圧力を加えて用紙に固定させるためのもの。ヒートローラーとプレッシャーローラーで構成されている。

テスト印刷
プリンターが正常に動作していることを確認するためのもの。

電子ソート機能
プリンターに増設ハードディスク(オプション)を取り付けることにより実現できる機能。増設ハードディスクに印刷データをスプールし、必要な部数そろえて印刷すること。

ドライバー
プリンタードライバーの項を参照

ドライブ名
ドライブに割り当てられている文字。「A」や「C」など。

ドラッグ
マウスのボタンを押したまま、マウスを動かす動作。例えば、ウィンドウのタイトルバーをドラッグするとウィンドウを移動させることができる。

ネットワーク
ケーブルまたは他の手段を用いて接続され、ソフトウエアを使って機器(プリンターなど)を共有し、情報を交換できるようにしたコンピューターの集団。

ハードウエア
コンピューター本体、キーボード、マウス、コンピューターやプリンターなどコンピューターシステムを構成する個々の機器またはそれらの総称。

ハーフトーン
グレイスケールイメージを、元のイメージのグレイの濃淡に似せて、白と黒のドットに変換する処理。

バッファフル
ページバッファに1ページ分の印刷データがたまることをバッファフルという。バッファフルになると、自動的にそのページの印刷を行う。

ピア・ツー・ピア
小規模のネットワークに適した接続形態。専用のサーバーコンピューターを必要とせず、コンピューターどうし、コンピューターとプリンター間で対等に通信が可能となる。本プリンターをピア・ツー・ピア接続して使用するためにはLANボード/LANアダプターが必要。本書ではピア・ツー・ピア型ネットワークとも呼んでいる。
(→クライアント・サーバー)

ヒートローラー
定着ユニットにあり、プレッシャーローラーと共に熱と圧力でトナーを定着させる働きをする。

ピクセル
ディスプレイ上の点。画像の最小単位。

ビットマップ
画面やプリンターに出力されるイメージを表す連続した点の集合。

フォーム印刷
見出し文字や罫線枠などのフォームデータを文章データと重ね合わせて印刷すること。フォームデータを作成するには別売のアプリケーションが必要。

フォント
同じ外観、サイズ、スタイルの文字、数字、記号またその他のシンボル等の集合。

不揮発性メモリー
プリンターの電源をOFFにしても記憶した内容が消えていないメモリー。

ブラシパターン
図形を塗りつぶすためのある一定のパターン。

プリンターケーブル
コンピューターとプリンターを接続するケーブル。インターフェースケーブルとも呼ばれる。

プリンタードライバー
コンピューターとプリンターの間のやり取りを仲介するプログラム。インターフェースやフォントの指定、インストールされたプリンターの機能などの情報を、Windowsに提供する。

プリントマネージャ
Windows 3.1、Windows NT 3.5/3.51オペレーティングシステムの一部で、Windowsアプリケーションからの印刷をコントロールし、印刷作業の監視も行う。

プログラムマネージャ
Windows 3.1やWindows NT 3.5/3.51の操作の基本となるウィンドウ。全体を管理しているもの。

プロトコル
コンピューターが他のコンピューターや周辺機器と通信するための規約。

プロパティ
オブジェクトの属性のこと。Windows 98/95/2000/NT 4.0では、タイトルの色の設定やプリンターの設定状態などを示す用語として広く使われている。Windows 98/95、Windows 2000/NT 4.0のアプリケーションガイドラインでは、マウスの右ボタンをクリックすることにより、いつでもオブジェクトのプロパティを表示させることができる。

プロポーショナル文字
印刷される文字により、印刷幅を変えて印刷する文字のこと。

ページ記述言語
1ページ分のテキスト(文字)やグラフィック(図形)のデータ、位置情報などを正確に表すための言語。

ページプリンター
ページ単位で印刷を行うプリンター。1ページ分のデータをプリントイメージとしてメモリー上に展開(作成)して印刷を行うプリンターのこと。

ポイント(マウスの)
マウスのポインタを目的の項目の上に置く動作。

ポイント(文字の)
印刷される活字の大きさの単位で、1ポイントは約0.35ミリメートル(1/72インチ)。

ポート
プリンターなどの装置をコンピュータに接続するために使う接続先。

ポートレート
用紙を縦長にした内容で印刷する印刷フォーマットのこと。

ボタン
ダイアログボックス中のボタンの絵。選択した動作の実行やキャンセルを行う。[OK]ボタンや[キャンセル]ボタンなどがある。

マウスポインタ
マウスの動きに応じて画面上を移動する矢印の形をしたマーク。

メニュー
ウィンドウで使用できるコマンドの一覧。メニュー名をクリックするとメニュー名に関連するコマンドの一覧が表示される。

メニューモード
プリンターの設定をプリンターの操作パネルを使ってメニュー形式で行うモード。

メニューバー
すべてのメニュー名が表示されるバー。ほとんどのアプリケーションで、このバーは、タイトルバーの下に表示される。

メモリー
データを保存する装置。または情報やプログラムの一時的な記憶場所。

メモリースイッチ
不揮発性メモリーを利用してプリンターのさまざまな設定を行うスイッチ。機械的にオン/オフを切り替えるスイッチではなく、電気的に切り替えるスイッチ。

ラジオボタン
ダイアログボックスで複数の選択肢の中からひとつを選ぶためのボタン。どれかを選択すると、それまでオンだったものが連動してオフになる。

ランドスケープ
用紙を横長にした内容で印刷する印刷フォーマットのひとつ。

リストボックス
ユーザーに対して、項目の一覧を表示するためのボックス。通常、現在選択されている項目を表示している。

リブプレート
転写後の用紙を定着ユニットまで正しく送り込むための用紙ガイド。

リプリント
一度印刷したデータを、再度印刷したいときに短時間に印刷出力を可能にした本プリンターの印刷機能のひとつ。

レーザープリンター
電子写真式のページプリンターの代表的タイプ。ドラムにレーザー光をあてて像を作り、トナーで現像して紙に転写するプリンターのこと。

連量
用紙の重さを表す単位。一般に788×1091mmのサイズの用紙1000枚当たりの重さをいう(本マニュアルで使用している用紙の連量は、70kg)。
用紙1枚1m^{2}単位の重さを坪量という。国際的にはm^{2}で表すのことが望ましいが、国内では連量が慣用されている。(→坪量)

ローカルプリンター
コンピューターと直接プリンターケーブルで接続しているプリンター。

索　引

索引中の[1]はユーザーズマニュアル[1/2]、[2]はユーザーズマニュアル[2/2]のページを示しています。

英数字

ア

イ

ウ

エ

オ

カ

キ

ク

ケ

コ

サ

シ

ス

セ

ソ

タ

チ

ツ

テ

ト

ナ

ニ

ヌ

ネ

ノ

ハ

ヒ

フ

ヘ

ホ

マ

メ

モ

ユ

ヨ

ラ

リ

レ

ロ

ワ

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。

高調波ガイドライン適合品

この装置は、通商産業省通知の家電・汎用品
高調波抑制対策ガイドラインに適合しています。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
ユーザーズマニュアルに従って正しい取り扱いをしてください。

漏洩電流自主規制について

この装置は、社団法人日本電子工業振興協会のパソコン業界基準（PC-11-1988）に適合しています。

電源の瞬時電圧低下対策について

この装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお勧めします。
（社団法人日本電子工業振興協会のパーソナルコンピューターの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示）

海外でのご使用について

この装置は、日本国内での使用を前提としているため、海外各国での安全規格などの適用認定を受けておりません。したがって、本装置を輸出した場合に当該国での輸入通関、および使用に対し罰金、事故による補償等の問題が発生することがあっても、弊社は直接・間接を問わず一切の責任を免除させていただきます。

MultiWriter 4050

このマニュアルは環境保護のため再生紙を使用しています。

NEC